

〔資 料〕

航空法研究文献目録

—— 前編 ——

関	口	雅	夫
新	田	浩	司
工	藤	聡	一

はしがき

広く航空法研究の利便に供する目的で、日本国内で発表され、または日本の研究者によって海外で発表された航空法に関する研究業績を収集し、目録としてここに公刊する。分類項目は、Wybo P. Heere 氏の手になる Air and Space Law 誌上の文献目録に準じて作成した。10年余の歳月を費やし、文献の整理には最善を尽くしたが、遺漏や誤謬については大方のご海容をお願いするとともに、ご指摘を頂戴して今後改めていきたいと考えている。なお、「航空法研究文献目録—後編—」は駒澤法学 4 卷 4 号（2005年）に掲載するほか、国内航空判例評釈は「国内航空判例および判例評釈一覧」駒澤法学 3 卷 1 号（2003年）に、宇宙法文献は「宇宙法研究文献目録—人名編—」駒澤法学 3 卷 4 号（2004年）に分載している。併せてのご参照をお願いしたい。

本資料のなるにあたっては、藤田勝利近畿大学教授に主として民事法分野に関して、池田良彦東海大学教授に主として刑事法分野に関して、それぞれご教示を賜った。ここに記して謝意を表する。

凡 例

- 【著者】 著者名，編者名，監修者名（監訳者・翻訳者は [] で表記）
- 【論題】 論文名（「」，“”で表記），記事名（「」で表記），書名（『』で表記）
- 【掲載誌】 掲載雑誌名，掲載新聞名，出版社名
- 【巻号】 収録巻号（単行本の場合省略）
- 【年月】 発表年月（新聞の場合年月日）
- 【☞】 関連項目（分類コードで表記）

分類項目表

第1章 総論 (General subjects)

001. 航空法の定義 (Definition of air law)
 002. 航空法の体系化 (Systematization of air law)
 004. 航空法会議 (Air law conferences)
 005. 航空法の歴史 (The history of air law)
 006. 航空法の法典化 (Codification of air law)
 007. 航空法の独自性 (Autonomy of air law)
 008. 海商法及び他の運送法と比較した航空法 (Air law as compared with maritime law and other transport law)
 009. 宇宙法と比較した航空法 (Air law as compared with space law)
 010. 航空法と比較法 (Air law and comparative law)
 012. 航空法に関する文献 (Literature on air law)
 A. 手引書 (Manuals)
 B. 一般論文 (General articles)
 C. 一般書 (General books)
 D. 辞書 (Dictionaries)
 E. 書誌 (Bibliographies)
 F. 書評 (Book reviews)
 G. 条約 (Treaties)
 H. 法規 (Laws and regulations)
 015. 国際航空法条約 (International air law conventions)
 A. 総論 (General)
- B. 航空郵便条約 (Airmail conventions)
 C. 衛生条約 (Sanitary conventions)
 D. 航空法典についての準備作業 (Preparations for the Code de l' Air)
 E. 1919年パリ条約 (The Paris Convention, 1919)
 F. 1926年イベロ・アメリカン航空条約 (The Ibero-American Convention, 1926)
 G. 1928年パン・アメリカン商業航空条約 (The Pan-American Convention, 1928)
 H. 1944年シカゴ国際民間航空条約, 及び同附属書 (The Chicago Convention, 1944, with Annexes)
016. 諸国における航空法 (Air law in deferent countries)
 A. アメリカ (United States)
 B. イギリス (England)
 C. フランス (France)
 D. ドイツ (Germany)
 E. その他の国家 (Other countries)
017. 諸国における判例法 (Case law in deferent countries)
 A. アメリカ (United States)
 B. イギリス (England)
 C. フランス (France)
 D. ドイツ (Germany)
 E. その他の国家 (Other countries)

第2章 民間航空分野における諸機関 (Organizations in the field of civil aviation)

021. 国際機関, 総論 (International organizations. General)

022. 国際連盟(The League of Nations)
023. 国際航空委員会(Commission Internationale de la Navigation Aerienne)
024. 国際航空法専門家委員会(Comite International Technique d'Experts Juridiques Aeriens, CITEJA)
025. 国際航空法委員会(Comite Juridique International de la Aviation)
026. 米州常設航空委員会(Comision Americana Permanente de Aviacion)
027. 暫定国際民間航空機関(The Provisional International Civil Aviation Organization)
028. 国際民間航空機関(The International Civil Aviation Organization, ICAO)
- A. 総論(General)
- B. 総会(The Assembly)
- C. 理事会(The Council)
- D. 事務局(The Secretariat)
- E. 航空運送委員会(The Air Transport Committee)
- F. 航空委員会(The Air Navigation Commission)
- G. 法律委員会(The Legal Committee)
029. 地域的航空組織(Regional organizations)
- A. 欧州民間航空会議(European Civil Aviation Conference, ECAC)
- B. ラテンアメリカ民間航空委員会(Latinamerican Civil Aviation Commission, CLAC)
- C. アフリカ民間航空委員会(African Civil Aviation Commission, AFCAC)
- D. アラブ民間航空理事会(Civil Aviation Council of Arab States, CACAS)
030. 国際航空運送協会(International Air Transport Association, IATA)
031. 国際定期航空操縦士協会連合会(International Federation of Air Line Pilots Association, IFALPA)
032. 国際商工会議所(International Chamber of Commerce, ICC)
033. その他の国際機関(Other international organizations)
034. 国際空港理事会(The Airports Council International)
035. 国際航空保険者連合(International Union of Aviation Insurers, IUAI)
036. 国際航空管制官協会連合会(International Federation of Air Traffic Controllers' Associations, IFATCA)

第3章 国内および国際航空行政(The administration of national and international aviation)

041. 空域主権(Sovereignty in the air) (Entrance of foreign aircraft in peace-time)
- A. 総論(General)
- B. 領空侵犯, 空からのスパイ活動 (Violation of territorial air. Espionage from the air)
- C. 平時における外国機の入国
042. 大気圏上の主権(Sovereignty in the air above)
043. 特別区域(Special zones)
- A. 禁止区域(Prohibited area)

- B. 防空識別圏(Air Defense Identification Zone, ADIZ)
- C. 航空情報圏(Fright Information Region, FIR)
- 044. 航空行政, 所轄官庁(Administration. Competent authorities)
- 045. 航空事業免許(Licensing of aviation companies)
- 046. 空の自由(Freedoms of the air)
 - A. 自由(The freedoms)
 - B. 多国間条約(Multilateral conventions)
 - C. 陸封国への飛行の自由(Right to fly to landlocked countries)
- 047. 定期航空運送と不定期航空運送(Scheduled v. Non-scheduled air transport)
 - A. 定期運送(Scheduled transport)
 - B. 不定期運送(Non-scheduled transport)
- C. 1956年パリ協定(The Paris agreement, 1956)
- 048. 運輸権(Traffic rights)
 - A. 総論(General. GATS)
 - B. 二国間協定(Bilateral)
 - C. パミュエダ協定型(The Bermuda type)
 - D. 機体(機種)の変更(Change of gauge)
 - E. コード・シェア(Code-sharing)
 - F. オープン・スカイ(Open sky)
- 049. エアー・カボタージュ(Cabotage)
- 050. 航空政策, 規制緩和, 航空自由化(Aviation policy. Deregulation. Liberalization)
 - A. 航空政策(Aviation policy)
 - B. 規制緩和, 航空自由化(Deregulation. Liberalization)

第4章 航空産業(Aviation industry)

- 061. 総論(General)
- 062. 地勢と航空(Geography and aviation)
- 063. 航空企業(Companies)
 - A. 総論(General)
 - B. 民間企業と国営企業, ナショナル・キャリア(Private or State companies. National carrier)
 - C. 競争(Competition)
 - D. 共同, アライアンス(Collaboration. Alliance)
 - E. 国籍, 多国籍企業(Nationality. Multinational companies)
 - F. 共同運航(Corporate aviation)
 - G. 合併, 海外投資(Mergers. Foreign investment)
- 064. 経済問題(Economic problems)
 - A. 金融(Financing)
 - B. 補助金(Subsidies)
 - C. 財政問題, 租税, 関税(Fiscal problems. Taxes. Customs)
 - D. 運賃, 運賃条件(Fare. Tariffs)
 - E. 燃料(Fuel)
 - F. 破産, 債務超過(Bankruptcy. Insolvency)
- 065. 航空とEC, EU(Aviation and the EC, EU)
- 066. 航空と消費者(Aviation and the customer)
- 067. 航空と観光(Aviation and tourism)
- 068. 航空と自動化(Aviation and automatization)
- 069. 航空とその他の運送モード(Aviation and other transport modes)

第5章 航空機(Aircraft)

- 071. 総論, 定義(General, Definition of aircraft) construction of aircraft. Liability of the manufacturer)
- 072. 国の航空機と民間の航空機(State v. Private aircraft) 078. 堪空能力(Airworthiness)
- 073. 航空機の法的地位(Legal status of aircraft) 079. 航空機の所有権(The ownership of aircraft)
- 074. 航空機の国籍(Nationality of aircraft) 080. (中古)航空機の売却(The sale of (used) aircraft)
- 075. 航空機の登録(Registration of aircraft) 081. 仮差押え, 1933年ローマ条約(Precautionary arrest. The Rome Convention of 1933)
- 076. 共同または国際的運航代理人が使用する航空機(Aircraft in use with joint or international operating agencies) 082. 航空機上の権利, 1948年ジュネーブ条約(Rights in aircraft. The Geneva Convention of 1948)
- 077. 航空機の製造, 製造者責任(Construction of aircraft. Liability of the manufacturer)
- 083. 整備, 修理(Maintenance. Repairs)

第6章 空員(Aviation personnel)

- 091. 労働条件(Labor conditions) 094. 携行書類(Board documents)
- 092. 機長(Aircraft commander) 095. 責任(Liability)
- 093. 免許(Licenses)

－以下, 後編所収－

第7章 空港および航行施設

- 101. 空港 107. 空港の利用に関する責任, 鳥類衝突
- A. 総論 108. 租税
- B. 公海上の空港 109. 航空交通管制, 航空管制官の責任
- 102. 規制 110. 運航, 気象, 航路図, 通信
- 103. 地役権 111. 航空安全
- 104. 空港と隣社会 112. 施設
- 105. 騒音 113. 自動操縦飛行
- A. 総論 114. 発着枠
- B. 空港騒音訴訟 115. ハンドリング

第8章 航空運送

- 120. 総論 121. 1929年ワルソー条約

122. 1955年ヘーグ議定書
123. 1966年モンリオール協定
124. 1971年グアテマラ・シティー議定書
- 124A. 1975年モンリオール議定書
125. 1961年グアダハラ条約
126. IATA 約款
- 126A. 1999年モンリオール条約
127. 運送約款
- A. 総論
- B. 切符, 予約制度, コンピュータ予約制度, 電子発券
- C. 運送義務, 出入国問題
- E. 中途降機
128. 航空運送状, 貨物引換証
129. 航空法における責任
- A. 総論
- B. 免責条項
- C. 故意の義務違反
- D. 期限
- E. 精神的損害
130. 民事責任
- A. 人についての
- B. 手荷物についての
- C. 貨物・積荷についての
- D. 無賃乗客についての
- E. 密航者についての
- F. 運送職員についての
- G. 航空郵便についての
131. 民事責任
- A. 航空機所有者の
- B. 運送人の
- C. 乗務員, 地上人員の
- D. 旅客, 荷主の
- E. ハンドリング, 倉庫業者の
133. 責任原則
- A. 有限責任
- B. 無限責任
- C. 契約外責任, 不法行為責任
- D. 厳格責任
134. 責任原因
- A. 延着による
- B. 重複予約による
135. 航空機の使用
- A. 賃貸
- B. 貸切
- C. 交換
- D. 共同出資
- E. リース
136. 相次運送
137. 共同運送, 複合運送
138. 代理人
- A. 予約代理人, 貨物取扱人
- B. 旅行代理店, 旅行主催者
- C. ターミナル・オペレーター
139. 請求
- A. 総論, 訴訟原因
- B. 期間
- C. 法廷地, 裁判管轄
- D. 証拠法
- E. 訴訟当事者
- F. 法の選択
- G. 判決の執行・履行
- H. 賠償額の裁定
- I. 外国人の免責
- J. 賠償額
- 140A. 貨幣交換価値問題
- B. 国際通貨基金特別引出権

第9章 第三者に対する損害

141. 総論
143. 上空通過機による損害
144. 農業使用機による損害
145. 騒音, ソニック・ブーム
146. 1933年ローマ条約
147. A. 1952年ローマ条約

- B. 1978年モンリオール議定書 148. 環境問題

第10章 事故—救援及び救助

151. 航空機事故, インシデント 154. 事故調査
A. 総論 156. 遭難
B. 刑事責任 157. 救難及び救助
C. ヒューマン・ファクター A. 総論
152. 空中衝突 B. 1938年ブラスル条約
153. 緊急着陸 158. 航空審判

第11章 保険

161. 総論 164. 1933年ローマ条約
162. 任意, 強制 165. 1938年ブラスル議定書
163. 航空保険プール 166. 1952年ローマ条約

第12章 犯罪

171. 総論 F. 救助活動
172. 1963年東京条約 174. 1971年モンリオール条約
173. ハイジャック 175. 怠業, 無謀操縦
A. 総論 176. 航空の国家的統制
B. 1970年ヘーグ条約 177. 空港保安, モントリオール議定書
C. 制裁 178. テロ行為, 爆発物
D. 搜索と押収 179. 麻薬
E. 責任

第13章 航空機内事象

181. 出生 184. 契約
182. 婚姻 185. 安全・衛生
183. 死亡, 遺言

第14章 紛争の解決

191. 総論 201. 軍事航空
192. 条約の解釈 202. 平時の軍事航空
193. ICAO 理事会の機能 203. 空戦法規
194. 航空紛争のための国際法廷制度 204. 赤十字条約
195. 仲裁 205. 戦争法
196. 制裁 A. 総論
第15章 軍事航空, 戦時および中立時の
法 B. 空襲
206. 航空封鎖

- | | |
|----------------------|---------|
| 207. 拿捕法規 | 211. 軍縮 |
| 208. 戦時下における民間航空機の地位 | 212. 防空 |
| 210. 中立 | |

第1章 総論(General subjects)

001. 航空法の定義(Definition of air law)

該当なし

002. 航空法の体系化(Systematization of air law)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
野上鉄夫	「空商法の世界法性」	愛媛法学会雑誌	10(1・2)	1984.3

004. 航空法会議(Air law conferences)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
西川一男	「第2回国際航空私法会議に付て」	法曹会雑誌	8(6)	1930.6
西川一男	「国際航空私法会議に就て、附、伯林民事裁判事務進捗振り」	法律新聞	3092	1930.2
無署名	「国際航空の発展のために－国際協力に関するホワイト・ハウス会議」	世界週報	47(12)	1966.3
Heere, Wybo P.	「第4回イペロ・アメリカン航空宇宙法会議」	航空法務研究	7	1971.5
Heere, Wybo P.	「第4回ラテン・アメリカ航空宇宙法会議」	航空法務研究	8	1972.1

005. 航空法の歴史(The history of air law)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
住田俊一	「民間航空発達小史」	運輸	28(1)	不詳
仁保亀松	「飛行小史(未完)」	京都法学会雑誌	7(7)	1912.7
山名寿三	「空域並に航空機の法律問題に関する沿革」	日本法政新誌	24(1)	1927.1
檜崎敏雄	「空法の発展について」	法学新報	41(7)	1931.7
高田源清	「空法の戦前と戦後(上)」	(九州大学)産業労働研究所報告	11	1956

高田源清	「空法の戦前と戦後(下)」	(九州大学)産 業労働研究所報 告	12	1956
日本航空協会	『日本航空史(明治・大正編)』	日本航空協会	-	1956
日本航空協会	『日本航空史(昭和前期編)』	日本航空協会	-	1956
吉川貫二	「アメリカ初期の航空郵便輸 送(1)」	同志社商学	9(6)	1958.3
吉川貫二	「アメリカ初期の航空郵便輸 送(2)」	同志社商学	10(1)	1958.5
桐山武	「航空法令の変遷」	空法	6	1962.6
桐山武	「航空法令の変遷(自昭和36年 1月至同年12月)」	空法	7	1962.10
富田竜彦	「航空法10年にあたって－航 空法の誕生から今後の方向に至 るまで」	時の法令	443	1962.11
桐山武	「航空法令の変遷(自昭和37年 1月至同38年6月)」	空法	8	1963.10
日本航空協会	『日本民間航空史話』	日本航空協会	-	1966.6
桐山武	「航空法令の変遷(自昭和38年 6月至同39年5月)」	空法	9	1966.9
桐山武	「航空法令の変遷(自昭和40年 1月至同年12月)」	空法	10	1966.10
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦前 編)第1回」	郵政研究	219	1969.6
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦前 編)第2回」	郵政研究	220	1969.7
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦前 編)第3回」	郵政研究	221	1969.8
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦前 編)最終回」	郵政研究	222	1969.9
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦後 編)第1回」	郵政研究	229	1970.4
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦後 編)第2回」	郵政研究	231	1970.6
笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦後 編)第3回」	郵政研究	233	1970.8

12 航空法研究文献目録－前編－（関口・新田・工藤）

笹尾寛	「日本の航空郵便輸送史(戦後編)最終回」	郵政研究	235	1970.10
日本航空調査室	『日本航空20年史(1951－1971)』	トッパンアイ ディアセンター 年史センター	-	1974.2
大日本航空社 史刊行会	『航空輸送の歩み：昭和20年迄』	日本航空協会	-	1975.7
関口雅夫	「国際航空法の沿革」	法学論集(駒 澤大学)	25	1982.3
野上鉄夫	「空商法史学への里標」	愛媛法学	16	1983.12
不詳	“Land and Air Transportation: History of the Non-military Activities of the Occupation of Japan”	日本図書セン ター	-	1990
福住美佐	「民間航空の廃止と再建」(竹前栄治・中村隆英監修)『GHQ日本占領史(53)陸上・航空運輸』	日本図書セン ター	-	1997.7

006. 航空法の法典化(Codification of air law)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
池田文雄	「各国航空法における国際航空私法の浸透」	法学新報	61(6)	1954.6
窪田宏	「イタリア『航空法典』－その形成過程の研究－」	神戸法学雑誌	8(3)	1958.12
リーゼ, O. [三ヶ月章]	「航空法の国際的統一に関する若干の考察」	空法	5	1960.4
Riese, O.	“Betrachtungen über die Internationale Vereinheitlichung des Luftrechts”	空法	5	1960.4

007. 航空法の独自性(Autonomy of air law)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
二 二 一 村井藤十郎	「航空法の特異性とは何か」	名城法学	13(2)	1964.1
野上鉄夫	「空法の独自性と相対性－航空危険からの1つの観方」	政経論叢 (広島大学)	21(5・ 6)	1972.4
野上鉄夫	「航空危険の特性」	愛媛法学会雑 誌	9(2)	1983.3

008. 海商法及び他の運送法と比較した航空法(Air law as compared with maritime law and other transport law)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
受川環大	「国際海上物品運送人の責任制限却却事由－ドイツの学説・判例の検討を中心として－」	海事法研究会誌	153	1990.12
田宮準一郎	「航空機の国際法に及ぼす効果」	国家及国家学	2(10)	1914
松波仁一郎	「海法と航空条約」	海法会誌	4	1920.4
小町谷操三	「海から空へ」	東北法学会雑誌	5	1955
高田桂一	「航海上の過失と航空上の過失」	産業経済研究(久留米大学)	3(3)	1962.8
伊沢孝平	「空法と海法」	空法	8	1963.10
浅野裕司	「空難審判法と海上交通法の必要性」	交通論叢	2	1972
野上鉄夫	「空法の独自性と相対性」	政経論叢(広島大学)	21(5・6)	1972.4
後藤茂也	『(講演)国際海運と国際航空』	航政研シリーズ	101	1976.9
小原三佑嘉	「航空 FOB と海上 FOB との比較対照」	国際商事法務	5(10)	1982.5
来見田實	「船荷証券と航空運送状との差異」	自由と正義	41(5)	1990.5
山田泰彦	「フランス民事法理における許しがたいフォートの位相と『無謀かつ認識』要件』『船主責任制限の法理』	成文堂	-	1992.3
谷川久	「新しい旅客運送人の責任制度－航空と海上と－」	成蹊法学	56	2003.3

009. 宇宙法と比較した航空法(Air law as compared with space law)

該当なし

010. 航空法と比較法(Air law and comparative law)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
佐瀬昌三	「旅客航空事故賠償責任法の比較(1)」	法学志林(法政大学)	38(4)	1936.4

14 航空法研究文献目録－前編－（関口・新田・工藤）

佐瀬昌三	「旅客航空事故賠償責任法の比較(2・完)」	法学志林(法政大学)	38(6)	1936.6
野上鉄夫	「空法学会における最近の世界的傾向－書評管見から資料紹介」	愛媛法学会雑誌	4(2)	1978.2
野上鉄夫	「比較航空立法論(1)」	愛媛法学会雑誌	12(1)	1985.7
野上鉄夫	「比較航空立法論(2)」	愛媛法学会雑誌	12(2)	1986.2
野上鉄夫	「比較航空立法論(3)」	愛媛法学会雑誌	13(1)	1986.8
野上鉄夫	「比較航空立法論(4)」	愛媛法学	19	1986
野上鉄夫	「比較航空立法論(5)」	愛媛法学会雑誌	13(2)	1987.3
野上鉄夫	「比較航空立法論(6)」	愛媛法学会雑誌	14(3)	1987.12
野上鉄夫	「比較航空立法論(7)」	愛媛法学会雑誌	14(4)	1988.3
野上鉄夫	「比較航空立法論(8・完)」	愛媛法学会雑誌	15(1)	1988.6

012. 航空法に関する文献(Literature on air law)

A. 手引書(Manuals)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
小川太一郎	『航空読本』	日本評論社	-	1932.11
小川太一郎	『航空読本(改訂版)』	日本評論社	-	1938.2
大久保武雄	『国際航空の話』	平凡社	-	1940.4
外務省国際連 合局専門機関課	『航空読本』	外務省国際連 合局専門機関課	-	1943.6
伊藤良平	『航空読本』	産業経済新聞 社	-	1956

二
九

B. 一般論文(General articles)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
無署名	「空中飛行に関する件」	法曹記事	21(11)	1901.11
寺尾享	「飛行器と法律」	国際法雑誌	8(2)	1909.10
煙山専太郎	「空中飛行機の一成一敗」	外交時報	12(11)	1909.11

徳永工兵・山田三良	「航空機関と法律」	法学協会雑誌	28(6)	1910.6	
山田三良	「空中飛行と法律」	法学協会雑誌	28(8)	1910.8	
松波仁一郎	「飛行機法研究の端緒」	法学協会雑誌	33(7)	1915.7	
松波仁一郎	「航空法制定論」	日本法政新誌	17(1)	1920.1	
山名寿三	「航空法」	海法会誌	5	1921.4	
榑崎敏雄	「航空の諸法律関係」	国家学会雑誌	41(11)	1927.11	
斯波忠三郎	「(講演)航空研究の最近の状況」	啓明会	32	1930.12	
ミッチェル	「空の法律」	台湾通信協会雑誌	113	1931.6	
榑崎敏雄	「若干の空法問題(1)」	法学新報	42(8)	1932.8	
根津熊次郎	「航空法施行規則第108条の解釈に就いて」	台湾警察時報	53	1932.9	
根津熊次郎	「航空法施行規則第108条に関する論理の綾」	台湾通信協会雑誌	128	1932.9	
榑崎敏雄	「若干の空法問題(2)」	法学新報	42(9)	1932.9	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(1)」	法曹公論	38(4)	1934.4	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(2)」	法曹公論	38(5)	1934.5	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(3)」	法曹公論	38(6)	1934.6	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(4)」	法曹公論	38(7)	1934.7	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(5)」	法曹公論	38(9)	1934.10	
海法会誌編集部	「国際航空法学会」	海法会誌	19	1934.11	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(6)」	法曹公論	38(10)	1934.11	
島田庄七郎	「航空法研究への序説(7・完)」	法曹公論	38(11)	1934.12	
島田孝一	「自動車及航空」『鉄道交通全書(11)』	春秋社	-	1937.1	
山名寿三	「航空法に就て」	日本法学	4(8)	1938.8	
小町谷操三	「航空と土地所有権との関係」	法学(東北大学)	12(9)	1943.9	二 八
浜田幸晴	「新しい航空法の構想」	航空	1(1)	1950	
法務府法政意見第一局	「航空機等の措置に関する管理令の解釈について」	法曹時報	4(1)	1951.9	

奈良橋一郎	「日航機の事故と航空法規」	法律のひろば	5(6)	1952.6
浜田幸晴	「航空法をめぐる諸問題」	運輸	2(9)	1952.9
大沢茂	「世界民間航空の現状」	世界海運	25	1953
関越夫	「民間航空の発展に対応して航空法の規定を整備(航空法の一部を改正する法律・4月1日公布法律第60号)」	時の法令	132	1954.12
杉山茂顕	「『空法』発刊に際して」	空法	1	1955.10
戸田修三	「空法学会の回顧と展望」	空法	1	1955.10
無署名	「空法に関する資料」	レファレンス	62	1956.3
名島芳	「国際公法における空法の基礎的研究(1)」	経営と経済 (長崎大学)	38(3)	1959.1
名島芳	「国際公法における空法の基礎的研究(2)」	経営と経済 (長崎大学)	39(1)	1959.10
名島芳	「国際公法における空法の基礎的研究(3)」	経営と経済 (長崎大学)	39(2)	1959.12
杉山茂顕	「空の法律問題」(東京都立大学創立十周年記念論文集編集委員会編)『創立十周年記念論文集』	東京都立大学	-	1960.3
名島芳	「国際公法における空法の基礎的研究(4)」	経営と経済	40(1)	1960.7
園部敏	「航空交通法」『交通通信法(法律学全集15)』	有斐閣	-	1960.9
名島芳	「国際公法における空法の基礎的研究(5・完)」	経営と経済	40(4)	1961.4
池田文雄	「航空条約批准状況(1961年現在)」	空法	6	1962.6
菅原菊志	「空法資料覚書」	空法	7	1962.10
菅原菊志	「航空法のはなし」	法政	128	1963
菅原菊志	「航空立法(1963年の展望)」	商事法務研究	267	1963.1
村井藤十郎	「航空法の在り方について」	名城法学	14(1)	1964.6
園部敏	「航空交通法」『交通通信法(再版改訂)(法律学全集15)』	有斐閣	-	1967.4
栗林忠男	「オーストラリア連邦憲法と航空」	法学研究(慶応義塾大学)	40(10)	1967.10

杉山茂顕	「空法管見」	法学研究(北海学園大学)	3	1967.12
谷川久	「海空法条約の国内法化」	ジュリスト	392	1968.3
寺嶋芳一郎	「航空の将来と法の役割および問題」	自由と正義	20(1)	1969.1
	「航空法によせて」	航空法務研究	1	1969.3
宮城雅子	「国際航空法の問題点」	国際時評	89	1972
下谷昌幸	「未来社会における航空の役割」	航空法務研究	9	1972.11
野上鉄夫	「航空立法の現状・類型および問題点」(上柳克郎・川又良也・龍田節編)『企業法の研究(大隅健一郎先生古稀記念)』	有斐閣	-	1977.1
加藤書久	『国際航空-ICAOと国際航空の現状』	教育社	-	1978.12
池田文雄	「空法(のびゆく現代法)」	法と政策	9	1982.2
山本草二	「航空機損害」『国際法における危険責任主義』	東京大学出版会	-	1982.3
坂本昭雄	「運送法務の10年」	おおぞら	40	1983.4
宮城雅子	「航空法をわが研究の道と定めて」	おおぞら	43	1984.1
園部敏・植村栄治	「航空交通法」『新版 交通法・通信法(法律学全集15-I)』	有斐閣	-	1984.2
栗林忠男	「連邦制度における飛行の自由-アメリカとオーストラリアの場合をめぐって-」	法学研究(慶応義塾大学)	42(11)	1991.3
坂本昭雄	「国際航空の軌跡と問題点」	ていくおふ	76	1996.11
黒野匡彦・谷川久・寺井久美	「民間航空の諸問題について」	航空振興	31(1)	1997.1
無署名	「航空法を検証する」	Helicopter Japan	49	1999.5
村中哲也	「航空利用者の生命と財産に大きな危機」	法学セミナー	44(8)	1999.8
荒木教夫	「国際航空・宇宙法」(廣部和也・荒木教夫著)『国際法講義』	不磨書房	-	2000.3
坂本昭雄	「航空法が当面する諸問題」	空法	45	2004.5

C. 一般書(General books)

	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
	福原武	『飛行機法論』	不詳	-	1914.5
	松波仁一郎	『飛行機法論』	私版本	-	1915.5
	安達堅造	『国際航空公私法の研究』	有斐閣	-	1928
	伊藤良平	『国際航空私法の研究』	私版本	-	1928
	山名寿三	『航空法論 (1)』	有斐閣	-	1931.6
	山名寿三	『航空法論 (2)』	有斐閣	-	1931.8
	山名寿三	『航空法論 (3)』	有斐閣	-	1932.2
	小町谷操三	『空中運送法論』	有斐閣	-	1940.10
	佐瀬昌三	『空陸交通法上の諸問題』	清水書店	-	1942.6
	ガン, E. K. [斎藤寅朗]	『航空』	明治書房	-	1942.9
	小町谷操三	『空中運送法論(増補版)』	有斐閣	-	1954.1
	池田文雄	『国際航空法概論』	有信堂	-	1956.11
	松尾静磨	『航空輸送経営論』	ダイヤモンド 社	-	1958.10
	池田文雄	『空法概論』	邦光書房	-	1962.5
	高田桂一	『空法概論』	評論社	-	1962.6
	住田俊一	『航空私法の問題』	時事通信	-	1963.3
	浅野裕司	『民間航空法論』	私版本	-	1963.5
	伊沢孝平	『航空法(法律学全集30)』	有斐閣	-	1964.1
	村井藤十郎	『航空法講義案』	私版本	-	1964.7
	名島芳	『国際法における権利濫用』	酒井書店	-	1966.3
	吉永栄助・坂 本昭雄	『最新国際航空法要論』	有信堂	-	1968.8
	住田俊一	『航空法精説』	日本航空整備 協会	-	1969
二 一 五	吉永栄助・坂 本昭雄	『最新国際航空法要論(増補改 訂版)』	有信堂	-	1976.5
	浅野裕司・野 口明宏	『空法』	八千代出版	-	1978.6
	里見一男	『航空法入門』	共立出版	-	1980.11

カルトー [西村六郎]	『航空法概論』	白水社(文庫クセジュ)	-	1982.7
山野辺義方	『航空輸送の知識』	東洋経済新報社	-	1983.7
航空技術協会	『新航空法規解説』	日本航空技術協会	-	1984.2
坂本昭雄	『現代航空法』	有信堂	-	1984.7
野上鉄夫	『空商法論』	嵯峨野書院	-	1984.8
藤田勝利	『航空賠償責任法論』	有斐閣	-	1985.5
オコーナー [山上徹]	『現代航空経済概論』	成山堂書店	-	1986.10
オコーナー [山上徹]	『現代航空経済概論(改訂版)』	成山堂書店	-	1987.6
伊沢孝平	『航空法(法律学全集30)改訂版』	有斐閣	-	1988
ドガニス, R. (Doganis, Rigas) [中西健一・塩見英治・高橋望]	『国際航空輸送の経済学』	成山堂書店	-	1988.1
坂本昭雄	『現代空運論』	成山堂書店	-	1988.2
浅野裕司・野口明宏	『空法(改訂版)』	八千代出版	-	1988.10
ドガニス, R. (Doganis, Rigas) [中西健一・塩見英治・高橋望]	『国際航空輸送の経済学(改訂版)』	成山堂書店	-	1989.2
坂本昭雄	『国際航空法論』	有信堂	-	1992.3
ドガニス, R. (Doganis, Rigas) [中西健一・塩見英治・高橋望]	『国際航空輸送の経済学(新訂版)』	成山堂書店	-	1995.2
吉田茂・高橋望	『国際交通論』	世界思想社	-	1995.9
坂本昭雄	『新しい国際航空法』	有信堂	-	1999.12

坂本昭雄・三好晋 『新国際航空法』 有信堂 - 1999.12

高橋望・吉田茂 『新版国際交通論』 世界思想社 - 2002.3

D. 辞書(Dictionaries)

【著者】 鴻常夫・北沢正啓 【論題】 『体系商法事典』 【掲載誌】 青林書院新社 【巻号】 - 【年月】 1974.1

木村秀政 『航空宇宙辞典』 地人書館 - 1983.5

鴻常夫・北沢正啓 『英米商事法辞典』 商事法務研究会 - 1986.3

竹内昭夫 『新法律学辞典(第3版)』 有斐閣 - 1989.10

田中英夫 『英米法辞典』 東京大学出版会 - 1991.5

法令用語研究会 『法律用語辞典(第2版)』 有斐閣 - 1993.12

木村秀政 『航空宇宙辞典(改訂版)』 地人書館 - 1995.5

国際法学会 『国際関係法辞典』 三省堂 - 1995.8

鴻常夫・北沢正啓 『英米商事法辞典(新版)』 商事法務研究会 - 1998.4

佐藤幸治 『コンサイス法律学用語辞典』 三省堂 - 2003.12

E. 書誌(Bibliographies)

【著者】 杉山茂顕 【論題】 「外国文献抄録」 【掲載誌】 空法 【巻号】 1 【年月】 1955.10

波多野里望・広瀬善男 「昭和31年度主要文献目録－国際法」 国際法外交雑誌 56(1) 1957.4

経塚作太郎 「昭和32年度主要文献目録－国際法」 国際法外交雑誌 57(1) 1958.4

空法編集部 「航空法関係外国文献抄録」 空法 4 1959.2

高窪利一 「航空法関係日本文献抄録」 空法 4 1959.2

二二三 波多野里望 「昭和33年度主要文献目録－国際法」 国際法外交雑誌 57(6) 1959.3

広瀬善男 「昭和34年度主要文献目録－国際法」 国際法外交雑誌 58(6) 1960.1

池田文雄 「外国文献抄録」 空法 5 1960.4

無署名 「航空法に関する文献抄録」 海空法 1 1960

澤木敬郎	「昭和35年度主要文献目録－ 国際私法」	国際法外交雑 誌	59(6)	1961.3	
広瀬善男	「昭和35年度主要文献目録－ 国際法」	国際法外交雑 誌	59(6)	1961.3	
国立国会図書 館参考書誌部	『外国航空・宇宙文献目録』	国立国会図書 館	-	1962	
池田文雄	「外国文献目録」	空法	6	1962.6	
桐山武	「日本文献目録」	空法	6	1962.6	
澤木敬郎	「昭和36年度主要文献目録－ 国際私法」	国際法外交雑 誌	61(1・ 2)	1962.6	
筒井若水	「昭和36年度主要文献目録－ 国際法」	国際法外交雑 誌	61(1・ 2)	1962.6	
桐山武	「日本文献目録」	空法	7	1962.10	
菅原菊志	「商法(1962年学会回顧)」	法律時報	34(12)	1962.12	
竹本正幸・土 屋茂樹	「昭和37年度主要文献目録－ 国際法」	国際法外交雑 誌	61(6)	1963.2	
桐山武	「外国文献目録」	空法	8	1963.10	
桐山武	「日本文献目録」	空法	8	1963.10	
菅原菊志	「商法(1963年学会回顧)」	法律時報	35(13)	1963.12	
小川芳彦・竹 本正幸	「昭和38年度主要文献目録－ 国際法」	国際法外交雑 誌	62(6)	1964.3	
本浪章市	「昭和38年度主要文献目録－ 国際私法」	国際法外交雑 誌	62(6)	1964.3	
駒澤大学図書 館	『山名文庫図書目録－山名寿 三先生寄贈本－』	駒澤大学	-	1964	
菅原菊志	「商法(1964年学界回顧)」	法律時報	36(13)	1964.12	
小川芳彦・竹 本正幸	「昭和39年度主要文献目録－ 国際法」	国際法外交雑 誌	63(6)	1965.3	
東北大学商法 研究会	「商法(1965年学界回顧)」	法律時報	37(13)	1965.12	
池田文雄・桐 山武	「外国文献目録」	空法	9	1966.9	二 二
池田文雄・桐 山武	「日本文献目録」	空法	9	1966.9	
重田晴生	「外国文献抄録」	空法	10	1966.10	
重田晴生	「日本文献目録」	空法	10	1966.10	

尾崎重義	「昭和40年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	65(6)	1967.3
飯田茂・田中栄	「昭和41年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	65(6)	1967.3
東北大学商法研究会	「商法(1967年学界回顧)」	法律時報	39(14)	1967.12
広部和也	「昭和42年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	66(6)	1968.3
池田文雄	「外国文献抄録」	空法	12	1968.10
松岡博	「昭和43年度主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	67(6)	1969.3
神崎克郎	「商法(1968年学界回顧)」	法律時報	40(13)	1968.12
関野昭一・本間浩	「昭和43年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	67(6)	1969.3
尾崎重義	「昭和44年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	68(5・6)	1970.3
林脇トシ子	「昭和44年度主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	68(5・6)	1970.3
池田文雄	「外国文献抄録(Bibliography of Foreign Literatures 1968 空法12号未収載の1967年分を含む)」	空法	13	1970.10
尾崎重義	「昭和45年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	70(1)	1971.5
山本敬三	「昭和45年度主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	70(1)	1971.5
池田文雄	「外国文献抄録」	空法	14	1971.10
志村治美	「商法(1971年学界回顧)」	法律時報	43(15)	1971.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	15	1972.3
尾崎重義	「昭和46年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	71(1)	1972.5
二 一 山本敬三	「昭和46年度主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	71(1)	1972.5
岩崎稜	「商法(1972年学界回顧)」	法律時報	44(14)	1972.12
尾崎重義	「昭和47年度主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	72(3)	1973.10
高田桂一	「外国文献抄録(1970—71)」	空法	16	1973.10

内藤私法	「昭和47年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	72(3)	1973.10
奥島孝康	「商法(1973年学界回顧)」	法律時報	45(13)	1973.12
尾崎重義	「昭和48年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	73(1)	1974.5
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	17	1974.10
重田晴生	「保険・海商・航空法(1974年学界回顧)」	法律時報	46(12)	1974.12
尾崎重義	「昭和49年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	74(1)	1975.6
木棚照一	「昭和49年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	74(1)	1975.6
重田晴生	「保険・海商・航空法(1975年学界回顧)」	法律時報	47(14)	1975.12
尾崎重義	「昭和50年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	75(1)	1976.5
木棚照一	「昭和50年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	75(1)	1976.5
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	18・19	1976.10
重田晴生	「保険・海商・航空法(1976年学界回顧)」	法律時報	48(13)	1976.12
田中英男・堀部政男	「海法，空法」『英米法研究文献目録1867－1975』	東京大学出版会	-	1977.3
河西直也	「昭和51年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	76(2)	1977.6
高田桂一	「航空法(1977年学会回顧)」	法律時報	49(12)	1977.12
石田満・島十四郎・高田桂一	「保険・海商・航空法(1977年学界回顧)」	法律時報	49(14)	1977.12
服部榮三	「航空運送－航空法一般，航空運送人の責任，空難・航空事故」『文献商法学(下巻)総則・商行為，手形他篇』	商事法務研究会	-	1978.4
位田隆一	「昭和51年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	77(1)	1978.5
桜田嘉章	「昭和51年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	77(1)	1978.5
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	20・21	1978.9

高田桂一	「航空法(1978年学界回顧)」	法律時報	50(12)	1978.12
山崎公士	「1978年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	78(1・2)	1979.6
高田桂一	「航空法(1979年学界回顧)」	法律時報	51(12)	1979.12
野上鉄夫	「最近の空法学会の管見－空法雑誌の文献解題から」	愛媛法学会雑誌	6(1)	1979.5
潮海一雄	「法學文献案内－大阪国際空港裁判(上)」	法学セミナー	24(1)	1980.1
潮海一雄	「法學文献案内－大阪国際空港裁判(下)」	法学セミナー	24(2)	1980.2
山崎公士	「1979年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	79(2)	1980.7
法務省大臣官 房司法法制調査 部	『特別刑法文献目録』	法曹会	-	1980.12
池田文雄	「外国文献抄録」	空法	22・23	1981.6
最上敏樹	「1980年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	80(2)	1981.6
山内惟介	「1980年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	80(2)	1981.6
倉沢康一郎	「保険・海商・航空法(1981年学界回顧)」	法律時報	53(13)	1981.12
早田芳郎	「1981年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	81(2)	1982.6
武山真行	「1981年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	81(2)	1982.6
倉沢康一郎	「保険・海商・航空法(1982年学界回顧)」	法律時報	54(12)	1982.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	24	1983.5
武山真行	「1982年度主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	82(2)	1983.6
横山潤	「1982年度主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	82(2)	1983.6
吉川吉衛	「保険・海商・航空法(1983年学界回顧)」	法律時報	55(12)	1983.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	25	1984.5

横山新・佐藤 文夫・川崎恭治	「1983年度主要文献目録－国 際法」	国際法外交雑 誌	83(2)	1984.6
横山潤	「1983年度主要文献目録－国 際私法」	国際法外交雑 誌	83(2)	1984.6
坂口光男	「保険・海商・航空法(1984年 学界回顧)」	法律時報	56(13)	1984.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	26	1985.5
横山新・佐藤 文夫・川崎恭治	「1984年度主要文献目録－国 際法」	国際法外交雑 誌	84(2)	1985.6
渡部惺之	「1984年度主要文献目録－国 際私法」	国際法外交雑 誌	84(2)	1985.6
坂口光男	「保険・海商・航空法(1985年 学界回顧)」	法律時報	57(13)	1985.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	27	1986.5
西井正弘・浅 田正彦	「1985年度主要文献目録－国 際法」	国際法外交雑 誌	85(2)	1986.6
渡部惺之	「1985年度主要文献目録－国 際私法」	国際法外交雑 誌	85(2)	1986.6
無署名	「文献でみる交通問題－航空 界の動向(1)」	運輸と経済	46(6)	1986.6
坂口光男	「保険・海商・航空法(1986年 学界回顧)」	法律時報	58(13)	1986.12
潮海一雄	「公害・環境問題と法(1986年 学界回顧)」	法律時報	58(13)	1986.12
道垣内正人・ 廣江健司	「1986年度主要文献目録－国 際私法」	国際法外交雑 誌	86(2)	1987.6
西井正弘・浅 田正彦	「1986年度主要文献目録－国 際法」	国際法外交雑 誌	86(2)	1987.6
無署名	「文献でみる交通問題－航 空・空港・コミューターの動向」	運輸と経済	47(9)	1987.9
坂口光男	「保険・海商・航空法(1987年 学界回顧)」	法律時報	59(13)	1987.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	29	1988.5
道垣内正人・ 廣江健司	「1987年主要文献目録－国際 私法」	国際法外交雑 誌	87(2)	1988.6
葉師寺公夫・ 戸田五郎	「1987年主要文献目録－国際 法」	国際法外交雑 誌	87(2)	1988.6

今井薫・栗田和彦	「保険・海商・航空法(1988年学界回顧)」	法律時報	60(13)	1988.12
無署名	「文献でみる交通問題－航空輸送」	運輸と経済	49(2)	1989.2
国友明彦・野村美明	「1988年主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	88(2)	1989.6
戸田五郎・葉師寺公夫	「1988年主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	88(2)	1989.6
大塚英明・山田泰彦	「保険・海商・航空法(1989年学界回顧)」	法律時報	61(14)	1989.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	31	1990.5
柳原正治・兼原敦子	「1989年主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	89(2)	1990.6
大塚英明・山田泰彦	「保険・海商・航空法(1990年学界回顧)」	法律時報	62(13)	1990.12
無署名	「文献でみる交通問題－航空の動向(2)」	運輸と経済	51(5)	1991.5
中野俊一朗・斉藤彰	「1990年主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	90(2)	1991.6
柳原正治・兼原敦子	「1990年主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	90(2)	1991.6
山野嘉朗・山田泰彦	「保険・海商・航空法(1991年学界回顧)」	法律時報	63(13)	1991.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	33	1992.5
斉藤彰・中野俊一朗	「1991年主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	91(2)	1992.6
田中則夫・桐山孝信	「1991年主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	91(2)	1992.6
山野嘉朗・山田泰彦	「保険・海商・航空法(1992年学界回顧)」	法律時報	64(13)	1992.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	34	1993.5
岡野祐子・佐藤やよひ	「1992年主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	92(2)	1993.6
山野嘉朗・山田泰彦	「保険・海商・航空法(1993年学界回顧)」	法律時報	65(13)	1993.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	35	1994.5

荒木教夫・今井直	「1993年主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	93(2)	1994.6
竹浜修・相原隆	「保険・海商・航空法(1994年学界回顧)」	法律時報	66(13)	1994.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	36	1995.5
竹浜修・相原隆	「保険・海商・航空法(1995年学界回顧)」	法律時報	67(13)	1995.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	37	1996.5
松隈潤・二宮正人	「1995年主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	95(2)	1996.6
眞砂康司・中西康	「1995年主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	95(2)	1996.6
志津田一彦	「保険・海商・航空法(1996年学界回顧)」	法律時報	68(13)	1996.12
服部榮三	「航空運送取引」『文献商法学(続第1巻)』	商事法務研究会	-	1996.12
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	38	1997.5
桜井利江・二宮正人	「1996年主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	96(2)	1997.6
小山昇・眞砂康司	「1996年主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	96(2)	1997.6
志津田一彦	「保険・海商・航空法(1997年学界回顧)」	法律時報	69(13)	1997.12
日米法学会	「海法、空法」『英米法研究文献目録1976-1995』	東京大学出版会	-	1998.2
服部榮三	「航空運送取引」『文献商法学(続第2巻)』	商事法務研究会	-	1998.3
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	39	1998.5
小山昇・高杉直	「1997年主要文献目録—国際私法」	国際法外交雑誌	97(2)	1998.6
徳川信治・中井伊都子	「1997年主要文献目録—国際法」	国際法外交雑誌	97(2)	1998.6
服部榮三	「航空運送取引」『文献商法学(続第3巻)』	商事法務研究会	-	1998.8
志津田一彦	「保険・海商・航空法(1998年学界回顧)」	法律時報	70(13)	1998.12

服部榮三	「航空運送取引」『文献商法学 (続第4巻)』	商事法務研究 会	-	1998.12
無署名	「航空環境関連文献情報(米国 政府出版物データベースより)」	航空環境研究	3	1999
高田桂一	「外国文献抄録」	空法	40	1999.5
高杉直・植松 真生	「1998年主要文献目録－国際 私法」	国際法外交雑 誌	98(1・ 2)	1999.6
徳川信治・中 井伊都子	「1998年主要文献目録－国際 法」	国際法外交雑 誌	98(1・ 2)	1999.6
笹本幸祐・三 島徹也	「保険・海商・航空法(1999年 学界回顧)」	法律時報	71(13)	1999.12
植松真生・長 田真理	「1999年主要文献目録－国際 私法」	国際法外交雑 誌	99(2)	2000.6
申恵丰・児矢 野マリ	「1999年主要文献目録－国際 法」	国際法外交雑 誌	99(2)	2000.6
笹本幸祐・三 島徹也	「保険・海商・航空法(2000年 学界回顧)」	法律時報	72(13)	2000.12
長田真理・田 中美穂	「2000年主要文献目録－国際 私法」	国際法外交雑 誌	100(2)	2001.6
申恵丰・児矢 野マリ	「2000年主要文献目録－国際 法」	国際法外交雑 誌	100(2)	2001.6
笹本幸祐・三 島徹也	「保険・海商・航空法(2001年 学界回顧)」	法律時報	73(13)	2001.12
服部榮三	「航空運送取引」－運送取引 『文献商法学(続第5巻)』	商事法務研究 会	-	2002.2
田中美穂・多 田望	「2001年主要文献目録－国際 私法」	国際法外交雑 誌	101(2)	2002.8
濱本正太郎・ 山田卓平	「2001年主要文献目録－国際 法」	国際法外交雑 誌	101(2)	2002.8
鈴木達次・森 川隆	「保険・海商・航空法(2002年 学界回顧)」	法律時報	74(13)	2002.12
多田望・大村 芳昭	「2002年主要文献目録－国際 私法」	国際法外交雑 誌	102(2)	2003.8
濱本正太郎・ 山田卓平	「2002年主要文献目録－国際 法」	国際法外交雑 誌	102(2)	2003.8
関口雅夫・新 田浩司・工藤 聡一	「国内航空判例および判例評 釈一覧」	駒澤法学	3(1)	2003.12

鈴木達次・森川隆・横尾亘	「保険・海商・航空法(2003年学界回顧)」	法律時報	75(13)	2003.12
大村芳昭・北澤安紀	「2003年主要文献目録－国際私法」	国際法外交雑誌	103(2)	2004.8
西村弓・森田桂子	「2003年主要文献目録－国際法」	国際法外交雑誌	103(2)	2004.8
鈴木達次・森川隆・横尾亘	「保険・海商・航空法(2004年学界回顧)」	法律時報	76(13)	2004.12

F. 書評(Book reviews)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
大平善悟	「(書評) 檜崎敏雄著『空中戦の法的研究』」	国際法外交雑誌	42(8)	1933.8
川上太郎	「(書評) 『航空私法の国際的統一』」	国民経済雑誌	59(5)	1935.11
横田喜三郎	「(書評) 田岡良一著『空襲と国際法』」	法学協会雑誌	55(9)	1937.9
青木優二郎	「(書評) 田岡良一著『空襲と国際法』」	法学(東北大学)	6(9)	1937.9
田畑茂二郎	「(書評) 田岡良一著『空襲と国際法』」	法学論叢	37(5)	1937.11
福地俊雄	「(書評) 小町谷操三著『空中運送法論』」	法学(東北大学)	10(4)	1941.4
大橋光雄	「(書評) 小町谷操三著『空中運送法論』」	法律時報	13(6)	1941.6
市川秀雄	「(書評) 檜崎敏雄著『空中戦の法的研究』」	法学新報	53(8)	1943.8
三沢潤生	「(書評) ニコラス・マテスコ著『空(航空)法』」	空法	1	1955.10
戸田修三	「(書評) 池田文雄著『国際航空法概論』」	国際法外交雑誌	56(2)	1957.5
西島弥太郎	「(書評) 高田桂一著『空法概論』」	法と政治(関西学院大学)	13(3)	1962.10
池田文雄	「(書評) 高田桂一著『空法概論』」	週刊読書人	不詳	1963
坂本昭雄	「(書評) 高田桂一著『空法概論』」	一橋論叢	49(6)	1963.6

羽倉弘之	「(書評)スティブン J. E. 『国際航空事故における適正な裁定 (J. E. Stephen, The Adequate Award in International Aviation Accidents, 1966)』」	航空法務研究	4	1970.10
服部榮三	「(書評)桐山武著「欧米諸国のフォワードターの現状と将来」(輸送展望131号・1973.5)」	商事法務	641	1973.9
服部榮三	「(書評)有田喜十郎著「国際運送取扱人発行の運送取扱に関する証書について」『企業法の研究(大隅健一郎先生古稀記念)』(有斐閣・1977.1)」	商事法務	768	1977.5
山本草二	「(書評)栗林忠男著『航空犯罪と国際法』」	法学研究(慶応義塾大学)	51(12)	1978.12
西井正弘	「(書評)城戸正彦著『空域主権の研究』(1981年・風間書房)」	国際法外交雑誌	81(2)	1982.6
長田祐卓	「(書評)城戸正彦著『空域主権の研究』」	法学研究(慶応義塾大学)	55(10)	1982.10
増井健一	「(書評)太田正樹著『航空輸送の経済学』」	交通学研究	1982	1983.3
Sekiguchi, Masao	“(Book Review) Teruo Sakamoto, The Modern Law of Aviation (In Japanese, Gendai Kokuho), Yushodo, Tokyo, 1984, IX, 340 pp.”	Annals of Air and Space Law	9	1984
Sekiguchi, Masao	“(Book Review) Katsutoshi Fujita, Legal Studies on Aviation Liability (In Japanese, Koku Songai Baisho Sekinin Horon), Yuhukaku, Tokyo, 1985, IX, 253 pp.”	Annals of Air and Space Law	10	1985
藤岡公夫	「(書評)岩崎一生著『国際取引法要説』」	国際商事法務	18(9)	1990.9
高橋望	「(書評)増井健一・山内弘隆著『航空輸送』」	交通学研究	35	1992
佐藤寛	「(書評)松岡博著『国際取引と国際私法』」	国際法外交雑誌	91(4・5)	1993.12
高桑昭	「(書評)奥田安弘著『国際取引法の理論』」	民商法雑誌	107(3)	1992.12

米田泰邦	「(書評)土本武司著「航空事故の特性と刑事過失責任」(判例時報 1392号, 1393号, 1395号(1992年))」	法律時報	65(1)	1993.1
塩見英治	「(書評)中条潮著『現代の航空輸送』」	高速道路と自動車	40(1)	1997.1
金斗煥	「(書評)関口雅夫著『国際航空運送人の責任制度』」	The Korean Journal of Air and Space Law	10	1998.8
榊原胖夫	「(書評)高橋望著『米国航空規制緩和をめぐる諸議論の展開』」	関西大学商学論集	44(1)	1999.4
宮下国生	「(書評)高橋望著『米国航空規制緩和をめぐる諸議論の展開』」	国民経済雑誌	179(6)	1999.6
北岡健司	「(書評)坂本昭雄著『新しい国際航空法』」	レファレンス	585	1999.10
G. 条約(Treaties)				
	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】 【年月】
	航空庁	『国際民間航空条約』	航空庁	- 1951
	池田文雄	「1955年にハーグで改正されたワルソー条約」	空法	2 1956.10
	航空私法研究会	『国際航空運送関係条約集』	航空振興財団	- 1971.9
	横田喜三郎・高野雄一	『国際条約集(1988年度版)』	有斐閣	- 1988.3
	小田滋・石本泰雄	「航空機の不法な奪取の防止に関する条約」「国際民間航空条約」「民間航空の安全に対する不法な行為の防止に関する条約」『解説条約集(第3版)』	三省堂	- 1988.4
	外務省条約局	『条約集－昭和62年(二国間条約)』	大蔵省印刷局	- 1990.4
	増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(1)」	国際商事法務	30(7) 2002.7
	増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(2)」	国際商事法務	30(8) 2002.8

増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(3)」	国際商事法務	30(9)	2002.9
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(4)」	国際商事法務	30(10)	2002.10
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(5)」	国際商事法務	30(11)	2002.11
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(6)」	国際商事法務	30(12)	2002.12
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(7)」	国際商事法務	31(1)	2003.1
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(8)」	国際商事法務	31(2)	2003.2
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(9)」	国際商事法務	31(3)	2003.3
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(10)」	国際商事法務	31(4)	2003.4
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(11)」	国際商事法務	31(5)	2003.5
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(12)」	国際商事法務	31(6)	2003.6
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(13)」	国際商事法務	31(7)	2003.7
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(14)」	国際商事法務	31(8)	2003.8
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(15)」	国際商事法務	31(9)	2003.9

増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(16)」	国際商事法務	31(10)	2003.10
増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(17)」	国際商事法務	31(11)	2003.11
増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(18)」	国際商事法務	31(12)	2003.12
増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(19)」	国際商事法務	32(1)	2004.1
増田晋・垣内純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(20・完)」	国際商事法務	32(2)	2004.2

H. 法規(Laws and regulations)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
朝陽会	『航空条約及航空法』	朝陽社	-	1922.9
逓信省航空局	『航空法規集(大正14年版)』	逓信省航空局	-	1925.3
逓信省航空局	『航空法規に関する条約及追加議定書』	逓信省航空局	-	1927.5
逓信省航空局	『航空法規集(昭和2年版)』	逓信省航空局	-	1927.10
石橋猪作	『航空法規要覧』	工人社	-	1941
佐田侃三・川崎忠三郎	『「滑空機規則」解説』	航空時代社	-	1943.3
石橋猪作	『航空法規要覧(改訂版)』	工人社	-	1944.3
法務大臣官房 司法法制調査部	『航空；貨物運送；観光(現行日本法規)』	帝国地方行政 学会	-	1949
関越夫	『航空機抵当法・日本航空株式会社法概説』	鳳林書林	-	1953
寺田治郎	「航空機強制執行規則等の制定と自動車強制執行規則等の改正について」	法曹時報	5(10)	1953.10
別府正夫	「輸送用航空機の国産化を推進－航空機工業振興法の一部を改正する法律案－」	時の法令	306	1959.2

町田直	「航空交通管制本部を設置－運輸省設置法等の一部を改正する法律」	時の法令	307	1959.2	
荻原四郎	『航空法(改訂)』	鳳文書林	-	1960	
住田俊一	『航空運航法規概説』	日本評論新社	-	1962.1	
住田俊一	「日本航空株式会社法概説」	交通研究	1963	1963.3	
重田晴生	「航空法令の変遷」	空法	10	1966.10	
運輸省航空局	『航空法規集』	鳳文書林	-	1968	
無署名	「航空法の一部改正」	法律のひろば	23(6)	1970.6	
塩見正幸	「新東京国際空港の建設－新東京国際公団法の一部を改正する法律(昭和45年5月2日公布・法律第43号)」	時の法令	720	1970.7	
奥村誠	「ハイジャックの防止と処罰－航空機の強取等の処罰に関する法律(昭和45年5月18日公布・法律第68号)」	時の法令	730	1970.11	
航空六法編集委員会	『航空六法(昭和46年度版)』	航空振興財団	-	1971	
運輸省航空局	『航空法規集(加除式)』	鳳文書林	-	1972.1	
航空振興財団	『国内航空法規解説(改訂版)』	航空振興財団	-	1973	
上子道雄	「航空法の一部を改正する法律の概要」	トランスポート	25(8)	1975.8	
山口真弘	『航空法規解説』	航空振興財団	-	1976.9	
松本学	『新しい航空法解説』	鳳文書林	-	1976.12	
運輸省航空局	『航空法(航空法施行令・航空法規施行規則, 昭和59年4月10日現在)』	鳳文書林	-	1977.10	
運輸省航空局	『航空法規集(第8刷改定)』	鳳文書林	-	1978.10	
日本航空技術協会	『航空法規解説(第2版)』	日本航空整備協会	-	1979.3	
一 九 九	三澤明	「空港利用者の利便がより一層向上される(新東京国際空港公団法の一部を改正する法律・昭55・1・8公布法律第1号)」	時の法令	1063	1980.2
	松本学	『新航空法解説(改訂新版)』	日本航空操縦士協会	-	1981.7

土屋正興	『明解航空法解説』	鳳文書林	-	1983.3
荒木正治	「関西国際空港の建設－関西国際空港株式会社法案」	立法と調査	121	1984.4
中畑美男	「関西国際空港の建設－関西国際空港株式会社法(昭和59年6月30日公布・法律第53号)」	時の法令	1228	1984.10
山口真弘	『運輸法制通則の研究』	交通協力会	-	1985.4
航空機騒音対策研究会	『航空機騒音防止関係法令集(昭和60年版)』	ぎょうせい	-	1985.11
航空振興財団	『国内航空法規解説(4訂版)』	航空振興財団	-	1986
羽尾一郎	「日本航空株式会社法を廃止する等の法律(昭和62年9月11日法律第92号)」	法令解説資料 総覧	71	1987.12
松本学	『新航空法解説(改訂版)』	鳳文書林	-	1991.1
運輸省航空局	『航空法(航空法施行令・航空法施行規則,平成3年3月25日現在)』	鳳文書林	-	1991.3
運輸省航空局	『航空法令集(平成3年版)』	鳳文書林	-	1991.3
運輸省航空局	『航空危険物輸送法令集』	鳳文書林	-	1991.7
黒沢利武	「海上通関手続の電算化に向けて－航空運送貨物の税関手続の特例等に関する法律の一部を改正する法律(平成3年3月30日公布・法律第18号)」	時の法令	405	1991.7
土屋正興	『操縦者用航空法』	鳳文書林	-	1991.7
山田敏之	『我が国が未批准の国際条約一覧(1991年10月現在)』	外国の立法	30(6)	1991.11
山口真弘	『航空法規解説(全訂版)』	航空振興財団	-	1992.3
航空技術編集部	「航空法の一部改正について」	航空技術	476	1994.11
運輸省航空局	『航空六法(平成6・7年版)』	鳳文書林	-	1995
航空技術編集部	「航空法の一部改正について」	航空技術	478	1995.1
海谷厚志	「航空法の一部を改正する法律(平成6年6月29日法律第76号)」	法令解説資料 総覧	162	1995.7

航空機騒音対策研究会	『航空機騒音防止関係法令集（平成7年版）』	ぎょうせい	-	1995.9
航空振興財団	『国際航空法規解説（改訂）』	航空振興財団	-	1996
無署名	「航空法施行規則の一部改正について」	航空技術	507	1997
運輸省航空局	『航空法：航空法施行令，航空法施行規則（改訂新版）』	鳳文書林	-	1997
運輸省航空局	『新航空法解説：航空従事者のための（改訂7版）』	鳳文書林	-	1997
不詳	「航空法の一部を改正する法律」	法令解説資料 総覧	180	1997.1
松本学	『新航空法解説（改訂第7版）』	鳳文書林	-	1997.10
運輸省航空局	『航空法（航空法施行令・航空法規施行規則，平成9年10月1日現在）』	鳳文書林	-	1997.12
日本航空技術協会	『新航空法規解説』	日本航空技術協会	-	1998.3
運輸省航空局	『航空法－航空法施行令・航空法施行規則（平成10年10月1日現在）』	鳳文書林	-	1998.11
山田敏之・眞子ゆかり	「我が国が未批准の国際条約一覧（改訂版）1998年1月末現在で未批准のもの」	外国の立法	202	1998.3
佐藤壮紀	「中部国際空港の設置及び管理に関する法律（平成10年3月31日法律第36号）」	法令解説資料 総覧	207	1999.4
志田文毅	「新東京国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律の一部を改正する法律（平成11年3月31日法律第26号）」	法令解説資料 総覧	210	1999.7
土屋正興	『操縦者用航空法（第6版）』	鳳文書林	-	2000.12
国土交通省航空局	『航空法（航空法施行令・航空法施行規則，平成13年3月31日現在）』	鳳文書林	-	2001.5
土屋正興	『操縦者用航空法（第7版）』	鳳文書林	-	2001.7
猶野喬	「航空事故調査委員会設置法の一部を改正する法律（平成13年4月25日法律第34号）」	法令解説資料 総覧	235	2001.8

国土交通省航空局	『航空法(航空法施行令・航空法施行規則・航空法関係手数料令, 平成14年4月1日現在)』	鳳文書林	-	2002.6
松本学	『新航空法解説(改訂10版)』	鳳文書林	-	2003.3
国土交通省航空局	『航空法(航空法施行令・航空法施行規則, 平成15年7月31日現在)』	鳳文書林	-	2003.9

015. 国際航空法条約(International air law conventions)

A. 総論(General)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
朝陽会	『航空条約及航空法』	朝陽社	-	1922.9
池田文雄	「航空条約批准状況」	空法	6	1962.6

B. 航空郵便条約(Airmail conventions)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
秋田穰	「鉄道・軌道・自動車及航空機に依る郵便物の運送に就て(1)」	鉄道軌道経営資料	19(1)	1936.11
秋田穰	「鉄道・軌道・自動車及航空機に依る郵便物の運送に就て(2)」	鉄道軌道経営資料	19(2)	1936.12
秋田穰	「鉄道・軌道・自動車及航空機に依る郵便物の運送に就て(3)」	鉄道軌道経営資料	19(4)	1937.4

C. 衛生条約(Sanitary conventions)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関口雅夫	「国際航空法の沿革」	法学論集(駒澤大学)	25	1982.3

D. 航空法典についての準備作業(Preparations for the Code de l' Air)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
沢田廉三	「1911年万国々国際法学会の飛行機法案」	国際法雑誌	10(9)	1912.5
無署名	「国際航空法案」	法学協会雑誌	30(5)	1912.5
矢澤惇	「航空私法統一条約の進展とパリ小委員会」	ジュリスト	205	1960.7
藤田勝利	「国際航空責任の統合制度に関する条約草案をめぐる若干の問題－1982年国際法協会モントリオール大会空法部会の報告を	空法	25	1984.5

- かねて」
- | | | | | |
|------|---|------------|----|--------|
| 関口雅夫 | 「ワルソー条約関連資料(第1部)－1929年にワルソーで開催された第2回国際航空私法会議に提出された国際航空法専門委員会(CITEJA)の条約予備草案及び2の関連文書(資料)－」 | 法学論集(駒澤大学) | 37 | 1988.3 |
| 三好晋 | 「アルボア・ドラフト・コンベンション(ピン・チェン教授のワルソー条約改正試案)について」 | 空法 | 31 | 1990.5 |
| 竹島信夫 | 「黎明期の国際航空運送会議－ワルソー条約制定会議60年に寄せて」 | 空法 | 32 | 1991.5 |
- E. 1919年パリ条約(The Paris Convention, 1919)
- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|------|-----------------------|------------|------|--------|
| 小泉貞三 | 「1919年の国際航空条約－航空法の基礎」 | 日本評論 | 16 | 1939.2 |
| 城戸正彦 | 「パリ条約(1919年)における空の自由」 | 愛媛法学会雑誌 | 2(2) | 1976.3 |
| 関口雅夫 | 「国際航空法の沿革」 | 法学論集(駒澤大学) | 25 | 1982.3 |
- F. 1926年イベロ・アメリカン航空条約(The Ibero-American Convention, 1926)
- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|------|------------|------------|------|--------|
| 関口雅夫 | 「国際航空法の沿革」 | 法学論集(駒澤大学) | 25 | 1982.3 |
- G. 1928年パン・アメリカン商業航空条約(The Pan-American Convention, 1928)
- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|------|------------|------------|------|--------|
| 関口雅夫 | 「国際航空法の沿革」 | 法学論集(駒澤大学) | 25 | 1982.3 |
- H. 1944年シカゴ民間航空条約、及び同附属書(The Chicago Convention, 1944, with Annexes)
- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|-------|---|-------|------|---------|
| 浜島正金 | 「シカゴ条約と国際民間航空機関」 | 航空 | 1(2) | 1952.12 |
| 大塚博比古 | 「国際民間航空の基本条約に参加(国際民間航空条約・10月8日公布条約第21号、航空業務通過協定・10月29日公布条約第 | 時の法令 | 118 | 1953.12 |

	29号)]				
山名寿三	「国際民間航空法(1)－1944年に締結せられた国際民間航空条約」	日本法学	19(1)	1953.10	
山名寿三	「国際民間航空法(2)－1944年に締結せられた国際民間航空条約」	日本法学	19(2)	1953.10	
武田実	「国際民間航空条約に関する若干の問題について」	空法	1	1955.10	
航空振興財団	『国際民間航空条約第10付属書：航空通信国際基準及び勧告方式』	航空振興財団	-	1968	
航空振興財団	『国際民間航空条約第11付属書：航空交通業務についての国際標準及び勧告方式』	航空振興財団	-	1968	
航空振興財団	『国際民間航空条約第8付属書：航空機の耐空性についての標準及び勧告方式』	航空振興財団	-	1968	
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第7付属書：航空機国籍及び登録記号：国際基準及び勧告方式(第3版)』	航空振興財団	-	1969	
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第9付属書：出入国簡易化：国際基準及び勧告方式(第6版)』	航空振興財団	-	1969	
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第14付属書：飛行場：国際基準及び勧告方式(第5版)』	航空振興財団	-	1970.8	
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第2付属書：航空規則についての国際標準及び勧告方式(1969年版)』	航空振興財団	-	1970.11	
航空振興財団	『国際民間航空条約第2付属書：航空規則についての国際基準及び勧告方式(1969年版)第6版』	航空振興財団	-	1971	
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第13付属書：国際標準および勧告方式・航空機事故調査』	航空振興財団	-	1971	一九四
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第3付属書：国際標準および勧告方式・航空機の運航第二部・国際一般航空(第1版)』	航空振興財団	-	1971	

国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第6附属 書：国際標準および勧告方式・ 航空機の運航第一部・国際商業 航空輸送(第2版)』	航空振興財団	-	1971.9
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第15附属 書：航空情報業務：国際基準及 び勧告方式(第5版)』	航空振興財団	-	1972
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第16附属 書：航空機騒音：国際基準及び 勧告方式(第1版)』	航空振興財団	-	1973
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第10附属 書：航空通信：国際基準及び勧 告方式』	航空振興財団	-	1973
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第13付属 書：航空機事故調査：国際基準 及び勧告方式(第3版)』	航空振興財団	-	1973
城戸正彦	「シカゴ条約における空の自由」	愛媛法学	9	1976.12
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第6附属 書：国際標準および勧告方式・ 航空機の運航第一部・国際商業 航空輸送(第3版)』	航空振興財団	-	1977.1
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第3附属 書：国際標準および勧告方式・ 国際航空のための気象業務(第 8版)』	航空振興財団	-	1979.5
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第11附属 書：国際標準および勧告方式・ 航空交通業務(第7版)』	航空振興財団	-	1979.8
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第16附属 書：国際標準および勧告方式・ 航空機騒音(第3版)』	航空振興財団	-	1979.9
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第9附属 書：国際標準および勧告方式・ 出入国簡易化(第7版)』	航空振興財団	-	1980.3
一 九 三 国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第13付属 書：航空機事故調査：国際標準 及び勧告方式(第6版)』	航空振興財団	-	1981.11
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第17附属 書：国際標準および勧告方式・ 保安(第2版)』	航空振興財団	-	1981.12

横田淳	「国際民間航空条約第50条(a)の改正に関する1974年10月16日にモンテリオールで署名された議定書」	法令解説資料 27 総覧	1982.5
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第6 附属書：国際標準および勧告方式・航空機の運航第二部・国際一般航空(第2版)』	航空振興財団 -	1982.10
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第7 附属書：国際標準および勧告方式・航空機国籍及び登録記号(第4版)』	航空振興財団 -	1982.10
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第8 附属書：国際標準および勧告方式・航空規則(第6版)』	航空振興財団 -	1982.10
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第5 附属書：国際標準および勧告方式・空中および地上の作業に使用される測定単位(第4版)』	航空振興財団 -	1983.1
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第15附属書：国際標準および勧告方式・航空情報業務(第6版)』	航空振興財団 -	1985.1
米沢義衛	「貿易秩序と国際航空秩序」	青山経済論集 36(2・3・4)	1985.2
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第2 附属書：国際標準および勧告方式・航空規則(第7版)』	航空振興財団 -	1985.5
航空振興財団	『国際民間航空条約第10附属書：航空通信 標準及び勧告方式(第1巻・第2巻)』	航空振興財団 -	1986.5
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第4 附属書：国際標準および勧告方式・航空図(第8版)』	航空振興財団 -	1987.9
航空振興財団	『国際民間航空条約第13附属書：航空事故調査 標準及び勧告方式(第2版)』	航空振興財団 -	1989.2
国際民間航空機関 [航空振興財団]	『国際民間航空条約第6 附属書：国際標準および勧告方式・航空機の運航第三部・国際航空：ヘリコプター(第2版)』	航空振興財団 -	1991.1

国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第18附属 書：国際標準および勧告方式・ 危険物の安全空輸(第2版)』	航空振興財団	-	1993.8
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第6付属 書：航空機の運航：国際標準及 び勧告方式 第2部(1993年版)	航空振興財団	-	1993.9
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第2附属 書：国際標準および勧告方式・ 航空規則(第9版)』	航空振興財団	-	1994.2
岡田清	「兩大戦間における国際航空 条約の成立過程」	成城大学経済 研究	131	1995.12
国際民間航空 機関 [航空振興 財団]	『国際民間航空条約第6付属 書：航空機の運航：国際標準及 び勧告方式(国際商業航空輸 送)』	航空振興財団	-	1996.7
曾根務	「シカゴ条約83 bis について」	空法	38	1997.5

016. 諸国における航空法(Air law in different countries)

A. アメリカ(United States)

	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
	無署名	『米国民間航空法(米国航空法 規集1)』	航空振興財団	-	不詳
	無署名	『1926年商業航空法；連邦飛 行場法；国際航空施設法；空 港地域設定法(米国航空法規集 2)』	不詳	-	不詳
	航空庁	『米国航空法規集』	航空庁	-	1951
	無署名	「米国の航空通商規則(仮訳)」	大蔵省税関部 調査統計課月報	5(7)	1952.8
	池田文雄	「1958年連邦航空法」	空法	10	1966.10
	関口雅夫・浅 野裕司	「アメリカ合衆国における 1958年連邦航空法」	空法	10	1966.10
一 九 一	田口仁康	「(アメリカ)1970年空港およ び航空路整備法-1970年空港お よび航空路税法」	外国の立法	10(1)	1971.1
	高田桂一	「空法-アメリカ法の潮流」	アメリカ法	1974-	1974.1 1

田口仁康	「1979年航空安全及び騒音防止法」	外国の立法	20(1)	1981.1
田口仁康・田村正明	「(アメリカ)1984年民間航空委員会廃止法—Civil Aeronautics Board Sunset Act of 1984」	外国の立法	137	1985.5
B. イギリス(England)				
【著者】 無署名	【論題】 「英国空中飛行法」	【掲載誌】 刑事誌評林	【巻号】 3(12)	【年月】 1901.12
榎崎敏雄	「空中に関する英法の二三の問題について」	法学新報	44(10)	1934.10
生天目忠夫	「(イギリス)空港公団法案」	外国の立法	17	1965.5
航空振興財団	「英国航空法(1932年の航空法により成立した法令ならびに航空会社の組織及び業務に関する法令以外の民間航空に関する法令を統合する法律(1949.11.24)」	航空振興財団	-	1970.6
田口仁康	「(イギリス) ロンドン(ヒースロー)空港防音工事補助金交付規則」	航空法務研究	7	1971.5
田口仁康	「(イギリス)1971年民間航空法(その1)」	外国の立法	11(3)	1972.5
田口仁康	「(イギリス)1971年民間航空法(その2)」	外国の立法	11(4)	1972.7
桜井保之助	「(イギリス)1974年空港警備法」	外国の立法	14(3)	1975.5
田口仁康	「(イギリス)航空旅券積立基金法」	外国の立法	15(6)	1976.11
野村宗訓	「イギリス航空事業における競争調整手法」	経済学論究 (関西学院大学)	51(4)	1998.4
C. フランス(France)				
【著者】 無署名	【論題】 「仏国航空法案」	【掲載誌】 外交時報	【巻号】 18(1・2)	【年月】 1913.7
木村庸治	「航空運送人の責任に関する新佛蘭西法制」	法学協会雑誌	48(2)	1930.2
金沢理	「フランス1955年民間航空法典(1)」	空法	6	1962.6

金沢理	「フランス1955年民間航空法典(2)」	空法	7	1962.10
金沢理	「フランス1955年民間航空法典(3)」	空法	8	1963.10
金沢理	「フランス1955年民間航空法典(4)」	空法	9	1966.9
湯浅伸	「(フランス)刑法典第307条の一部を改正する法律(ハイジャック禁止法律案)」	外国の立法	47	1970.5
湯浅伸	「(フランス)航空機強取禁止法(刑法一部改正)」	外国の立法	51	1971.1

D. ドイツ(Germany)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
宮前憲三	「独逸防空法に就て」	地方行政	45(6)	1937.6
池田文雄	「ドイツ1959年航空法について」	空法	5	1960.4
志鎌一之	「西独の1961年旅客運送法の概要」	レファレンス	135	1962.4
中内通明	「(西ドイツ)航空法(第6次)改正法案」	外国の立法	12	1964.9
長野実	「(西ドイツ)空港周辺の航空騒音防止法案」	外国の立法	10(3)	1971.5
横山潔	「(西ドイツ)第11次刑法改正法－ハイジャック防止に関して」	外国の立法	11(6)	1972.11
横山潔	「西独第11次改正法－ハイジャック防止に関して」	航空法務研究	10	1973.9
城戸正彦	“Gesetze und Entwürfe von Gesetzen betr. die Luftfahrt Bde. I-III, Berlin 1919-21”	空法	16	1973.10

E. その他の国家(Other countries)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
一八九 森山武市郎	「瑞西航空法」	国家及国家学	9(10)	1921
一八九 サンド [藤田 嗣雄]	「ソ連邦における航空法の発展」	レファレンス	183	1966.4
一八九 ギルドイマン [喜多川篤典]	「スイスにおける航空立法の最近の趨勢」	空法	9	1966.9

野上鉄夫	「(紹介)イタリア航空法典上の若干の制度(1)」	海上保安大学 校研究報告	42年度	1968
野上鉄夫	「ソ連の航空法典」	空法	12	1968.10
Kuribayashi, Tadao	“The Basic Structure of Australian Air Law (1st ed.)”	Keio University Press	-	1970.6
石塚寿夫	「(キューバ)ハイジャック規制法(仮題)」	外国の立法	47	1970.5
クーパー, デニス [田中穂積]	「『ソビエト連邦航空法典』－ソビエト民間航空についての概説」	札幌大学教養部・札幌大学女子短期大学紀要	15	1979.9
三宅優	「ソ連邦航空法典(前)」	熊本短大論集	36(3)	1986.3
三宅優	「ソ連邦航空法典(後)」	熊本短大論集	37(1)	1987.5
関口雅夫	「1983年カナダ航空安全委員会法」	政治学論集 (駒澤大学)	26	1987.10
関口雅夫	「カナダにおける新しい航空機事故調査制度－1983年カナダ航空安全委員会法－」	航空運航システム研究会雑誌	4	1987.11

017. 諸国における判例法(Case law in different countries)

A. アメリカ(United States)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
高窪利一	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－航空機の構造上の瑕疵と製造業者責任(Northwest Airlines, Inc. v. Glem L. Martin, 224 F.2d 120 (6th Cir., 1955).)」	空法	3	1958.4
Takakubo, Ri-ichi	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－Northwest Airlines, Inc. v. Glem L. Martin, 224 F.2d 120 (6th Cir., 1955).」	空法	3	1958.4
小林一俊	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－航空乗務員の労働争議に関するインジャンクション－差止命令－について(Northwest Airlines, Inc., v. Air Line Pilots Association, International, A. E. L. -C. I. O. et al., July 2, 1960.)」	空法	6	1962.6

桐山武	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－相次運送の態様による締約国非締約国間の往復旅客運送とワルソー条約適用の有無(ニュー・ジャージー州最高裁判所1956年6月20日判決)〕	空法	8	1963.10
高田桂一	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－航空運送状の必要的記載事項に欠缺ある場合の運送人の責任と相殺(アメリカ合衆国連邦裁判所1959年2月11日判決－Flyng Tiger Line, Inc. v. United States (U. S. & C. Av. R., 1959, pp. 111-118.)〕	空法	8	1963.10
松岡誠之助	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－国際運送－合意による寄航地(ニュー・ヨーク州最高裁判所1956年6月8日判決－U. S. & C. Av. R., 1956. P. 387.)〕	空法	8	1963.10
松岡誠之助	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－条約の解釈－準拠法(ニュー・ヨーク州高等裁判所ニュー・ヨーク支部1956年4月23日判決－U. S. & C. Av. R., 1959. P. 209.)〕	空法	8	1963.10
紋谷暢男	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－損害賠償請求訴訟－荷送人または荷受人－概念(ニュー・ヨーク州ニュー・ヨーク市裁判所1957年9月30日判決－Holzer Watch Co. v. Saaboard and Western Airlines, Inc. (U. S. & C. Av. R., 1958, p. 142.)〕	空法	8	1963.10
紋谷暢男	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－訴権－条約により創設された権利－不存在(合衆国控訴裁判所第二巡回裁判区－Ruth M. Noel et al., Ex'rs. V. Linea Aeropostal Venesolana (U. S. & C. Av. R., 1957, p. 274.)〕	空法	8	1963.10

紋谷暢男	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－訴権－荷送人－概念－相次運送－適用されるべき条約－損害－概念－訴え－提起期間(ニュー・ヨーク州ニュー・ヨーク市裁判所1958年1月30日判決－Parke, Davis and Co. v. British Overseas Airways Corp., Seaboard and Western Airlines, Inc., and American Airlines (U. S. & C. Av. R. 1953, p. 122.))〕	空法	8	1963.10
前田重行	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－マーテンス対フライング・タイガー航空会社事件(Frederic T. Mertens, Sr., as Administrator of the Estate of Frederic Thorn Mertens, deceased, Plaintiff v. The Flying Tiger Line, Inc., Defendant(1963.))〕『航空運送人の旅客に対する責任に関する判例』	航空振興財団 -	1968.6	
渋谷達紀	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－リシー対アリタリア航空会社事件(Lisi v. Alitalia-Linee Aeree Italiane, 253 F. Supp. 237 (S. D. N. Y. 1966.))〕	空法	12	1968.10
畑口紘	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－ワーレン対フライング・タイガー航空会社事件(カリフォルニア南部地方中央区裁判所1964年9月21日判決)〕	空法	12	1968.10
前田重行	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－マーテンス対フライング・タイガー航空会社事件(Frederic T. Mertens, Sr., as Administrator of the Estate of Frederic Thorn Mertens, deceased, Plaintiff v. The Flying Tiger Line, Inc., Defendant(1963.))〕	空法	12	1968.10
関俊彦	〔(外国判例研究)アメリカ航空判例－バーデル対カナダ太平洋航空会社(イリノイ州巡回裁	空法	14	1971.10

	判所1968年11月7日判決)」			
山崎悠基	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－アナスタシア・プリスコウ対エールフランス事件(アメリカ合衆国地方裁判所1968年9月30日判決(290 Fed. Supp. 863).)」	空法	14	1971.10
野口明宏	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－ターミナル空港の事故における階段の状況と推定悪意(Warshavesky v. El Al Airlines and Unifours, Inc., 161 N.Y. L. J. 57-2 (N. Y. Supp. 1969).)」	空法研究	1	1975.3
野口明宏	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－航空機共有者の責任(Margaret Orfice v. Albert, 11 Av. Cas. 17248 (Fla. Dist. Ct. App. 1969).)」	空法研究	1	1975.3
野村美明	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－フォラム・ノン・コンヴェニエンス法理に基づいて訴えを却下する場合のGilbert基準を再確認し、結局却下が相当とされた事例(Piper Aircraft Co. v. Reyno, 454 U. S. 235, 102 S. Ct. 252(1981).)」	アメリカ法	1984-1	1984.9
杉江徹	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－Trans World Airlines, Inc. v. Franklin Mint Corp., 466 U. S. 243, 104 S. Ct. 1776(1984)－ワルソー条約の貨物についての運送人の責任制限は、1ポンドにつき9.07ドルを換算単位として、合衆国で執行される」	アメリカ法	1986-1	1986.9
宇賀克也	「(外国判例研究)アメリカ航空判例－民間航空に利用される航空機の証明に際しての連邦航空局の過失に基づく合衆国に対する損害賠償請求は、連邦不法行為請求権法の裁量免責条項により認められない－United States v. S. A. Empresa de	アメリカ法	1987-1	1987.9

	Viacao Aerea Rio Grandense (Varig Airlines) et al.; United States v. United Scottish Insurance Co. et al., 467 U. S. 797, 104 S. Ct.]			
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－U. S. Aviation Report 1,1981 pp.1-6－ワルソ ー条約19条, 20条, 26条参照〕	専修法学論集	60	1994.3
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－U. S. Aviation Report 1, 1981, pp.404-417－ワ ルソール条約3条2項, モントリ オール協定参照〕	専修法学論集	61	1994.7
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－820 F. Supp. 1218 (N. D. Cal. 1993)－ワルソール条約1 条以下, 24条参照〕	専修法学論集	62	1994.11
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－Gray v. Lockheed Aeronautical Systems Co., 125F. 3d 1371 (11th Cir., 1997)－公海における死亡法1 条以下, ジョーンズ法688条, 連邦使用者責任法1条以下参 照〕	専修法学論集	73	1998.9
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－Klos v. Polskie Linie Lotnicze, 133 F.3d 164－ワル ソール条約28条参照〕	専修法学論集	74	1998.12
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－Husmann v. T. W. A., 169 F. 3d 1151－ワルソール 条約29条参照〕	専修法学論集	77	1999.12
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－Haldimann v. Delta Airlines, 168 F. 3d 1324－ワル ソール条約1条(2), 1条(3)参照〕	専修法学論集	80	2000.12
山崎悠基	〔(外国判例研究)アメリカ航 空判例－Penina Fishman, Mi chelle Fishman v. Delta Air Lines, Inc., 132 F. 3d 138 (2nd Cir., 1998)－ワルソール条約17	専修法学論集	81	2001.3

金沢理	「(外国判例研究)フランス航空判例－航空旅客運送人の責任に関するフランスの一判例(1)(Tribunal Civil de la Seine (4e Ch.), 12 janvier 1954.)」	空法	3	1958.4
Kanazawa, Osamu	“Quelques Remarques sur le Judgment du Tribunal Civil de la Seine du 12 Janvier 1954”	空法	3	1958.4
金沢理	「(外国判例研究)フランス航空判例－航空旅客運送人の責任に関するフランスの一判例(2)(Cour d’Appel de Paris 1er Ch.4 juill. 1956)」	空法	4	1959.2
金沢理	「(外国判例研究)フランス航空判例－航空旅客運送人の責任に関するフランスの一判例(3)(Cour de cassation, Ch. Civ., 2e Sect. Civ., 23 janvier 1959)」	空法	6	1962.6
金沢理	「(外国判例研究)フランス航空判例－ワルソー条約25条の『故意に相当すると認められる過失』の意義(Tribunal de grande instance de la Seine, 25 mai 1960.)」	空法	8	1963.10
高田桂一	「(外国判例研究)フランス航空判例－ラオス、ベトナムの独立とワルソー条約の適用(フランス・セヌ民事裁判所1958年3月4日判決)」	空法	8	1963.10
桐山武	「(外国判例研究)フランス航空判例－ワルソー条約25条の『故意に相当と認められる過失』の意義(パリ控訴院1959年5月27日判決)」	空法	9	1966.9
桐山武	「(外国判例研究)フランス航空判例－ワルソー条約第29条の損害賠償請求権の失効期間と同条約第40条の適用例(セヌ高等裁判所1960年2月1日判決)」	空法	9	1966.9
関弥一郎	「(外国判例研究)フランス航空判例－回遊旅行回遊券(クーポン)による契約(セヌ大審裁判所1961年12月8日判決)」	空法	9	1966.9

関弥一郎	「(外国判例研究)フランス航空判例－契約締結の場所－運送人の営業所(パリ控訴院1962年3月2日判決)」	空法	9	1966.9
松岡誠之助	「(外国判例研究)フランス航空判例－ラオス・ベトナム間の航空運送とワルソー条約の不適用, フランス法に基づく航空運送人の責任(パリ控訴院1960年6月17日判決)」	空法	9	1966.9
松岡誠之助	「(外国判例研究)フランス航空判例－天候条件の不良にかかわらず航行を続行した場合と免責されない過失(ニーム控訴院1961年11月3日判決)」	空法	9	1966.9
赤堀光子	「(外国判例研究)フランス航空判例－ワルソー条約と無償の国際航空運送人の責任(カーン大審裁判所1961年1月24日判決)」	空法	11	1967.10
渋谷達紀	「(外国判例研究)フランス航空判例－ワルソー条約と運行の遅延に関する免責約款の効力(セーヌ大審裁判所1960年7月9日判決)」	空法	11	1967.10
渋谷達紀	「(外国判例研究)フランス航空判例－ワルソー条約第29条の責任に関する訴の提起期間の意義(セーヌ大審裁判所1961年4月14日判決)」	空法	11	1967.10
島田和夫	(外国判例研究)フランス航空判例－空港において旅客が蒙った損害に対する航空運送人の責任とワルソー条約(フランス・セーヌ大審裁判所1961年6月2日判決)」	空法	13	1970.10
後藤翔	「運送人の賠償責任に関するフランスの判例(カンズワ夫人事件, ヴィジオ事件)」	航空法務研究	6	1971.4
島田和夫	「(外国判例研究)フランス航空判例－回遊券の交換による運送人の代替と管轄裁判所(パリ控訴院1962年3月27日判決)」	空法	15	1972.3

石川良雄	「(外国判例研究)フランス航空判例－フランス判例における航空機騒音の問題」	判例タイムズ	352	1977.12
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1991, pp. 391-396－ワルソー条約26条・29条参照	専修法学論集	59	1993.9
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1989－ワルソー条約18条・19条・24条, 民間航空法典321条参照	専修法学論集	60	1994.3
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1991, pp. 160-166 (フランス航空法判例研究)」	専修法学論集	61	1994.7
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1993, pp. 261-263－ワルソー条約19条, 22条2項, 25条, 26条, 民間航空法典321条3項参照」	専修法学論集	62	1994.11
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1993, pp. 445-446－ワルソー条約26条参照」	専修法学論集	63	1995.3
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1994, pp. 173-175－ワルソー条約17条, 20条, 民法典1384第1項, 5項参照」	専修法学論集	64	1995.7
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1994, pp. 71-79－ワルソー条約22, 民間航空法典322-323条参照」	専修法学論集	65	1995.11

山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1993, pp. 351-354－ワルソー条約20条参照」	専修法学論集 66	1996.3
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1994, pp. 348-350－ワルソー条約17条, 29条参照〈フランス航空法判例研究〉」	専修法学論集 67	1996.7
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1995, pp. 256-261－ワルソー条約29条参照〈フランス航空法判例研究〉」	専修法学論集 68	1996.11
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1993, pp. 92-93－ワルソー条約28条参照」	専修法学論集 70	1997.7
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1994, pp. 466-470－ワルソー条約26条参照」	専修法学論集 71	1997.11
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1993, pp. 92-93－ワルソー条約28条参照」	専修法学論集 72	1998.3
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1995, pp. 265-270－ワルソー条約4条, 22条, 25条参照」	専修法学論集 73	1998.9
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1994, pp. 463-465－ワルソー条約17条」	専修法学論集 74	1998.12

山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1995, pp. 261-265－ワルソー条約29条参照」	専修法学論集 77	1999.12
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1998, pp. 300-303－ワルソー条約28条, 25条参照」	専修法学論集 77	1999.12
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1998, pp. 144-146－ワルソー条約28条, モントリオール条約33条参照」	専修法学論集 80	2000.12
山崎悠基	「(外国判例研究)フランス航空判例－Revue Française de Droit Aérien et Spatial, 1997, pp. 319-322－ワルソー条約3条, 4条, 22条, モントリオール条約3条, 31条参照」	専修法学論集 81	2001.3

D. ドイツ (Germany)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
浅野裕司	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－航空機事故による損害賠償請求権の時効(1958年4月17日ドイツ連邦裁判所判決－VII ZR. 96/97(Köln))」	空法	6	1962.6
浅野裕司	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－航空物品運送による通関手続費, 保税倉庫料立替金請求と相手方主張の損害賠償債権による相殺主張の許否(ハンブルク地方裁判所1955年4月6日判決)」	空法	8	1963.10
岡本坦	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－ワルソー条約25条にいわゆる『責任排除規定』に同29条(除斥期間)が該当する(?)場合に適用される一般法の時効期間(ドイツ最高裁判所1958年4月17日)」	空法	9	1966.9

	浅野裕司	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－旅客の運送契約違反にかかる損害賠償請求と運航者の措置の適法性(フランクフルト区裁判所1961年2月3日判決(39c473/60))」	空法	10	1966.10
	関俊彦	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－国際航空運送についてのある規則の統一に関する条約(ワルソー条約)第17条にいう『乗降のための作業中』の意義(ベルリン高等院1961年3月31日判決(KG, Urt. V.11 3, 1961-10U61/60))」	空法	13	1970.10
	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, Dezember 1988, SS.362-367－ワルソー条約18条, 26条参照」	専修法学論集	59	1993.9
	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luftrecht, März, 1992, SS. 106-108－ワルソー条約18条, ドイツ航空法44条参照」	専修法学論集	60	1994.3
	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luftrecht, September. 1986, SS. 259-263－ワルソー条約18条, 23条参照」	専修法学論集	61	1994.7
	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, 1989, SS. 178-183－ワルソー条約18条, 19条参照」	専修法学論集	62	1994.11
	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luftrecht, Dezember, 1991, SS. 468-470－ワルソー条約22条参照」	専修法学論集	63	1995.3
一七七	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luftrecht, Juni, 1994, SS. 236-237－ワルソー条約18条1項参照」	専修法学論集	64	1995.7
	山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例－Zeitschrift für Luftrecht, Juni, 1993, SS. 85-86－ワルソ	専修法学論集	65	1995.11

	一条約18条, 11条参照]			
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luftrecht, Juni, 1993, SS. 214-215-ワルソー条約18条, 19条, 24条1項参照〕	専修法学論集	66	1996.3
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luftrecht, Juni, 1993, SS. 208-212-ワルソー条約25条参照〕	専修法学論集	67	1996.7
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luftrecht-und Weltraumrecht, Juni, 1994, SS. 240-242-ワルソー条約20条参照〕	専修法学論集	68	1996.11
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, September, 1988, SS. 265-267-ワルソー条約21条参照〕	専修法学論集	70	1997.7
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, März, 1983, SS. 63-70-ワルソー条約28条参照〕	専修法学論集	71	1997.11
[福田清明]	〔航空騒音からの保護に関する法律(航空騒音法)-ドイツ〕	環境研究	108	1998.1
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, 1996, SS. 447-450-ワルソー条約22条参照〕	専修法学論集	72	1998.3
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, Juni, 1997, SS. 281-287-ワルソー条約22条, 18条, 24条参照〕	専修法学論集	73	1998.9
山崎悠基	〔(外国判例研究)ドイツ航空判例-Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, Januar, 1998, SS. 130-131-ワルソー条約22条2項a, 1973年12月4日の換算命令4条1節参照〕	専修法学論集	74	1998.12

山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例—Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, März, 1983, SS. 90-91—ワルソー条約11条, 18条参照」	専修法学論集	77	1999.12
山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例—Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, Juni, 1990, SS. 229-231—ワルソー条約23条1項参照」	専修法学論集	77	1999.12
山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空判例—Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, September, 1995, SS. 355-357—ワルソー条約29条, モントリオール条約35条参照」	専修法学論集	80	2000.12
山崎悠基	「(外国判例研究)ドイツ航空法例—Zeitschrift für Luft-und Weltraumrecht, Juni, 1998, SS. 249-252—ワルソー条約22条, 25条, モントリオール条約22条3項参照」	専修法学論集	81	2001.3

E. その他の国家(Other countries)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
桐山武	「(外国判例研究)ワルソー条約第25条における故意または重過失(1958年4月17日ブラッセル第一審裁判所判決—J. A. L. C. 1959, P. 88; R. F. D. A., 1959, P. 411.)」	空法	5	1960.4
桐山武	「(外国判例研究)ワルソー条約第30条第3項の『最初の運送人』の意義(スイス連邦裁判所判決—Z. D. R. 1960, Nr. I., S. 100; J. A. L. C. Vol. 26, p. 392.)」	空法	6	1962.6
桐山武	「(外国判例研究)ワルソー条約第28条第1項にいう運送人が契約を締結した『営業所』の意義(1957年3月26日ジュネーブ第一審裁判所判決)」	空法	7	1962.10

浅野裕司	「(外国判例研究)航空機事故による損害賠償請求権行使の失効期間(チューリッヒ高等裁判所1958年1月23日判決-Vgl. ASDA 1958, Nr. 3, S. 4 ff.)」	空法	8	1963.10
桐山武	「(外国判例研究)ワルソー条約にいわゆる相次運送としての適用例と同条約第22条2項但し書にいう『価格の申告』の意義及び同25条1項の重過失すなわち『故意に相当する過失』のレバノン法における解釈(ペイルート民事裁判所1958年10月3日判決)」	空法	8	1963.10
高田桂一	「(外国判例研究)外国産動物の運送中の死亡と意義の通知(オランダ・アムステルダム第一審裁判所1956年6月15日判決)」	空法	8	1963.10
山崎悠基	「(外国判例研究)書証による抗議の欠缺と損害賠償の訴の不適法(オランダ・アムステルダム治安裁判所1959年5月26日判決)」	空法	8	1963.10
山崎悠基	「(外国判例研究)第25条の重過失の概念(ベルギー・レオポルドビル高等裁判所1959年3月16日判決)」	空法	8	1963.10
桐山武	「(外国判例研究)ワルソー条約第29条に定める訴提起期間の性質および同条約にいう運送人の意義(ジュネーブ第一審裁判所1958年12月9日判決)」	空法	9	1966.9
山田信彦	「(外国判例研究)ワルソー条約に定められた損害賠償額の国内貨幣への換算時(スペイン最高裁判所1957年7月6日判決)」	空法	9	1966.9
山田信彦	「(外国判例研究)ワルソー条約における免責事由とその証明(スペイン最高裁判所1958年6月11日判決)」	空法	9	1966.9

- | | | | | |
|------|--|------------|-------|--------|
| 田中穂積 | 「(外国判例研究)『国際航空運送についてのある起草の統一に関する条約』(ワルソー条約)に関する外国判例紹介」 | 法律論叢(明治大学) | 50(6) | 1978.3 |
| 梁満潮 | 「(外国判例研究)航空貨物混載業者発行の航空運送混載状が信用状条件の航空運送状と認められたことに関する一考察：台湾最高法院87年(1998)台上字第2632号判決」 | 国際商事法務 | 32(1) | 2004.1 |

第2章 民間航空分野における諸機関(Organizations in the field of civil aviation)

021. 国際機関, 総論(International organizations. General)

- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|------|-----------------|---------|--------|---------|
| 眞鍋藤治 | 「航空に関する国際協力(1)」 | 国際知識及評論 | 10(11) | 1930.11 |
| 眞鍋藤治 | 「航空に関する国際協力(2)」 | 国際知識及評論 | 10(12) | 1930.12 |

022. 国際連盟(The League of Nations)

該当なし

023. 国際航空委員会(Commission Internationale de la Navigation Aériens, CINA)

- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|------|--------------------------------|------------|-------|--------|
| 西川一男 | 「国際航空私法会議に就て, 附, 伯林民事裁判事務進捗振り」 | 法学新報 | 40(3) | 1930.3 |
| 三橋久美 | 「第3回国際航空私法会議(法理研究会)」 | 法学協会雑誌 | 52(3) | 1934.3 |
| 西川一男 | 「第2回国際航空私法会議に付て」 | 法曹時報 | 8(6) | 1956.6 |
| 関口雅夫 | 「国際航空法の沿革」 | 法学論集(駒澤大学) | 25 | 1982.3 |

一七三

024. 国際航空法専門家委員会(Comité International Technique d'Experts Juridiques Aériens, CITEJA)

- | 【著者】 | 【論題】 | 【掲載誌】 | 【巻号】 | 【年月】 |
|------|--------------------|-------|-------|--------|
| 斉藤直一 | 「国際航空私法専門委員会の倫敦会合」 | 法曹会雑誌 | 12(3) | 1934.3 |

檜崎敏雄	「国際航空私法専門委員会」	法学新報	44(6)	1934.6
松波仁一郎	「国際航空私法専門委員会」	海法会誌	19	1934.11
関口雅夫	「国際航空法の沿革」	法学論集(駒澤大学)	25	1982.3
関口雅夫	「ワルソー条約関連資料(第1部)－1929年にワルソーで開催された第2回国際航空私法会議に提出された国際航空法専門委員会(CITEJA)の条約予備草案及び二の関連文書(資料)－」	法学論集(駒澤大学)	37	1988.3

025. 国際航空法委員会(Comité Juridique International de la Aviation)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関口雅夫	「国際航空法の沿革」	法学論集(駒澤大学)	25	1982.3

026. 米州常設航空委員会(Comisión Americana Permanente de Aviación)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関口雅夫	「国際航空法の沿革」	法学論集(駒澤大学)	25	1982.3

027. 暫定国際民間航空機関(The Provisional International Civil Aviation Organization)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関口雅夫	「国際航空法の沿革」	法学論集(駒澤大学)	25	1982.3

028. 国際民間航空機関(The International Civil Aviation Organization, ICAO)

A. 総論(General)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
不詳	「国際民間航空機構と航空の安全」	運輸と経済	9(1)	1951.7
無署名	「ICAO」	商事法務	75	1957.9
外務省国際連合局経済社会課	「ICAOのハイヤー・チャーター及びインターチェンジ小委員会及び空中衝突小委員会(パリ、1960年)に関する矢澤教授報告」	外務省国際連合局経済社会課	-	1960.3

ブランカー, J. W. S.	「航空に関する国際的統合機 関－IATA と ICAO」	国際観光情報	150	1960.8
服部経治	「ICAO の機構とその業績－ 79ヶ国が加盟している統一的な 国際行政機関たる国際民間航空 機関とは」	時の法令	371	1960.12
外務省国際連 合局経済社会課	『ICAO の空中衝突小委員会 (パリ.1961年)に関する矢澤教 授報告』	外務省国際連 合局経済社会課	-	1961
石神義久	「日本と ICAO (国際民間航空 機関) との関係－国連専門機関 めぐり」	国連論叢	40(9)	1961.9
須藤信夫	「ICAO 式による事故調査報 告書について－トランスレータ ーの立場から」	航空法務研究	2	1969.11
航空公害防止 協会	『ICAO 開催の空港周辺にお ける航空機騒音特別会議』	航空公害調査 研究シリーズ	11	1970
三上民典	「ICAO の第 7 回航空会議」	国際電気通信 連合と日本	2(11)	1972.11
加藤書久	『国際航空－ICAO と国際航 空の現状』	教育社	-	1978.12
藤田勝利	「ICAO の法律分野における 活動とその最近 2 年の成果(1)」	法学雑誌(大 阪市立大学)	26(3・ 4)	1980.6
篠原梓	「国際民間航空機関の準立法 活動」	一橋論叢	84(4)	1980.10
菊井勉	「ICAO 通信部会会議報告」	国際電気通信 と日本	11(7)	1981.7
池田文雄	「民間航空機の安全確保と ICAO の役割」	ジュリスト	802	1983.11
中山一成・浅 見勝実	『(新版)ICAO 概論』	航空交通管制 協会	-	1975.11
航空交通管制 協会	『ICAO 概論(改訂版)』	航空交通管制 協会	-	1985.10
迎増兼	「ハイジャック機の着陸許可 及び離陸不許可の原則につい ての一考察－ICAO の国際標準を 中心にして」	外務省調査月 報	1989(2)	1989
河崎綾	「国際民間航空に関する国際 民間航空機関の規制の法的性格」	東京大学大学 院法学政治学研	1992	1993.3

		究科専修コース 研究年報	1992	1993.3
ロシヤ, フィ リップ	『講演』ICAO(国際民間航空 機関)50周年回顧と展望』	航政研シリー ズ	309	1994.5
柴田耕介	『最近の国際航空輸送をめぐる 変動：ICAO 世界航空運送会 議を中心に』	航政研シリー ズ	321	1995
山上徹	「国際民間航空機関と空の自由」 『現代交通サービス論』	地域産業研究 所	-	1996.3
吉岡序	「ICAO/CAEP の 動 向(航空 機騒音)」	航空環境研究	1	1997
柴田正夫	「ICAO/CAEP の 動 向(航空 機排出ガス)」	航空環境研究	2	1998
吉岡序	「ICAO/CAEP の 動 向(航空 機騒音)－第3回ワーキング グループ1会議概要」	航空環境研究	2	1998
関口雅夫	「国際民間航空機関(ICAO) に於けるワルソー・システムの 改革の動向」	空法	39	1998.5
末永昌久	「ICAO 航空環境保全委員会 (CAEP)第4回会議に出席して」	航空環境研究	3	1999
吉岡序	「ICAO/CAEP の 動 向(航空 機騒音)」	航空環境研究	3	1999
関口雅夫	「ワルソー条約関連資料(第5 部)－1998年にモンリオール で開催された国際民間航空機関 (ICAO)の『「ワルソー・シ ステム」の近代化と統合に関する 特別部会(SGMW)が承認した 「国際航空運送についてのある規 則の統一についての条約案』－」	駒澤大学法学 部研究紀要	57	1999.3
関口雅夫	「国際民間航空機関(ICAO) の特別部会(SGMW)主導の 「国際航空運送についてのある 規則の統一についての国際民間 航空機関(ICAO)条約案」の修 正について」	政治学論集 (駒澤大学)	49	1999.3

大田育子	「国際航空・国際航海－情報・通信・交通分野の国際機構」(横田洋三編著)『国際機構入門』	国際書院	-	1999.8
中谷和弘	「ICAO(国際民間航空機関)の組織と機能」(横田洋三編)『国際組織法』	有斐閣	-	1999.12
山村恒雄	「航空交通に関する国際機構－交通分野における国際機構」(横田洋三編著)『新版国際機構論』	国際書院	-	2001.3
末吉洋文	「国際民間航空機関(ICAO)－交通・通信・情報に関わる国際組織」(家正治編)『講義国際組織法』	不磨書房	-	2003.1

B. 総会(The Assembly)

該当なし

C. 理事会(The Council)

該当なし

D. 事務局(The Secretariat)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関口雅夫	「国際民間航空機関(ICAO)の事務局検討部会(SSG)主導の『国際航空運送についてのある規則の統一についての国際民間航空機関(ICAO)条約案』の修正について」	法学論集(駒澤大学)	58	1999.1

E. 航空運送委員会(The Air Transport Committee)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
竜崎考昌	「三分の一世紀ぶりの『新秩序』への試み－ICAO特別運送会議に参加して」	おおぞら	17	1977
鶴野泰孝	「ICAO特別航空運送会議について」	トランスポート	27(7)	1977.7
向山秀昭	「ICAOの第4回航空運送会議の概要(その1)－新しい国際航空秩序への模索－」	季刊Mobility	99	1995.4
向山秀昭	「第4回ICAO航空運送会議の記録－国際航空の新しい潮流」	運輸経済研究センター	-	1995.4

向山秀昭	「ICAOの第4回航空運送会議の概要(その2)－新しい国際航空秩序への模索－」	季刊Mobility	100	1995.7
向山秀昭	「ICAOの第4回航空運送会議の概要(その3)－新しい国際航空秩序への模索－」	季刊Mobility	101	1995.10
向山秀昭	『ICAO第4回航空運送会議の記録』	運輸政策研究機構国際問題研究所	-	1996.3

F. 航空委員会(The Air Navigation Commission)

該当なし

G. 法律委員会(The Legal Committee)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
外務省国際協力局第二課	『国際民間航空機関第11回法律委員会(東京)議事録』	外務省国際協力局第二課	-	1955.10
矢澤惇	「備機等の場合の国際航空運送人の責任－ICAO第11回法律委員会の東京条約案について」	空法	3	1958.4
菅原菊志	「ICAO第11回法律委員会詳報」	空法	4	1959.2
菅原菊志	「ICAO第12回法律委員会詳報」	空法	5	1960.4
矢澤惇	「空中衝突に関する統一法の形成－1961年ICAO法律委員会パリ小委員会報告」	ジュリスト	230	1961.7
菅原菊志	「ICAO第13回法律委員会詳報」	空法	6	1962.6
中野直樹	「第14回ICAO法律委員会詳報」	空法	8	1963.10
戸矢博道	「ICAO(国際民間航空機関)第20回法律委員会に出席して」	トランスポート	23(4)	1973.4
高田桂一	「国際複合物品運送条約案における航空運送上の問題点－第19回ICAO法律委員会における討議を中心として」	空法	16	1973.10
関口雅夫	「国際民間航空機関の法律委員会の素描」	政治学論集(駒澤大学)	20	1984.10
落合誠一	「新ワルソー条約について－ICAO法律委員会に出席して」	航空振興	31(2)	1997.7
坂本昭雄	「ワルソー条約改正草案について－ICAO法律委員会草案の概要と問題点」	関東学院法学	7(2)	1998.1

029. 地域の航空組織 (Regional organizations)

A. 欧州民間航空会議 (European Civil Aviation Conference, ECAC)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
池田文雄	「ヨーロッパの航空統合について」	法学新報	72(1・2・3)	1965.3
関口雅夫	「ヨーロッパ民間航空会議の素描(含基本規則)」	政治学論集 (駒澤大学)	24	1986.12
関口雅夫	「1987年にヨーロッパ民間航空会議(ECAC)が採択したヨーロッパ域内定期航空業務についての2の多国間合意－1987年パリ(ECAC－タリフ)協定および1987年パリ(ECAC－輸送力)協定－」	駒澤大学法学部研究紀要	49	1991.3

B. ラテンアメリカ民間航空委員会 (Latinamerican Civil Aviation Commission, CLAC)

該当なし

C. アフリカ民間航空委員会 (African Civil Aviation Commission, AFCAC)

該当なし

D. アラブ民間航空理事会 (Civil Aviation Council of Arab States, CACAS)

該当なし

030. 国際航空運送協会 (International Air Transport Association, IATA)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
ブランカー, J. W. S.	「航空に関する国際的統合機関－IATAとICAO」	国際観光情報	150	1960.8
高田桂一	「国際航空運送協会(IATA)の法的性格」	福岡大学法学 論叢	18(4)	1974.3
高田桂一	「国際航空運送協会(IATA)の法的性格」	空法	17	1974.10
航空法ゼミ	「IATAの曲折－国際航空運賃におけるアメリカ合衆国の役割」	海空法	10	1978
中西健一	「IATAについて－Haanappelの研究を中心に(1)」	経済学雑誌	81(3・4)	1980.11
中西健一	「IATAについて－Haanappelの研究を中心に(2)」	経済学雑誌	81(5)	1981.1

中西健一	「IATA について－Haanappel の研究を中心に(3)」	経済学雑誌	81(6)	1981.3
加藤皓	『(講演)世界の航空界の動向とIATAの役割』	航政研シリーズ	187	1983.12
関口雅夫	「国際航空運送協会(IATA)－特にその価格設定機構を中心として(1)－」	法学論集(駒澤大学)	36	1988.1
エーザー, G.	『(講演)世界における航空輸送とIATAの役割』	航政研シリーズ	235	1988.5
日本航空貨物 本部企画部	『IATA運賃の適用』	日本航空株式会社	-	1992.2
関口雅夫	「国際航空運送協会(IATA)－特にその価格設定機構を中心として(2)－」	法学論集(駒澤大学)	45	1992.3
関口雅夫	「国際航空運送人の旅客責任制度の改革－特に国際航空運送協会(IATA)主導の改革を中心として」	法学論集(駒澤大学)	54	1997.1
関口雅夫	「国際航空運送協会(IATA)主導の国際航空運送人の旅客責任制度の改革に対するアメリカの反応－特にアメリカ合衆国運輸省が実施した Show Cause Proceedings(異議開示手続き)を中心として－」	法学論集(駒澤大学)	55	1997.3
関口雅夫	「ワルソー条約関連資料(第2部)－国際航空運送協会(IATA)主導の国際航空運送人の旅客責任制度の改革に関連する八つの資料－」	駒澤大学法学部研究紀要	55	1997.3
関口雅夫	「ワルソー条約関連資料(第4部)－国際航空運送協会(IATA)主導の国際航空運送人の旅客責任制度の改革に関連する二つの資料－」	政治学論集(駒澤大学)	47	1998.3
無署名	「航空貨物について1キログラム当たり20米国ドルに航空運送人の責任を制限するIATA(国際航空運送協会)制定の航空運送約款の効力」	海事法研究会誌	155	2000.4

田中博 「国際航空運送協会(IATA) Currents 88 2000.8
について」

031. 国際定期航空操縦士協会連合会(International Federation of Airline Pilots Association, IFALPA)

該当なし

032. 国際商工会議所(International Chamber of Commerce, ICC)

該当なし

033. その他の国際機関(Other international organizations)

該当なし

034. 国際空港理事会(The Airports Council international)

該当なし

035. 国際航空保険者連合(International Union of Aviation Insurers, IUAI)

該当なし

036. 国際航空管制官協会連合会(International Federation of Air Traffic Controllers' Associations, IFATCA)

該当なし

第3章 国内および国際航空行政(The administration of national and international aviation)

041. 空域主権(Sovereignty in the air)

A. 総論(General)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
無署名	「空中飛行と法律問題」	刑事誌評林	2(6)	1900.6
牧野英一	「国際法と空間」	国際法雑誌	2(10)	1904.7
ウエストレー キ [松溪山人]	「領土主権を論ず」	日本法制新誌	9(2)	1905.2
松島肇	「領空論」	国際法雑誌	7(1)	1908.9

立作太郎	「空域の国際法上の地位」	法学協会雑誌	30(7)	1912.7
兒島多賀太	「領空権」	国際法雑誌	11(3)	1912.12
無署名	「空中と主権」	法学協会雑誌	31(4)	1913.4
無署名	「独逸飛行機仏国着陸」	外交時報	17(11)	1913.6
ガズビー, ジョ ン	「空域の主権(大正3年3月17日, 日本に於ける講演の訳)」	法学協会雑誌	32(5)	1914.5
田村鉄輔	「領空主権を論ず」	法学協会雑誌	32(8・9)	1914.9
中村進午	「空中(領域主権の及ぶ範囲)－領地主権の獲得」『国際公法論』	清水書店	-	1916.5
立作太郎	「空中の領域」	法学新報	17(8)	1917.8
小山精一郎	「国際法上の空中問題」	国際法外交雑誌	16(9)	1918.6
泉哲	「上空に及ぼす領土権」	国際法外交雑誌	20(1)	1921.1
檜崎敏雄	「領空論の研究」	法学新報	36(3)	1926.3
松原一雄	「公海, 領空及び領土」	国家試験	6(7)	1934.3
島田庄七郎	「空域の法的地位に関する研究(1)」	法曹公論	39(6)	1935.6
島田庄七郎	「空域の法的地位に関する研究(2)」	法曹公論	39(7)	1935.7
松原一雄	「領空－公海, 領海, 領空」『国際法概論』	巖松堂書店	-	1941.9
松原一雄	「領空－客体論」『国際法要義』	有斐閣	-	1941.12
アイメス [田 岡良一]	「空域主権と其の制限」	法学論叢	46(1)	1942.1
前原光雄	「空間と国際法」	国際法外交雑誌	41(10)	1942.10
田岡良一	「領域の限界, 国際航空－統治の空間的限界」『(改訂増補)国際法大綱上巻』	巖松堂書店	-	1946.6
奥末広	「領空問題(1)」	(明治大学)法律論叢	26(6)	1953.4
奥末広	「領空問題(2)」	(明治大学)法律論叢	27(1・2)	1953.7

山名寿三	「空中主権問題の推進」	日本法学	20(2)	1954.7
田岡良一	「空域の領有権」	空法	2	1956.10
前原光雄	「領空について」	綜合法学	2(4)	1959.4
田村幸策	「領空－領土」『国際法中巻(再版)』	有斐閣	-	1959.1
山名寿三	「空域及び航空に関する民法的考察」	日本法学	26(3)	1960.10
前原光雄	「領空の限界」	法学研究(慶応義塾大学)	33(2)	1960.2
森健臣	「空域－国家の領域」『国際法要義』	アヅミ書房	-	1960.3
遠藤源六	「領空－国家の領域」『改訂国際法提要』	清水書店	-	1961.5
城戸正彦	「Cijus est solum の原則と空域主権(1)」	愛媛大学紀要(社会科学)	3(4)	1961.12
ソ連科学アカデミー法律研究所[安井郁・岩淵節雄・長尾賢三]	「空域－国際法上の領域」『国際法上巻』	日本評論社	-	1962.8
城戸正彦	「Cijus est solum の原則と空域主権(2)」	愛媛大学紀要(社会科学)	4(1)	1962.12
城戸正彦	「空域主権の成立－1910年から19xx年までの国家の実行」『現代国際法の諸問題(前原光雄教授還暦記念)』	慶応通信	-	1963
田畑茂二郎	「領空(国家領域)－管轄の場所的範囲」『国際法講義上(全訂版)』	有信堂	-	1963.5
城戸正彦	「Cijus est solum の原則と空域主権(3・完)」	愛媛大学紀要(社会科学)	4(2)	1963.12
桜井光堂	「領土・領海・領空－平時の国際固定秩序」『国際法』	有信堂	-	1968.5
田畑茂二郎	「上空の国際化(領域における国家の管轄権)－管轄の場所的範囲」『国際法講義上(新訂版)』	有信堂	-	1968.5
横田喜三郎	「空間の法的地位－領域と公海」『新訂国際法』	青林書院新社	-	1968.11

高野雄一	「領空及び宇宙空間－領域と公海」『新版国際法概論(上)』	弘文堂	-	1969.11
栗林忠男	「領空の上限－その画定の意義と必要性をめぐって」	法学研究(慶応義塾大学)	43(3)	1970.3
城戸正彦	「領海上空と接続空域の法的地位(1)」	愛媛法学	4	1972.3
城戸正彦	「領海上空と接続空域の法的地位(2・完)」	愛媛法学	5	1973.3
経塚作太郎	「公海、公空および宇宙空間」『現代国際法要論』	中央大学出版部	-	1973.3
田岡良一	「領域の広がり(国家領域)－統治の空間的範囲」『(全訂版)国際法』	勁草書房	-	1973.5
城戸正彦	「空域の法的地位に関する学説(その1)」	愛媛法学	7	1974.12
城戸正彦	「空域の法的地位に関する学説(その2・完)」	愛媛法学	8	1975.12
中山一成	「空と国際法」『国際法の基本問題(小谷鶴次先生還暦記念論文集)』	有信堂	-	1976.2
前原光雄	「(講演)領空制度の成立と発展」	中京法学	12(1)	1977.6
足立純夫	「国際法上の領空侵犯措置」	法と秩序	6(6)	1977
城戸正彦	「空域の法的地位の現状と展望」	国際問題	204	1977.3
大原久和	「航空交通における空域問題」	地理学評論	50(5)	1977.5
桜井光堂	「領土・領海・領空－平時の国際固定秩序」『改訂国際法』	有信堂	-	1979.4
城戸正彦	「空域」(大平善梧・皆川流編著)『国際法講義』	北樹出版	-	1980.1
田畑茂二郎	「上空の国際化(領域における国家の管轄権)－管轄の場所的範囲」『国際法講義上(新訂版第3版)』	有信堂	-	1980.5
アクハースト, M. [落合淳隆・長谷川正国]	「領空－領空および宇宙空間」『現代国際法入門』	敬文堂	-	1980.12

城戸正彦	『空域主権の研究』	風間書房	-	1981.1
杉山茂雄	「領空－領域と海洋制度」『国際法要論上巻』	開発社	-	1981.4
城戸正彦	「空域」（経塚作太郎・杉山茂雄・宮崎茂樹編）『新版国際法講義』	青林書院新社	-	1981.6
城戸正彦	「領空－国家領域」『国際法』	嵯峨野書院	-	1982.4
栗林忠男	「領空－国際法と空間」（皆川洸・内田久司編）『講義国際法』	青林書院新社	-	1982.10
波多野里望・小川芳彦	「空」『国際法講義』	有斐閣	-	1982.12
広部和也	「領空－空」（波多野里望・小川芳彦編）『国際法講義』	有斐閣	-	1982.12
山本草二	「領域・空間の管轄と利用」『岩波講座基本法学3－財産』	岩波書店	-	1983.9
城戸正彦	「空間の法的地位」	法学教室	36	1983.9
経塚作太郎	「公海，公空および宇宙空間」『現代国際法要論（新版）』	中央大学出版部	-	1984.1
宮崎繁樹	「領空－空域」『国際法綱要』	成文堂	-	1984.3
山本草二	「その他の空間の管轄・利用の国際制度」『国際法』	有斐閣	-	1985.5
城戸正彦	「空間の法的地位」（寺沢一・内田久司編）『国際法の基本問題（別冊法学教室 基本問題シリーズ1）』	有斐閣	-	1986.2
田岡良一・小川芳彦	「領域の広がり（国家領域）－統治の空間的範囲」『国際法（新版）』	勁草書房	-	1986.4
小田滋	「空の国際法－地的管轄権」（小田滋・石本泰雄・寺沢一編）『新版現代国際法』	有斐閣	-	1986.6
田中則夫	「空の国際法」（松井芳郎・佐分晴夫・松田竹男・岡田泉・田中則夫・葉師寺公夫著）『国際法』	有斐閣	-	1988.4
城戸正彦	「領空－国家領域」『国際法（改訂版）』	嵯峨野書院	-	1989.4

松隈清	「陸・海・空域と個人」『国際法概論』	酒井書店	-	1990.4
田中則夫	「地球上の空間の管轄と利用」『現代国際法入門』	法律文化社	-	1990.5
栗林忠男	「国際法における『境界』の空間的構造」(広部和也・田中忠編)『国際法と国内法－国際法益の展開(山本草二先生還暦記念)』	勁草書房	-	1991.10
畝村繁	「国家の領域」『はじめての国際法』	法律文化社	-	1992.3
島田征夫	「領空と宇宙－国家領域」『国際法』	弘文堂	-	1992.7
稲原泰平	「航空法」『国際法講義案Ⅰ』	信山社	-	1992.9
藤田久一	「領空－国家領域」『国際法講義Ⅰ(国家・国家社会)』	東京大学出版会	-	1992.12
田中則夫	「空の国際法」(松井芳郎・佐分晴夫・松田竹男・岡田泉・田中則夫・薬師寺公夫著)『国際法(新版)』	有斐閣	-	1993.3
寺澤一・山本草二・広部和也	「領域の利用」『標準国際法(新版)』	青林書院新社	-	1993.3
白杵知史	「領空－国家領域」(杉原高嶺・水上千之・白杵知史・吉井淳・加藤信行・高田映)『現代国際法講義』	有斐閣	-	1993.5
吉井淳	「領空－国家領域」(杉原高嶺・水上千之・白木知史・吉井淳・加藤信行・高田映編)『現代国際法講義』	有斐閣	-	1993.6
広部和也	「領空－空」(波多野里望・小川芳彦編)『国際法講義(新版)』	有斐閣	-	1993.10
波多野里望・小川芳彦	「空」『国際法講義(新版)』	有斐閣	-	1993.10
島田征夫	「領空と宇宙－国家領域」『国際法(補正版)』	弘文堂	-	1993.12
山本草二	「空域－その他の空間の管轄・利用の国際制度」『国際法(新版)』	有斐閣	-	1994.1

小川直樹	「領空の法的地位－領空なら びに宇宙空間の法的地位」(瀬 川博義・家正治・小川直樹・松 本達也・東泰介・萩原重夫著) 『現代国際法』	嵯峨野書院	-	1994.9
高野幹久	「空と宇宙と国際法」『現代国 際関係法の諸問題』	信山社	-	1994.10
島田征夫	「領空と宇宙－国家領域」『国 際法(補正第2版)』	弘文堂	-	1994.11
筒井若水	「空域」『新・資料国際法基礎 講義』	有斐閣	-	1995.4
白杵知史	「領空－国家領域」(杉原高 嶺・水上千之・白杵知史・吉井 淳・加藤信行・高田映)『現代 国際法講義(第2版)』	有斐閣	-	1995.5
植木俊哉	「領空と宇宙空間」『基本論点 国際法』	法学書院	-	1995.5
齊藤功高	「領空－空域の区分」(伊津野 重満・齊藤功高著)『国際社会 と法の適用』	北樹出版	-	1996.3
島田征夫	「領空と宇宙－国家領域」『国 際法(補正第3版)』	弘文堂	-	1996.3
田中則夫	「空の国際法」(松井芳郎・佐 分晴夫・松田竹男・岡田泉・田 中則夫・薬師寺公夫著)『国際 法(第3版)』	有斐閣	-	1997.5
島田征夫	「領空と宇宙－国家領域」『国 際法(新版)』	弘文堂	-	1997.6
坂元茂樹	「領空の法的地位」『ゼミナ ール国際法』	法学書院	-	1997.12
小川直樹	「領空の法的地位－領空なら びに宇宙空間の法的地位」(瀬 川博義編著)『テキスト国際法』	嵯峨野書院	-	1998.4
植木俊哉	「領空と宇宙空間」『基本論点 国際法(改訂版)』	法学書院	-	1998.4
芹田健太郎	「領空と宇宙空間－国家領域お よび国際地域」(金東勲・芹田 健太郎・藤田久一著)『(再改訂 版)ホーンブック国際法』	北樹出版	-	1998.5

波多野里望・ 小川芳彦	「空」『国際法講義(新版増補)』	有斐閣	-	1998.5
広部和也	「領空－空」(波多野里望・小川芳彦編)『国際法講義(新版増補)』	有斐閣	-	1998.5
竹本正幸	「領空侵犯－空」(香西茂・竹本正幸・坂本茂樹編)『プラクティス国際法』	有信堂	-	1998.8
田畑茂二郎	「国際領域－上空の国際化」『国際法新講(上)』	東信堂	-	1999.4
山村恒雄	「領空」(松田幹夫編)『演習ノート国際公法(改訂第2版)』	法学書院	-	1999.4
横川新	「領空, 国際航空－空の国際法」(横川新・佐藤文夫編著)『改訂版国際法講義』	北樹出版	-	1999.6
栗林忠男	「空の国際法」『現代国際法』	慶応義塾大学出版	-	1999.11
エイクハースト, M.・マランチュク, P. [長谷川正国]	「空域－空域および宇宙空間」『現代国際法入門』	成文堂	-	1999.12
長田祐卓	「領空制度と航空協定」(国際法学会編)『日本と国際法の100年第2巻 陸・空・宇宙』	三省堂	-	2001.11
田中則夫	「空の国際法」(松井芳郎・佐分晴夫・松田竹男・岡田泉・田中則夫・薬師寺公夫・坂本茂樹・小畑郁著)『国際法(第4版)』	有斐閣	-	2002.4
島田征夫	「領空と宇宙－国家領域」『国際法(第3版)』	弘文堂	-	2002.4
松井芳郎・佐分晴夫・坂元茂樹・小畑郁・松田竹男・田中則夫・岡田泉・薬師寺公夫	「空の国際法」『国際法(第4版)』	有斐閣	-	2002.4
白杵知史	「領空－国家領域」(杉原高嶺・水上千之・白杵知史・吉井淳・加藤信行・高田映)『現代国際法講義(第3版)』	有斐閣	-	2003.1

B. 領空侵犯, 空からのスパイ活動 (Violation of territorial air. Espionage from the air)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
中村道午	「軽気球に乗りて敵の作戦地帯内を視ぶ者の性質」	法学新報	13(4)	1903.4
草野豹一郎	「要塞地帯撮影罪と犯意の要否(批判)」	法学新報	47(8)	1937.8
美濃部達吉	「要塞地帯なることを知らずして為したる撮影(批判)」	国家学会雑誌	51(10)	1937.10
池田文雄	「領空侵犯と国際法」	法律のひろば	12(4)	1959.4
落合淳隆	「最近おこった領空侵犯についての一考察」	空法	6	1962.6
波多野里望	「航空機撃墜事件(管轄権)」(高野雄一編)『判例研究国際司法裁判所』	東京大学出版会	-	1965.3
安田寛	「領空侵犯をめぐる法律問題」	防衛法研究	1	1977.5
西島良知	「領空侵犯と軍事対応－国際法上規約ないが『武力行使』が前提」	読売新聞朝刊	-	1983.9
城戸正彦	「大韓航空機事件と国際法上の問題点」	ジュリスト	802	1983.11
宮崎弘毅	「領空侵犯と国境警備(大韓機撃墜事件)」	国防	32(11)	1983.11
栗林忠男	「大韓航空機撃墜事件－領空侵犯を中心として」	法学教室	39	1983.12
不詳	「大韓航空機撃墜事件について」	日本の防衛	1984	1984
堀内照通	「KAL007便はなぜ航路を外れたか－大韓航空機撃墜事件をめぐって」	愛知学院大学論叢一般教育研究	31(3・4)	1984.6
城戸正彦	「国際商業機の領空侵犯にたいする武力の使用」	愛媛法学会雑誌	12(1)	1985.7
豊平功	「わが国周辺の航空脅威－スクランブルにみるソ連機の活動」	国防	34(7)	1985.7
城戸正彦	「偵察航空機の領空侵犯への対応措置(その1)」	愛媛法学会雑誌	13(1)	1986.8

城戸正彦	「偵察航空機の領空侵犯への対応措置(その2・完)」	愛媛法学会雑誌	13(2)	1987.3
金子利喜雄	「大韓機『事件』と国際法」	札幌大学外国語学部紀要 文化と言語	21(1)	1988.3
行政法制研究会	「領空侵犯－重要法令関係用語の解説」	判例時報	1347	1990.7
武貞秀士	「大韓航空機撃墜事件と国際的波紋」	国際年報	23(1983-1984年)	1990.9
城戸正彦	『領空侵犯の国際法』	風間書房	-	1990.11
城戸正彦	「大韓航空機事件(1983年)とその後の措置(その1)」	松山大学論集	8(3)	1996.8
城戸正彦	「大韓航空機事件(1983年)とその後の措置(その2・完)」	松山大学論集	8(4)	1996.10
宮田淳	「侵犯される日本の空」	月刊治安フォーラム	9(1)	2003.1

C. 平時における外国機の入国(Entrance of foreign aircraft in peace-time)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
佐藤友蔵	「他国領土内に着陸したる航空機の国際法上の地位(ルネビレー事件に関するコーラー教授の意見)」	法学新報	不詳	1913

042. 大気圏上の主権(Sovereignty in the air above)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
彭明敏	「超高度飛行と国家の領空権について－国際航空法上の新しい課題」	国際法外交雑誌	54(6)	1955.12
山崎晴一	「超高度航空と下底国の主権」	東洋法学	1	1957.11
一又正雄	「高空主権について」	時の法令	246	1957.4
Cooper, J. C. [池田文雄]	「利用可能な空間の法的地位」	空法	4	1960.2
Cooper, J. C.	“Legal Status of Usable Space”	空法	4	1960.2

043. 特別区域(Special zones)

A. 禁止区域(Prohibited areas)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
栗林忠男	「第3次国連海洋法会議における国際海峡の上空飛行問題」	空法	18・19	1976.10

B. 防空識別圏(Air Defense Identification Zone, ADIZ)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
城戸正彦	「Cijus est solum の原則と空域主権(1)」	愛媛大学紀要 (社会科学)	3(4)	1961.12
城戸正彦	「Cijus est solum の原則と空域主権(2)」	愛媛大学紀要 (社会科学)	4(1)	1962.12
城戸正彦	「Cijus est solum の原則と空域主権(3・完)」	愛媛大学紀要 (社会科学)	4(2)	1963.12
無署名	「自衛隊の防空識別圏についての資料」	防衛庁訓令	36	1968.8
城戸正彦	「領海上空と接続空域の法的地位(1)」	愛媛法学	4	1972.3
城戸正彦	「領海上空と接続空域の法的地位(2・完)」	愛媛法学	5	1973.3
水上千之	「排他的経済水域における航行, 上空飛行, 海底電線・海底パイプライン敷設の自由および軍事活動(1)」	広島法学	23(1)	1999.6
水上千之	「排他的経済水域における航行, 上空飛行, 海底電線・海底パイプライン敷設の自由及び軍事活動(2・完)」	広島法学	23(2)	1999.10
栗林忠男	「接続空域の法的地位－『防空確認区域』の有効性をめぐって」	国際法外交雑誌	67(6)	1969.3

C. 航空情報圏(Fright Indormation Region, FIR)

該当なし

一五五

044. 航空行政, 所轄官庁(Administration. Competent authorities)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
謝花寛濟	「航空法と空路設置の急務を論ず」	法学新報	185	1921
寺島成信	「航空の拡張と航空省の独立」	外交時報	739	1935.9

山名寿三	「航空行政法規に就て」	日本法学	7(7)	1941.7	
山名寿三	「航空行政法規に就て(承前)」	日本法学	7(8)	1941.8	
和田博	「米国航空政策委員会の概要」	航空	1(1)	1950	
法制意見第三部	「行政協定の実施に伴う航空法の特例」	時の法令解説	69	1952.8	
浜田幸晴	「新航空法の誕生(シカゴ国際民間航空条約に即して、航空法・7月15日公布・法律第231号)」	時の法令	69	1952.8	
千頭清之	「航空機製造事業を許可制に－航空機製造法の一部を改正する法律(昭和29年6月3日公布・法律第161号)」	時の法令	138	1954.7	
法制局第二部	「航空技術審議会を設置－航空技術審議会設置法(昭和29年7月1日公布・法律第202号)」	時の法令	140	1954.7	
畑中俊作	「政策不在の航空行政－混乱招く場当たり主義」	エコノミスト	43(20)	1965.5	
島袋鉄男	「琉球列島内航空事業規制法の問題点－連邦航空法と琉球との関係を中心として」	琉大法学	7	1966.5	
井原敏之	「航空行政に望みたいこと」	航空法務研究	1	1969.3	
榎本則夫	「航空行政関連許認可事務の簡素化－許認可等整理法による航空法の改正」	時の法令	771	1971.12	
航空法調査研究会	「航空行政監察実施に対する意見書」	航空法務研究	9	1972.11	
白石陽一	「大阪航空局」	トランスポート	25(7)	1975.7	
本保芳明	「航空審議会」	時の法令	908	1975.10	
小倉照雄	「諸外国における運輸行政手続の比較研究－西ドイツ編」	トランスポート	28(9)	1978.9	
木村実	「航空行政と差止め請求」	判例タイムズ	458	1982.3	一 五 四
下山瑛二	「航空行政と差止め請求」	法学セミナー	325	1982.3	
運輸省航空局	『航空審議会答申集』	運輸省航空局	-	1982.11	
山路顕	「米国主導型の航空政策のなかで」	NBL	282	1983.6	

堀裕	「レーカー航空会社事件とその和解案の概要(米政府の企業規制の動き)」	国際商事法務	13(11)	1985.11
南ゆり	「航空法(昭和27年法律第131号)－制定前夜」	時の法令	1297	1987.1
阿部雅昭	『(講演)航空行政の現状と課題』	航政研シリーズ	221	1987.2
山田隆英・早川章	『(講演)今後の航空行政の方向』	航政研シリーズ	223	1987.4
佐伯彰洋	「航空行政調査と修正4条－Dow Chemical Co. v. United States, 106 S. Ct. 1819 (1986).」	判例タイムズ	38(23)	1987.10
林淳司	『(講演)今後の航空行政の展開』	航政研シリーズ	233	1988.2
越智信夫	「英国の民間航空行政機関(CAA)安全規制について(1)」	航空技術	407	1989.2
越智信夫	「英国の民間航空行政機関(CAA)安全規制について(2)」	航空技術	408	1989.3
越智信夫	「英国の民間航空行政機関(CAA)安全規制について(3)」	航空技術	409	1989.4
丹羽晟	「航空行政当面の課題について」	航政研シリーズ	257	1990.2
不詳	「21世紀を展望した航空行政」	トランスポート	40(14)	1990.11
航空技術編集部	「運輸省航空局の概要」	航空技術	439	1991.1
宮本春樹	『21世紀を展望した航空行政』	航政研シリーズ	270	1991.2
宮本春樹	『続・21世紀を展望した航空行政』	航政研シリーズ	272	1991.4
尾松伸正	『(講演)民間航空40周年と航空行政』	航政研シリーズ	289	1992.1
一五三 松尾道彦	『(講演)これからの航空行政の展望』	航政研シリーズ	282	1992.2
荒井正吾	「航空運送事業に係る経済規制と安全規制について」	空法	33	1992.5
多田望	「アメリカの開示手続とハーグ証拠収集条約－アエロスパシ	阪大法学	42(1)	1992.8

アール判決とその後の展開を中心に」

中村資朗・小林修	「FAA と CAB」	航空技術	463	1993.1
運輸省航空局 監理部総務課航空企画調査室・ 運輸省航空局管制保安部保安企画課	「航空審議会答申」	トランスポート	44(8)	1994.8
安部憲治	「カナダ航空当局の概要」	航空技術	474	1994.9
台木一成	「フランス航空局の概要」	航空技術	476	1994.11
海谷厚志	「航空法の一部を改正する法律(平成6年6月29日法律第76号)」	法令解説資料 総覧	162	1995.7
黒野匡彦	「1996年航空行政の展望と課題」	航政研シリーズ	329	1996.2
楠木行雄	『1997年航空行政の展望』	航政研シリーズ	340	1997.2
関口雅夫	「旅客責任制度の改革に対するアメリカの反応－特にアメリカ合衆国運輸省が実施した Show Cause Proceedings (異議開示手続き)を中心として」	法学論集(駒澤大学)	55	1997.3
磯部巖	「大正期における航空局の創設・移管問題」	防衛学研究	18	1997.11
安富正文	『1998年航空行政の展望と課題』	航政研シリーズ	351	1998.2
石崎祥之	「規制緩和と航空行政」	日本の科学者	33(8)	1998.8
岩村敬	『1999年航空行政の展望と課題』	航政研シリーズ	362	1999.2
新田浩司	「航空行政法序説(1)」	地域政策研究 (高崎経済大学)	2(3)	2000.1
滝川敏明	「空港発着枠の配分と略奪的価格規制(上)」	公正取引	605	2001.3
滝川敏明	「空港発着枠の配分と略奪的価格規制(下)」	公正取引	606	2001.4

045. 航空事業免許(Licensing of aviation companies)

該当なし

046. 空の自由(Freedoms of the air)

A. 自由(The freedoms)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
伊沢孝平	「航空の自由と土地所有権」	綜合法学	23	1959.6
伊沢孝平	「航空の自由と土地所有権」	関西大学法学 論集	10(1)	1960.6
池田文雄	「商業航空権の諸問題」	国際問題	141	1971.12
城戸正彦	「パリ条約(1919年)における 空の自由」	愛媛法学会雑 誌	2(2)	1976.3
城戸正彦	「不定期国際航空における空 の自由」	愛媛法学会雑 誌	3(1)	1976.9
城戸正彦	「シカゴ条約における空の自由」	愛媛法学	9	1976.12
津崎武司	『国際航空と空の自由：国家 の壁は越えられるか』	日本経済新聞 社	-	1977.1
城戸正彦	「定期国際航空における空の 自由」	愛媛法学会雑 誌	4(1)	1977.6
長田祐卓	「新海洋法秩序における空の 自由の意義」	空法	26	1985.5

B. 多国間条約(Multilateral conventions)

長田祐卓	「国際航空法における地域主 義の動向(1)」	法学研究(慶 応義塾大学)	77(8)	2004.8
長田祐卓	「国際航空法における地域主 義の動向(2)」	法学研究(慶 応義塾大学)	77(9)	2004.9

C. 陸封国への飛行の自由(Right to fly to landlocked countries)

該当なし

047. 定期航空運送と不定期航空運送(Scheduled v. Non-scheduled air transport)

A. 定期運送(Scheduled transport)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
柳田誠二郎	「定期航空の現状と将来」	運輸	4(9)	1954.9
高田桂一	「(外国判例研究)イギリス航 空判例－イギリス1949年航空会 社法における『定期航空』の意 味(Director of Public Prosecu- tions v. Milbanke Tours Ltd., [1960] 1 W. L. R. 630.)」	空法	6	1962.6

安西正道	「国内定期航空界の現状と将来」	運輸と経済	24(8)	1964.8
岡田専治	「定期航空運送事業のあり方」	時の法令	561	1966.2
関口雅夫	「1987年にヨーロッパ民間航空会議(ECAC)が採択したヨーロッパ域内定期航空業務についての2の多国間合意－1987年パリ(ECAC－タリフ)協定および1987年パリ(ECAC－輸送力)協定－」	駒澤大学法学部研究紀要	49	1991.3

B. 不定期運送(Non-scheduled transport)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
坂本昭雄	「不定期国際航空業務について」	海空法	6	1965
城戸正彦	「不定期国際航空における空の自由」	愛媛法学会雑誌	3(1)	1976.9
関口雅夫	「ヨーロッパにおける不定期航空業務の商業上の権利に関する多数国間協定(1956年パリ協定)」	政治学論集(駒澤大学)	19	1984.3
関口雅夫	「不定期国際航空業務(1)」	法学論集(駒澤大学)	29	1984.3
関口雅夫	「不定期国際航空業務(2)」	法学論集(駒澤大学)	30	1985.1
関口雅夫	「不定期国際航空業務(3)」	法学論集(駒澤大学)	31	1985.3
関口雅夫	「東南アジア諸国連合間における不定期航空業務の商業上の権利に関する多数国間協定(1971年マニラ協定)」	駒澤大学法学部研究紀要	43	1985.3
関口雅夫	「不定期国際航空業務(4・完)」	法学論集(駒澤大学)	32	1986.1

C. 1956年パリ協定(The Paris agreement, 1956)

該当なし

048. 運輸権(Traffic rights)

A. 総論(General)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
柏田忠一	「支那の新利権航空路に就て」	国際知識	10(2)	1930.2
松尾静磨	「国際航空路拡張問題について」	経団連月報	12(1)	1964.11

中野直樹	「航空協定の締結と実施についての問題点」	時の法令	522	1965.1
飯田茂	「航空協定－沖繩協定その批判的検討」	法律時報	43(13)	1971.10
池田文雄	「商業航空権の諸問題」	国際問題	141	1971.12
小川芳彦	「国際航空」(田畑茂二郎・石本泰雄編)『国際法(増補版)』	有信堂	-	1980.4
五十嵐寿一	「米国におけるコンコルド乗り入れにとられた運航規制」	運輸と経済	42(3)	1982.3
小川芳彦	「国際航空」(田畑茂二郎・石本泰雄編)『国際法(第3版)』	有信堂	-	1983.7
関口雅夫	「第二次大戦後の国際民間航空についての経済規制の枠組－特に多国間規制を中心として」	政治学論集 (駒澤大学)	23	1986.3
長谷川正国	「対抗措置の適用可能性をめぐる若干の問題－米仏航空業務協定事件仲裁判決を手懸りとして－」『現代企業法の諸相(中村真澄・金澤理教授還暦記念論文集第1巻)』	成文堂	-	1990.2
小林秀之	「国際航空紛争－国際取引紛争の実際」『国際取引紛争(補正版)』	弘文堂	-	1992.2
鈴木良男	「主張の真実 航空協定をめぐる攻防－航空路線配分に入札制を導入せよ」	論争東洋経済	1	1996.5
Nakatani, Kazuhiro	“Sanctions Related to International Air Transport and International Law”	The Korean Journal of Air and Space Law	8	1996.8
Kim, Doo Hwan	“The International Aviation Law: Regulation of Air Traffic”	The Law of International Relations (Chugakuin University)	-	1997
一四九 塩見英治	「国際航空システムの変容と多国間主義」	日本経済政策 学会年報	46	1998
長田祐卓	「領空制度と航空協定」(国際法学会編)『日本と国際法の100年 第2巻 陸・空・宇宙』	三省堂	-	2001.11

柴田伊冊	「国際航空における多国間協定－アジア・太平洋地域における動向に関する一考察」	千葉大学社会文化科学研究	6	2002
中谷和弘	「国際航空輸送の経済的側面に関する国際裁判」	国際法外交雑誌	103(2)	2004.8
B. 二国間協定(Bilaterals)				
	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】 【年月】
中村耕一郎	「航空業務に関する日本国政府とヴィエトナム社会主義共和国政府との間の協定」	法令解説資料 総覧	163	1905.8
蛭川新	「巴里通信: 飛行器問題(航空に関する独仏協約覚書の交換)」	国際法外交雑誌	12(1)	1913.9
無署名	「日本タイ国間航空協定」	国際法外交雑誌	39(1)	1940.1
無署名	「日葡航空協定」	国際法外交雑誌	40(10)	1941.12
浜島正金	「国際航空への第一歩－米国と平等の立場で航空業務を運営」	時の法令	85	1953.1
法制局第二部	「欧州諸国と航空協定を締結」	時の法令	99	1953.6
一又正雄・池田文雄・木村稔・谷田正躬・浜島正金・村上治雄	「(シンポジウム)ニカ国間商業航空協定をめぐる諸問題」	空法	4	1959.2
中野直樹	「締結される日独航空協定－日航の欧州乗入れのための最初の協定」	時の法令	381	1961.1
中野直樹	「二国間航空運送協定の諸問題」	外務省調査月報	2(5)	1961.5
中野直樹	「日・イ『空の5つの自由』を許与」	時の法令	423	1962.5
中野直樹	「二国間航空運送協定の発達過程と問題点(1)」	空法	7	1962.10
中野直樹	「日航の南回り欧州線開設に伴う航空協定」	時の法令	444	1962.12
中野直樹	「二国間航空運送協定の発達過程と問題点(2・完)」	空法	8	1963.10
池田文雄	「日本の航空協定」	国際年報	5	1964.11

松尾静磨	「日米・日ソ航空協定の妥協に当りて」	経団連月報	14(2)	1965.8
松尾静磨	「不平等な日米航空協定」	エコノミスト	43(35)	1965.8
無署名	「日ソ航空協定とその周辺」	世界	242	1966.1
無署名	「日ソ航空協定及び日ソ貿易支払協定」	国際問題	71	1966.2
太田正利	「日・マレーシア航空協定の批准」	時の法令	561	1966.2
松尾静磨	「わが国、国際航空の問題点－日米・日ソ航空妥協のあとにくるもの」	経団連月報	14(7)	1966.7
沼田順	「日本と大韓民国との間の航空協定」	時の法令	624	1967.11
沼田順	「日本国とシンガポールとの間の航空協定」	時の法令	624	1967.11
朝田静夫・九門英夫	「日米航空交渉の問題点－太平洋案件(パシフィック・ケースとは)」	朝日ジャーナル	11(24)	1969.6
手塚良成	「(講演)日米・日ソ航空交渉とわが国の航空界の今後の方向」	東商	272	1970.2
沼田順	「日比航空業務協定について」	時の法令	721	1970.8
寺井久美	『(講演)日中航空協定交渉について』	航政研シリーズ	68	1974.6
錦織葆	「日中航空協定について」	海空法	9	1975
山地進	『(講演)航空協定雑感：国際航空交渉当事者からのレポート』	航政研シリーズ	95	1976.1
川嶋辰彦他	『(座談会)日米航空協定の現状と問題点』	航政研シリーズ	103	1976.8
中本光夫	「日米航空交渉について」	トランスポート	27(1)	1977.1
碓井彊	「新秩序めざす日米航空交渉」	エコノミスト	55(12)	1977.3
太田勝洪	「日中航空協定の調印」	国際年報	16(1974年)	1978.3
朝田静夫	「日米航空交渉の中断と諸問題」	経団連月報	26(6)	1978.6

航空運送協定に関する調査研究委員会	『航空運送の国際協定に関する調査報告書－二国間航空協定の研究』	航空運送協定に関する調査研究委員会	-	1980.3	
横田淳	「航空業務に関する日本国とスペインとの間の協定」	法令解説資料総覧	17	1980.10	
横田淳	「航空業務に関する日本国とニュー・ジーランドとの間の協定」	法令解説資料総覧	17	1980.10	
横田淳	「航空業務に関する日本国とバングラディシュ人民共和国との間の協定」	法令解説資料総覧	17	1980.10	
横田淳	「航空業務に関する日本国とフィジーとの間の協定」	法令解説資料総覧	17	1980.10	
岩山耕二	「不平等是正をめざす日米航空協定の改定交渉」	世界週報	61(49)	1980.11	
斎藤元一	「日米航空協定・最後の不平等条約」	諸君	13(5)	1981.5	
横田淳	「航空業務に関する日本国とフィンランド共和国との間の協定」	法令解説資料総覧	25	1981.12	
長田祐卓	「二国間定期国際航空における輸送力条項論－その規制の根拠をめぐって」	海上保安大学校研究報告	27(2)	1982.4	
岩山耕二	「権益拡大めぐり波乱含み－暫定取り決め後の日米航空関係」	世界週報	63(26)	1982.7	
大金瑞穂	「日米航空交渉」	トランスポート	32(7)	1982.7	
中条潮	「日米航空協定と航空政策の今後」	季刊現代経済	53	1983.4	
目賀田周一朗	「航空業務に関する日本国政府とスリ・ランカ民主社会主義共和国政府との間の協定」	法令解説資料総覧	43	1984.12	
塩田澄夫	『(講演)日米航空関係の現状』	航政研シリーズ	211	1986.4	
関口雅夫	「二国間航空運送協定に関する若干の模範条項(第3部)－1979年米タイ航空協定並びに、1979年米バプアニューギニア航空協定の価格確定条項及び1982年米バルバドス航空協定の価格確定条項－」	法学論集(駒澤大学)	35	1987.3	一四六

香島明雄	「中ソ合弁航空会社に関する協定」	産大法学	21(3)	1987.10
森井清	「航空協定－二国間条約と国際統一規則」『貿易と国際法－国際法の法典化時代を迎えて』	同文館	-	1991.4
山地進	『(講演)新たな日米航空関係を求めて』	航政研シリーズ	294	1993.1
坂本昭雄	「航空ナショナリズムと二国間協定」	外交フォーラム	6(2)	1993.2
中村耕一郎	「航空業務に関する日本国とネパール王国との間の協定」	法令解説資料総覧	158	1995.3
中村耕一郎	「日本国と中華人民共和国との間の航空運送協定を改正する議定書」	法令解説資料総覧	158	1995.3
ドガニス, R. [木谷直俊]	「OECD: 国際航空輸送, これからの課題(4)航空における二国間の枠組み－現状と今後の課題」	運輸と経済	55(4)	1995.4
福井直祥	「国際航空輸送の枠組み－航空自由化の流れと二国間航空協定体制－」	空法	36	1995.5
ドガニス, R. [木谷直俊]	「OECD: 国際航空輸送, これからの課題(5)航空における二国間の枠組み－現状と今後の課題(前)」	運輸と経済	55(6)	1995.6
ドガニス, R. [木谷直俊]	「OECD: 国際航空輸送, これからの課題(6)航空における二国間の枠組み－現状と今後の課題(後)」	運輸と経済	55(7)	1995.7
中村耕一郎	「航空業務に関する日本国とジョルダン・ハシェミット王国との間の協定」	法令解説資料総覧	162	1995.7
中村耕一郎	「航空業務に関する日本国と南アフリカ共和国との間の協定」	法令解説資料総覧	162	1995.7
中村耕一郎	「航空業務に関する日本国政府とモンゴル国政府との間の協定」	法令解説資料総覧	162	1995.7
中村耕一郎	「航空業務に関する日本国とブルネイ・ダルサラーム国との間の協定」	法令解説資料総覧	163	1995.8

中村耕一郎	「航空業務に関する日本国政府とハンガリー共和国政府との間の協定」	法令解説資料 総覧	167	1995.2	
太田正樹	「日米航空協定をめぐる動向」	システム科学 研究所紀要	27	1996.3	
無署名	「航空協定破棄におびえる米国」	週刊東洋経済	5344	1996.4	
E. [山内弘隆]	「OECD: 国際航空輸送, これからの課題(7)－第4章国際航空における多国間アプローチの可能性と限界(前編)」	運輸と経済	56(5)	1996.5	
石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望(上)」	貿易と関税	44(5)	1996.5	
E. [山内弘隆]	「OECD: 国際航空輸送, これからの課題(8・完)－国際航空における多国間アプローチの可能性と限界(後編)」	運輸と経済	56(6)	1996.6	
羽生次郎	『日米航空交渉の推移と展望について』	航政研シリーズ	333	1996.6	
石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望(中－1)」	貿易と関税	44(6)	1996.9	
石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望(中－2)」	貿易と関税	44(7)	1996.9	
石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望(中－3)」	貿易と関税	44(8)	1996.9	
石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望(中－4)」	貿易と関税	44(9)	1996.9	
石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望(下)」	貿易と関税	44(10)	1996.10	
[湧口清隆]	「日米間の航空関係－今後の行方」	ていくおふ	76	1996.11	
石黒一憲	「日米航空摩擦の展開過程と日本側の交渉スタンス」	ていくおふ	76	1996.11	
渡邊信裕	「航空業務に関する日本国政府とポーランド共和国政府との間の協定(平成8年3月4日条約第2号)」	法令解説資料 総覧	180	1997.1	
寺岡茂	「改めて日米航空交渉の問題点を考える」	SPACE	27(3)	1997.3	

石黒一憲	「日米航空摩擦の構造と展望」	航政研シリーズ	349	1997.9
羽生次郎	『日米航空交渉の意義と課題』	新東京国際空港公団広報室	-	1998
無署名	「日本の空が変わるのか？日米航空交渉」	LA International	35(4)	1998
無署名	「難航する日米航空交渉」	経済の進路	430	1998.1
中村稔	「国内各社の期待と不安，日米航空交渉決着」	週刊東洋経済	5472	1998.2
坂本昭雄・パ ッカード，G. R.	「(対談)日米航空関係の将来を考える」	ていくおふ	81	1998.2
無署名	「日米航空交渉合意－大競争時代へ入る太平洋の空」	SPACE	28(3)	1998.3
羽生次郎	「日米航空交渉(1997～1998年)－条約破棄せず，不平等是正に成功した航空当局間交渉」	貿易と関税	46(6)	1998.6
遠藤申明	「国際提携と二国間航空協定」	ていくおふ	84	1998.11
C. バミューダ協定型(The Bermuda type)				
	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】 【年月】
航空私法研究会	『バミューダ協定(仮訳)』	航空振興財団	-	不詳
小幡雅男	「バミューダ体制の角逐－日米航空交渉の中断と国際航空事情」	立法と調査	92	1979.6
ラルセン [野 上鉄夫]	「『米・英航空運送双務協定の再交渉に関する状況報告』」	愛媛法学	12	1979.12
関口雅夫	「二国間航空運送協定に関する若干の模範条項(第1部)－暫定航空路線についての協定に関する標準形式(1944年シカゴ標準形式)，第一バミューダ協定及び二国間協定についての標準条項(1959年ストラスブルク標準条項)－」	法学論集(駒澤大学)	33	1986.3
関口雅夫	「二国間航空運送協定に関する若干の模範条項(第2部)－第二バミューダ協定－」	政治学論集(駒澤大学)	25	1987.3

関口雅夫	「第二次大戦後の国際民間航空についての経済規制の枠組(1)－特に2国間規制を中心として」	駒澤大学法学部研究紀要	45	1987.3
関口雅夫	「第二次大戦後の国際民間航空についての経済規制の枠組(2)－特に2国間規制を中心として」	駒澤大学法学部研究紀要	46	1988.3
関口雅夫	「第二次大戦後の国際民間航空についての経済規制の枠組(3・完)－特に2国間規制を中心として」	駒澤大学法学部研究紀要	47	1989.3
Sekiguchi, Masao	“The Need to Revise the Bermuda Capacity Formula/The Need to Update the Chicago Convention”	Proceedings of the 2nd International Conference on Air Transport and Space Application in a New World	-	1993.6
関口雅夫	「アメリカのノースウエスト航空のいわゆる『過大な以遠権の行使』は日米航空協定に違反するか－第一バーミュダ協定型二国間協定における自国発着運輸(Extra-national traffic)の位置付けに関する一考察」	法学論集(駒澤大学)	51	1995.3

D. 機体(機種)の変更(Change of gauge)

該当なし

E. コード・シェア(Code-sharing)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
ブルックナ一, J.K.	「コードシェアリングと独占法適用除外が国際旅客にもたらす便益－スターアライアンスにおける研究」	ていくおふ	92	2000.11

F. オープン・スカイ(Open sky)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
榊原胖夫	「オープン・スカイとグランドファーザー・クローズ－民間航空市場と航空政策」	交通学研究	1978	1978

坂本昭雄	「米国のモデル・オープンスカイ協定について」	関東学院法学	7(1)	1997.9
Nakatani, Kazuhiro	“Capacity Clawses, The Open Skies Policy of the United States and the Japan-United States Aviation Dispute Over Capacity”	The Korean Journal of Air and Space Law	10	1998.8
松本俊哉	「1990年代のアメリカ国際航空輸送政策の再編成－航空連合の形成とオープンスカイ政策の展開」	経済論集(京都大学)	18	2000.9
藤井弥太郎	「国際航空のオープン化」	海事産業研究所報	412	2000.10
向山秀昭	『オープンスカイの軌跡－クリントン政権の航空政策』	運輸政策研究機構	-	1998.9

049. エアー・カボタージュ (Air Cabotage)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
仲町保	「エアー・カボタージュ」	空法	1	1955.10
岩淵正風	「航空におけるカボタージュ禁止問題－自由化は国家の壁を越えられるか」	交通学研究年報	43	2000.7

050. 航空政策, 規制緩和, 航空自由化 (Aviation policy. Deregulation. Liberalization)

A. 航空政策 (Aviation policy)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
寺島成信	「海運・航空両国策の具体化を論ず」	外交時報	763	1936.9
檜崎敏雄	『航空政策論』	千倉書房	-	1940.3
中正夫	『民間航空政策』	育成社弘道閣	-	1943
吉川貫二	「アメリカ航空交通政策における問題点－補助金と競争」	同志社商学	7(1)	1955.4
一四一 荒木茂久二	「日本における航空の現状と将来」	汎交通	55(3)	1955.7
西沢清一	『民間航空政策』	中央大学協組 出版局	-	1958.4
松尾静磨	「国際航空事業と航空政策」	経団連月報	11(1)	1963.1

運輸省	「米国の航空と航空政策」	レファレンス	155	1963.12	
総合政策研究会	『日本の航空政策』	ダイヤモンド社	-	1964	
菅野義丸	「国内航空の将来」	運輸と経済	24(8)	1964.8	
運輸省	『航空の長期展望(昭和42年7月29日運輸省省議決定・昭和42年8月1日閣議報告)』	航空振興財団	-	1967	
岡田清	「航空政策の将来」	高速道路と自動車	11(12)	1968	
吉川貫二	「アメリカ民間航空における補助金軽減政策(赤字路線の放棄と地方空港の統合)(1)」	同志社商学	19(5)	1968.1	
吉川貫二	「アメリカ民間航空における補助金軽減政策(赤字路線の放棄と地方空港の統合)(2)」	同志社商学	19(6)	1968.3	
日本航空資料管理所	『航空政策史稿－戦前』	日本航空資料管理所	-	1968	
航空政策研究会	『長期航空政策の展望と課題(中間報告)』	航政研シリーズ	17	1968.8	
吉川貫二	「アメリカ国際航空における経済的規制」	同志社商学	20(3・4)	1969.2	
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空政策の問題点－規制政策の決定要因としての航空サービスの必要性(1)」	同志社商学	21(4)	1970.2	
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空政策の問題点－規制政策の決定要因としての航空サービスの必要性(2)」	同志社商学	21(5・6)	1970.3	
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空政策の問題点－規制政策の決定要因としての航空サービスの必要性(3)」	同志社商学	22(1)	1970.7	
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空政策の新展開」	交通学研究	1970	1970.10	一四〇
無署名	「航空政策の基本方針について(運輸政策審議会の答申10.22)」	トランスポート	20(12)	1970.12	

内村信行	『(講演)これからの航空政策のあり方：航空再編成と空港整備新五ヵ年計画を中心に』	航政研シリーズ	37	1971.3
運輸政策審議会	「航空政策の基本方針について(昭和45年10月21日答申)」	運輸と経済	31(5)	1971.5
増井健一	「航空政策の特質とそれへの提言」	経済評論	20(13)	1971.11
町田直	『(講演)航空の問題点と今後の航空政策』	航政研シリーズ	47	1972.4
吉川貫二	『アメリカにおけるローカル航空政策の展開と展望』	航政研シリーズ	72	1974.8
三ツ矢憲生	「米国の新国際航空政策」	トランスポート	26(11)	1976.11
航空私法研究会	『最近の英国民間航空政策：1971年民間航空法と政府関係資料』	航空振興財団	-	1977
高橋寿夫	『日本の航空政策について(正)』	航政研シリーズ	109	1977.2
高橋寿夫	『日本の航空政策について(続)』	航政研シリーズ	111	1977.4
前田隆平	「米国の新国際航空政策」	トランスポート	28(12)	1978.12
山本雄二郎	「カーターの航空政策とその波紋」	運輸と経済	39(10)	1979.10
平岡謹之助	「国際航空輸送の発展と国際航空政策の課題」	大阪学院大学商経論叢	6(3)	1980.10
増井健一	「国際航空における規制緩和政策－アメリカ国際航空政策史ノート」	三田商学研究	25(6)	1983.2
長谷川峻明	『(講演)わが国の運輸政策と航空政策』	航空政策研究会	-	1983.10
塩見英治	「米国航空政策の新展開と輸送構造変化」	交通学研究	1983	1984
西村泰彦	「日本の航空政策における新しい展開」	運輸と経済	44(1)	1984.1
井出憲文	「米国国内航空の規制緩和政策について」	ジュリスト	828	1985.1

西村康雄	『(講演)今後の航空政策の課題』	航政研シリーズ	198	1985.2
塩見英治	「アメリカにおける民間航空政策の初期展開と航空産業の動向」	経済学論纂 (中央大学)	26(5・6)	1985.11
山下徳夫・西村康雄	『(講演)わが国の交通と航空政策を考える』	航政研シリーズ	207	1985.12
谷川久	『(講演)わが国における長期航空政策の視点』	航政研シリーズ	215	1986.7
航空の安全及び経済に関する研究会	『新航空政策をめぐる各社の対応と安全問題』	航空保安協会	-	1987.3
高橋秀雄	『公共交通政策の転換』	日本評論社	-	1987.5
太田信一郎	『航空機産業の現状・課題と政策について』	航政研シリーズ	258	1990.3
塩見英治	「航空輸送と航空政策」『交通産業論』	白桃書房	-	1990.9
運輸経済研究センター	『ヨーロッパの交通政策の現状と今後の方向性に関する調査報告書』	運輸経済研究センター	-	1991
荒井正吾	『新しい国際航空政策について』	航政研シリーズ	275	1991.7
運輸省航空局	『今後の国際航空政策のあり方について』	航空振興財団	-	1991.7
藤井弥太郎・中条潮	『現代交通政策』	東京大学出版会	-	1992.3
松尾道彦	『(講演)新たな状況に対応した航空行政の展開』	航政研シリーズ	295	1993.2
川口満	『21世紀の航空政策論』	成山堂書店	-	1993.5
岡田清他	「(座談会)米国航空政策の検証」	運輸と経済	53(11)	1993.11
関口雅夫	「新航空政策の提言」	航空運航システム研究会雑誌	10	1994.1
桜井俊樹	「1991-94年の米国航空業界及び政策の混乱」	運輸経済研究センター	-	1994.9
塩見英治	「航空輸送と航空政策」『交通産業論(改訂版)』	白桃書房	-	1994.9

山内弘隆	「航空政策」（橋本昌史編著） 『ECの運輸政策』	白桃書房	-	1994.6
ミハルス キ一、アン デュリ ュー、ス ティー ブン [木 谷直 俊]	「国際航空輸送、これからの 課題(1)国際航空の新しい政策 的アプローチ＝議論の主要な課 題と要約」	運輸と経済	55(1)	1995.1
関口雅夫	「日本国のあるべき新国際政 策」『金斗煥教授華甲紀念論文 集』	法学社	-	1995.4
佐藤昭寿	「わが国の航空・空港政策の 課題とシカゴ体制の見直し」	上武大学商学 部紀要	7(1)	1995.8
射手矢好雄	「中国における自動車、航空、 広告、建設等の産業政策(中国 最新法律事情)」	国際商事法務	24(1)	1996.1
川口満	『(新訂)21世紀の航空政策論』	成山堂書店	-	1996.6
戸崎肇	「地域振興政策における国際 化と航空」	海運経済研究	31	1997
運輸省航空局 監理部国際航空 課	「アジアにおける国際航空分 野での協力・協調」	トランスポー ト	47(2)	1997.2
Sekiguchi, Masao	“Some Consideration on the New Aviation Policy in Japan”	Proceedings of the Interna- tional Confer- ence on Air and Space Policy, Law and Industry for the 21st Century in Korea	-	1997.6
山内弘隆	『EUの航空政策と我国への 示唆』	航政研シリー ズ	344	1997.6
Sekiguchi, Masao	“Transforming Aviation Policy: A Japanese Perspec- tive”	政治学論集 (駒澤大学)	46	1997.9
Shibata, Isaku	“Evolution of Air Policy in Japan”	The Korean Journal of Air and Space Law	11	1999.2

高橋望	「沖縄振興策としての航空政策」	港湾経済研究	37	1999.3
安富正文	「(講演録)当面の航空行政の課題と展望について」	新空港レビュー	248	1999.6
長田祐卓	「国際航空運送の法と政策(1)」	駿河台法学	13(2)	2000.3
高橋望	「カナダの航空政策」	関西大学商学論集	46(1・2)	2001.6
山口裕視	『WTO サービス貿易自由化交渉の行方－航空輸送サービスを中心に』	航空政策研究会	-	2000.6
高橋望・藤井彌太郎・諸橋泰・太田恒武	「(座談会)新航空政策と航空市場の変容」	運輸と経済	61(7)	2001.7
航空政策研究会	『日韓航空政策の現状と課題－国際交流特別企画「日韓航空セミナー」』	航空政策研究会	-	2001.9
深谷憲一	『21世紀航空行政の展望と課題』	航空政策研究会	-	2002.2
坂本昭雄	「わが国の航空政策・空港政策」(空港競争編集委員会編)『空港競争』	海事プレス社	-	2003.5
B. 規制緩和, 航空自由化(Deregulation. Liberalization)				
【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
池田文雄	「ヨーロッパの航空統合について」	法学新報	72(1・2・3)	1965.3
上林健	「米国における独立規制委員会の軌跡」	トランスポート	30(6)	1980.6
堂前幸子	「日米航空交渉と米国『空の自由化』政策」	レファレンス	31(3)	1981.3
楠田彬之	「米国における運輸規制緩和立法」	運輸と経済	41(7)	1981.7
南部鶴彦	「米国における規制緩和とその影響－運輸および国内航空業を中心として」	学習院大学経済論集	19(1)	1982.8
和久三郎	「デレギュレーションとある落日－米CABのサンセット法案をめぐって」	World Air Cargo	16(186)	1982.9

増井健一	「国際航空における規制緩和 政策－アメリカ国際航空政策史 ノート」	三田商学研究	25(6)	1983.2	
南部鶴彦	「米国の運輸産業における規 制緩和」	運輸と経済	43(8)	1983.8	
佐藤治正・山 内弘隆・中条潮	「米国の航空市場規制をめぐ る議論」	交通学研究	1983	1984	
塩見英治	「米国航空における経済的規 制に関する一考察－1938年の民 間航空法(Civil Aeronautics Act)を中心として」	経済学論纂 (中央大学)	25(1・ 2)	1984.3	
野尻俊明	「米国運輸産業におけるディ レギュレーションとその動向」	運輸と経済	44(5)	1984.5	
実方謙二	「カナダにおける航空規制緩 和の動向(上)」	公正取引	403	1984.5	
実方謙二	「カナダにおける航空規制緩 和の動向(下)」	公正取引	404	1984.6	
藤森正敏	「航空の規制緩和に実験を一 米国の経験から日本を考える」	運輸と経済	44(10)	1984.10	
松永謙吾	「離陸体制に入った航空自由 化－国際定期路線も複数社の運 航へ」	エコノミスト	62(51)	1984.12	
宮城真宏	「米国の航空会社規制緩和法 の下における第3レベル航空会 社の育成と規制の強化」	琉球大学教育 学部紀要 第一 部	28	1985	
松永謙吾	「はずみがつく航空自由化－ 日米航空交渉が意味するもの」	エコノミスト	63(22)	1985.5	
榊原胖夫	「民間航空の規制緩和は時代 の流れ－日航は速やかに完全民 営化を」	エコノミスト	63(51)	1985.11	
岡本棟守	「疑問だらけの航空事故調 査－規制緩和でつづける安全性へ の不安」	エコノミスト	63(55)	1985.12	
一 三 五	高橋望	「航空産業における規制理論 の妥当性と規制緩和の条件(1) 米国国内航空産業の事例」	経済経営論叢 (京都産業大学)	20(3)	1986.1
不詳	『規制緩和と企業戦力－アメ リカ航空会社の事例を中心とし て』	明治大学国際 交流基金事業招 聘外国人研究者 講演録	9	1986.3	

高橋望	「航空産業における規制理論の妥当性と規制緩和の条件(2) 米国国内航空産業の事例」	経済経営論叢 (京都産業大学)	20(4)	1986.3
西岡久雄・宮城真宏	「米国の航空規制緩和下における航空サービスの大都市へのシフト」	青山経済論集	37(4)	1986.3
滝川敏明	「米国の運輸業における参入・料金規制解除の効果－航空,トラック,タクシー(下)」	公正取引	425	1986.3
塩見英治	「規制緩和下の米地域航空－大手支配の強化とサービスの低下」	エコノミスト	64(15)	1986.4
中村貢	「航空の規制緩和－問題の性格と構造」	運輸と経済	46(5)	1986.5
高橋望	「航空産業における規制理論の妥当性と規制緩和の条件(3) 米国国内航空産業の事例」	経済経営論叢 (京都産業大学)	21(1)	1986.6
中条潮	「国際航空に真の競争政策の導入を期待する－英国の航空政策が示唆するもの」	トランスポート	36(8)	1986.8
榊原胖夫	「航空業の自由化」	公正取引	431	1986.9
無署名	「航空業界の現状と展望－規制緩和の進む中で」	たくぎん調査	411	1986.9
柴田匡平	「航空規制緩和下のパンナムービジネス・ウィーク誌より」	信州大学経済学論集	25	1986.12
高橋望	「航空産業における規制理論の妥当性と規制緩和の条件(4・完) 米国国内航空産業の事例」	経済経営論叢 (京都産業大学)	21(3)	1986.12
高橋望	『航空産業における規制理論の妥当性と規制緩和の条件－米国国内航空産業の事例』	日本交通政策研究会	D-64	1987.1
山本雄二郎	「地殻変動すむ航空輸送」	運輸と経済	47(1)	1987.1
坂本昭雄	「規制緩和とヨーロッパ航空事情」	おおぞら	54	1987.3
高橋望	「米国航空業の規制緩和環境への適応行動」	運輸と経済	47(6)	1987.6
藤目節夫	「アメリカにおける航空規制緩和と結節地域構造の変化」	人文地理	39(5)	1987.10

水野敏明・清水敏聖	「航空規制緩和の潮流—外国エアラインの競争力強化と日本の航空産業の課題」	日本長期信用銀行調査月報	244	1987.11
柴田匡平	「航空規制緩和下の経営課題—テキサス・エアの拡大過程」	信州大学経済学論集	26	1988.9
今松英悦	「自由化本番で競争激化する航空業界—空港整備の進展が引き金に」	エコノミスト	66(9)	1988.2
西井干夫	「EEC 条約と航空の自由化」	空法	29	1988.5
高橋正博	「規制と規制緩和—理論と実際(米国国内航空業のデレギュレーション)」	日本開発銀行調査	122	1988.6
野本了三	「航空規制緩和の経済的効果—Counterfactual Approach」	広島大学経済論叢	12(1)	1988.6
公正取引委員会事務総局官房	「規制緩和と航空競争—OECD 競争政策委員会の報告書」	公正取引	453	1988.7
国領英雄・中村智	「米国航空規制緩和政策の日欧航空業界への影響」	神戸商船大学紀要第1類文科論集	37	1988.7
野上鉄夫	「航空自由化の問題点—経済的反論をめぐり」	愛媛法学会雑誌	15(2)	1988.10
吉岡秀輝	「米国航空貨物業界における規制緩和について—アンドリュース・S・カーロンの分析を中心として」	日本貿易学会年報	26	1989.1
高橋望	「米国の航空規制緩和から学ぶもの」	Currents	1(4)	1989.1
秋山義継	「航空事業における規制緩和」	経営経理研究	42	1989.3
高橋望	「規制緩和以降の米国空運研究にみられる新潮流—経営問題の発生と空運経営論の構築を旨指して」	交通学研究	1988	1989.3
実方謙二	「航空技術航空規制緩和の現状と課題」	公正取引	462	1989.4
坂本昭雄	「米国における航空規制緩和の経験」	一橋論叢	101(5)	1989.5

河野真治	「アメリカ航空運輸業における規制緩和と競争」	山口経済学雑誌	38(3・4)	1989.7
石井豊	『競争体制下の航空輸送のあり方：新たな局面での発展の方途を探る』	航政研シリーズ	251	1989.8
無署名	「着実に進む欧州『空』の自由化」	三菱銀行調査	413	1989.9
伊藤隆敏	「航空の規制緩和の根拠と必要性—アメリカでの経験は日本へ適用可能か」	運輸と経済	49(12)	1989.12
川村芳郎	「アメリカの航空自由化の10年」	レファレンス	39(12)	1989.12
野本了三	「米国の航空規制緩和—予測と現実」	広島大学経済論叢	13(2)	1989.12
榊原胖夫	「規制緩和の政治経済学—アメリカの航空輸送のばあい」	日本経済政策学会年報	38	1990
松岡憲司	「規制緩和と航空運輸」	経営経済(大阪経済大学)	26	1990.3
石田信博	「わが国の航空規制緩和」	大阪商業大学論集	86	1990.1
高橋望	「国内航空運賃規制緩和の実態—英米の例」	ていくおふ	49	1990.1
上野喬	「規制廃止初期のアメリカ合衆国民間航空会社経営の実態—2つの破産例を中心に」	経営論集(東洋大学)	34	1990.3
井上裕行	「経済学で考える『交通問題』(2)—航空運賃の自由化と新規参入の促進を」	運輸と経済	50(5)	1990.5
土井勝二	「最近の国際航空交渉について」	空法	31	1990.5
高橋望	「米国航空産業における規制緩和後の労使関係」	交通学研究	1990	1991.3
高橋望	「規制緩和後のハブ・システムの展開と空港制約の処理」	交通学研究	1997	1991.5
杉浦一機	「欧米と日本の航空自由化」	立法と調査	164	1991.6
山本雄二郎	「地殻変動下の航空輸送」	運輸と経済	51(7)	1991.7
山内弘隆	「国際航空輸送の自由化と多国間主義」	一橋論叢	106(5)	1991.11
実方謙二	「航空規制緩和と競争」	運輸と経済	51(12)	1991.12

横山善太	「ECの航空自由化について (特集 EC 統合の行方-EC 統 合への対応)」	経済人	46(10)	1992.1
島田英樹	「国際航空運賃と競争政策- 政府規制と競争政策に関する 研究会報告書の概要」	NBL	497	1992.5
石田信博	「規制緩和と航空運賃」	大阪商業大学 論集	93	1992.6
岡田清	『(講演)航空産業の規制緩和 とハブ・アンド・スポーク・シ ステム-アメリカの経験から』	航政研シリー ズ	286	1992.6
藤山一穂	「米国航空業界の規制緩和と 大手航空会社の盛衰」	運輸と経済	52(12)	1992.12
小木曾康彦	「民間航空の規制緩和とその 後の動向」	中京商学論叢	39(2)	1993.3
村上英樹	「米国航空輸送業の規制緩和 に関する学説史的研究- Bailey, Graham and Ke- plan(1985)の意義について」	経営学・会計 学・商学研究年 報(神戸大学)	39	1993
塩見英治	「国際航空の戦略的提携と自 由化」	経済学論纂 (中央大学)	34(3・ 4)	1993.1
高橋望	「航空規制緩和と安全性」	関西大学商学 論集	38(3・ 4)	1993.1
辻和夫	「交通規制緩和政策と米国航 空産業」	西南学院大学 商学論集	39(3・ 4)	1993.3
藤野公孝・丸 尾眞・山内弘 隆・鍛冶壮一	「(座談会)国際航空再編成の 時代」	外交フォーラ ム	1993(3)	1993.3
山本哲三	「米国の航空規制緩和の教訓」	運輸と経済	53(4)	1993.4
星正彦	「揺れる自由化への波-望ま れる航空規制緩和と総合交通計 画」	立法と調査	176	1993.6
中村徹	「航空料金とEEC競争法- Nouvelle Frontiereの事例と Ahmed Saeedの事例に基づい て」	大阪産業大学 論集 社会科学 編	93	1993.9
吉岡秀輝	「規制緩和後のアメリカ航空 業界の再構築とGATTサービ ス交渉」	北見大学論集	30	1993.9

キャスパー, D. M. [吉岡秀 輝]	『国際航空自由化論：サービ ス貿易とグローバル化』	文真堂	-	1993.10
笠原伸一郎	「グローバリゼーションと国 際的企業間協力(12)－航空産業 における国際分業戦略－規制緩 和と国際的再編」	世界経済評論	37(12)	1993.12
高橋望	「国内航空市場の推移と動向」	都市問題研究	45(12)	1993.12
榊原胖夫	「内外における航空規制と今 後の展望」	消費者情報	252	1994
山内弘隆	「規制緩和と航空輸送市場の 変化」	立法と調査	184	1994.1
衣笠達夫	「航空輸送業国内主要3社の 費用構造と規制緩和」	大阪産業大学 論集 社会科学 編	94	1994.3
坂本昭雄	「日米航空交渉の本当の課 題－日本の民間航空は生き残れ るか」	東洋経済	5208	1994.4
山内弘隆	「航空政策」(橋本昌史編著) 『ECの運輸政策』	白桃書房	-	1994.6
無署名	「欧米における航空規制緩和 の影響について－激化・拡大す る競争と進む業界再編」	三菱銀行調査	469	1994.6
規制緩和・民 営化研究会	「運輸分野」『欧米の規制緩和 と民営化－動向と成果』	大蔵省印刷局	-	1994.7
戸崎肇	「航空規制の緩和をどう考え るか」	経済セミナー	474	1994.7
無署名	「ヨーロッパにおける航空の 自由化」	国際商事法務	22(7)	1994.7
井上裕行	「航空の規制緩和」(加藤雅編 著)『規制緩和の経済学』	東洋経済新報 社	-	1994.8
山内弘隆	「経済的規制の緩和と市場構 造の変化－アメリカの航空産業 の事例」	Business Review	42(1)	1994.8
高橋望	「現実策としての航空規制緩 和」	公益事業研究	46(1)	1994.9
中村徹	「EUにおける航空市場の自 由化過程についての一考察」	大阪産業大学 論集 社会科学 編	97	1994.9

金本良嗣・山内弘隆	「航空輸送」『講座・公的規制と産業- (4) 交通』	NTT 出版	-	1995
奥田章順	「航空自由化と民間航空の安全性についての一考察」	航空運航システム研究会誌	11	1995.1
小出修三	「国際航空輸送における自由化政策-欧米を中心として Liberalization of International Air Transportation」	明大商学論叢	77(2)	1995.1
柴田伊冊	「欧米における航空の自由化-空港」	航空運航システム研究会雑誌	11	1995.1
高橋望・榊原胖夫・中条潮・藤井弥太郎・山内弘隆	「(座談会)規制緩和政策と米国航空市場」	運輸と経済	55(5)	1995.5
福井直祥	「国際航空輸送の枠組み-航空自由化の流れと二国間航空協定体制-」	空法	36	1995.5
青木亮	「スウェーデンの交通公益事業改革-タクシー事業、郵便事業、国内航空事業における規制緩和政策(後)」	運輸と経済	55(9)	1995.9
戸崎肇	「欧州における航空自由化と航空政策の自律性」	経済論叢(京都大学)	156(2・3)	1995.9
無署名	「要約表(規制及び規制緩和の性質についての日米英国際比較)(Summary Table in Japanese: International Comparison of Privatization and Deregulation among the USA, the UK and Japan-Vol. 3, Airline)」	経済分析	143	1995.12
戸崎肇	『航空の規制緩和』	勁草書房	-	1995.12
中条潮	「規制緩和は必要かつ必然」	都市問題研究	47(12)	1995.12
塩見英治	「米国における航空規制政策の展開と競争への影響」	経済学論纂(中央大学)	36(5・6)	1996.1
関口雅夫	「ヨーロッパにおける航空運送の自由化および調和化に関連する資料(1)-加盟国間における旅客、郵便物および貨物の運送についての定期域内航空業務の許可に関する1983年7月25日	法学論集(駒澤大学)	52	1996.1

	の理事会指令 (83/416/EEC)」				
高橋望	『わが国航空運賃の規制緩和策』	関西大学経済政治研究所研究双書	98	1996.3	
松並潤	「民営化・規制緩和の日英比較—航空業を例として」	法学研究(大阪学院大学)	22(1・2)	1996.3	
中谷和弘	「日米航空紛争と国際法」	空法	37	1996.5	
村上英樹	「規制緩和後の米国国内航空運賃」	ていくおふ	74	1996.5	
デンプシー, ゲーツ [吉田邦郎・福井直祥・井出口哲生]	『規制緩和の神話: 米国航空輸送産業の経験』	日本評論社	-	1996.6	
航空保安協会	『航空政策, 規制緩和, 旅客の要望等に関する諸問題』	航空保安協会	-	1996.12	
高橋望	「国内航空運賃の規制緩和とその評価」	運輸と経済	56(12)	1996.12	
Button, Kenneth	「ヨーロッパの航空自由化(上)コアが空である問題は存在するか?」	高速道路と自動車	40(10)	1997.10	
Button, Kenneth	「ヨーロッパの航空自由化(下)コアが空である問題は存在するか?」	高速道路と自動車	40(11)	1997.11	
宮田豊昭	「規制緩和とビジネス航空」	通勤・通学・通商研究	40	1997	
山内弘隆	『(講演会)航空の規制緩和について』	日本交通政策研究会	-	1997	
白石浩介	「国際旅客航空における米国系企業の参入」	日本経済研究	35	1997.1	
衣笠達夫	「日本の航空事業の規制緩和」	流通科学大学論集 流通・経営編	9(2)	1997.3	
公正取引委員会事務総局経済取引局経済調査課	「国内定期航空旅客運送事業における政府規制の見直しについて—政府規制等と競争政策に関する研究会」	公正取引	559	1997.5	二二八
川口満	「航空政策規制緩和についての2つの論点—地域の視点と安全性について」	地域開発	393	1997.6	

中条潮	「航空政策における規制緩和」	地域開発	393	1997.6
高橋望	「規制緩和下の航空企業のマーケティング戦略」	TRI-VIEW	11(7)	1997.7
萩原晟	「航空規制緩和と航空旅客市場の動向」	機械振興	30(7)	1997.7
モリソン, ウィンストン [郭賢泰]	『規制緩和の経済効果: アメリカ航空・陸上運輸産業の経験』	日本評論社	-	1997.9
戸崎肇	「航空自由化の中での英国航空の積極的事業展開」	運輸と経済	57(10)	1997.10
運輸省航空局	『国内航空運送事業の規制緩和関係資料』	航空政策研究会	-	1998
高橋望	「米国における小都市航空サービスに対する規制緩和の影響」	関西大学商学論集	42(6)	1998.2
日本旅客船協会	「ドキュメント・アメリカの『航空規制緩和』」	旅客船	205	1998
林資茂	「新航空会社の国内路線参入」	東洋信託銀行調査月報	1998(1)	1998.1
運輸政策審議会航空部会	「国内航空分野における需給調整規制廃止に向けて必要となる環境整備方策等の在り方について(運輸政策審議会航空部会答申)」	運輸と経済	58(10)	1998.1
航空労働研究会	『規制緩和と航空リストラ』	旬報社	-	1998.2
高橋望	「米国における小都市航空サービスに対する規制緩和の影響」	関西大学商学論集	42(6)	1998.2
運輸経済研究センター	『運輸産業における規制緩和の効果等に関する調査報告書: 国内航空運送事業』	運輸経済研究センター	-	1998.3
高橋望	「米国の航空規制緩和の輸出-ヨーロッパの事例」	関西大学経済政治研究所研究双書	107	1998.3
二二七 吉井秀和	「規制緩和下における米国航空輸送産業の構造的特質の変化について」	産研論集(関西学院大学)	25	1998.3
上田慧	「アメリカ航空事業の規制緩和と国際戦略提携」	同志社商学	49(5・6)	1998.3

醍醐昌英	「航空事業における規制緩和」	オペレーショ ンズ・リサーチ	43(3)	1998.3
山内弘隆	「航空規制と日本型規制緩和 の問題点」	改革者	452	1998.3
ウォルター, ロベル	『(講演)ニュージーランドに おける航空規制緩和—De- regulation of Civil Aviation in New Zealand』	航政研シリー ズ	353	1998.4
Obermauer, Andrea [神山 裕之]	「ドイツにおける国内航空の 規制緩和」	運輸と経済	58(4)	1998.4
杉山篤史	「航空運送事業における競争 促進策の展開」	空法	39	1998.5
ピーターソ ン, B.S.;グラ ブ, J. [川口 満]	『ドキュメント 航空規制緩 和: 航空企業の栄光と破滅』	成山堂	-	1998.5
藤井弥太郎	『(講演)国内航空分野におけ る需給調整廃止に向けて: 必要 となる環境整備方策等の在り方 について』	航政研シリー ズ	354	1998.5
岡野正治	「航空規制緩和で米国が払っ た犠牲と代償」	論座	38	1998.6
藤井弥太郎	「国内航空の自由化」	三田評論	1003	1998.6
山内弘隆	「国際航空の自由化と航空産 業の今後」	三田評論	1003	1998.6
中村晃・横山 善太・大河原順 一 他	「(座談会)航空自由化の幕開 け」	三田評論	1003	1998.6
運輸省航空局	「運輸政策審議会航空部会の 答申—国内航空分野における需 給調整規制廃止に向けて必要と なる環境整備方策等の在り方 について」	トランスポー ト	32(2)	1998.7
石崎祥之	「規制緩和と航空行政」	日本の科学者	33(8)	1998.8
平井一人・黒 田勝彦・竹林幹 雄	「規制緩和を迎えた航空政策 と日本の空港整備計画」	建設工学研究 所報告(建設工 学研究所)	40-A	1998.11
高橋望	『米国航空規制緩和をめぐる 諸議論の展開』	白桃書房	-	1999.1

高橋望	「米国航空産業における規制緩和の意義」	同志社商学	50(3・4)	1999.1
福井秀樹	「競争の帰結—ハブ空港支配に見るアメリカ航空市場規制緩和の一断面(1)」	愛媛法学会雑誌	25(4)	1999.3
中条潮	「国内航空における新規参入と運賃競争」	公正取引	583	1999.5
福井秀樹	「競争の帰結—ハブ空港支配に見るアメリカ航空市場規制緩和の一断面(2)」	愛媛法学会雑誌	26(1)	1999.8
森宏之	「21世紀の航空運送事業に向けて—需給調整規制の廃止など、一層の規制緩和を推進」	時の法令	1606	1999.11
住友生命総合研究所	「運輸分野の規制緩和—国内航空」『規制緩和の経済効果』	東洋経済新報社	-	1999.12
福井秀樹	「競争の帰結—ハブ空港支配に見るアメリカ航空市場規制緩和の一断面(3)」	愛媛法学会雑誌	26(2)	1999.12
内里清和・服部純	「国内航空旅客運送業分野における競争政策上の課題(公益事業分野における規制緩和と競争政策・中間報告)について」	公正取引	594	2000.4
古城誠	「航空自由化と不当廉売規制」	公正取引	594	2000.4
村上英樹	「アジアにおける航空自由化問題の一つの読み方」	ていくおふ	91	2000.8
福井秀樹	「競争の帰結—ハブ空港支配に見るアメリカ航空市場規制緩和の一断面(4・完)」	愛媛法学会雑誌	27(1)	2000.10
戸崎肇	「航空法改正の意味とその影響の可能性について」	運輸と経済	61(1)	2001.1
山内弘隆	「航空分野における規制緩和の現状と課題—スロット配分と運賃変更命令を中心に」	公正取引	604	2001.2
山内弘隆	「空の規制緩和『改正航空法』施行1年」	日本経済新聞(朝刊)	-	2001.3
榊原胖夫	「自由化1年後の航空輸送」	運輸と経済	61(8)	2001.8
塩見英治	「改正航空法と競争促進の課題」	運輸と経済	61(8)	2001.8
中条潮	「『自由化』後の国内航空政策の課題」	運輸と経済	61(8)	2001.8

中条潮・太田和博	『自由化時代の交通政策』	東京大学出版会	-	2001.11
長田祐卓	「米国における航空規制緩和：法と政策の交錯を中心に」	法学研究(慶応義塾大学)	75(2)	2002.2
遠藤伸明	「航空規制緩和と市場の変遷」	運輸と経済	61(8)	2001.8
戸崎肇	「日米両航空市場における新規参入をめぐる動向」	運輸と経済	61(10)	2001.10
坂本昭雄	「貨物航空の自由化とその枠組」	Cargo21	2 (特別)	2004.1

第4章 航空産業(Aviation industry)

061. 総論(General) 【☞ 航空企業-総論(063A), 航空運送-総論(120)】

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
徳永工兵	「列強に於ける空中飛行界の現状」	法学協会雑誌	28(7)	1910.7
Thomas, George H. [寺家村和介]	『航空輸送』	帝国飛行協会	-	1920.11
織田松太郎	「英国航空事業の近情」	商業及経済(大阪商科大学)	25	1922.1
平井常次郎	「商業飛行時代の初期」	商業及経済研究(大阪商科大学)	37	1925.1
檜崎敏雄	「世界航空の現勢と未来」	法学新報	37(2)	1927.2
逋信省航空局	『各国民間航空輸送事業概要』	逋信省航空局	-	1927.8
逋信省航空局	『主要各国民間航空輸送事業概要』	逋信省航空局	-	1929.10
檜崎敏雄	『航空経済政策論』	有斐閣	-	1932.11
森武夫	「米国航空事業の現勢」	外交時報	730	1935.5
松葉榮重	「世界各国民間航空界の現勢と我国航空事業振興の急務」	経済集志(日本大学)	8(4)	1935.12
寺島成信	「民間航空の展開と其の目標」	外交時報	747	1936.1
福原武	『航空経営論』	ダイヤモンド社	-	1940
玉城肇・吉松隆一	『列國の在支航空權益』	東亜研究所	-	1940.1

福原武	『航空輸送』	海と空社	-	1943.5	
無署名	「最近の欧州旅客輸送」	国際交通研究	11・12	1950.12	
五十嵐晃	「アメリカの国内航空」	わだち	14(12)	1951	
松尾静磨	「アメリカの民間航空事情」	汎交通	51(12)	1951	
安達堅造	「新事業としての航空輸送」	エコノミスト	4(7)	1951.7	
無署名	「各国航空運送の現況をみる」	運輸	32(4)	1951.4	
小玉一男	「各国の航空輸送の現状とその将来性」	外国交通調査資料	5(6・7)	1951.7	
無署名	「西独航空事情」	外国交通調査資料	6(1・2・3)	1952.3	
稻生光吉	「世界航空界の現情」	経済新潮	1(2)	1953.2	
尾沢功	「ソ連邦の民間航空」	外国交通調査資料	7(1)	1953.2	
柳田誠二郎	「我国民間航空の現状と将来」	同盟時報	121	1953.2	
不詳	「我国航空界の展望」	証券	54	1954	
中山武男・長岡毅・金世昇	『海運・航空』	通運業務研究会	-	1954	
会田慶佐	「ブラジルの商業航空事業について」	人文地理	6(5)	1954.12	
吉川貫二	「民間航空の自立をめぐる一つの論争」	同志社商学	7(6)	1955.3	
松尾静磨	「航空運輸事業の現状と将来」	エコノミスト	33(19)	1955.5	
上島敏夫	「航空機使用事業の位置」	運輸	5(9)	1955.7	
吉川貫二	「地方民間航空の自立問題」	同志社商学	8(2)	1956.7	
白山源三郎	「米国民間航空交通発達の特徴と問題点」	経済系(関東学院大学)	27	1956.1	
杉本甲子男	「国際航空2周年を迎う」	運輸	6(2)	1956.1	
横山昭市	「航空交通に関する二三の問題」	新地理	5(2)	1956.9	
一三三	柳田誠二郎	「現下の航空事情について」	経団連月報	5(7)	1957.7
	松尾静磨	『航空輸送経営論』	ダイヤモンド社	-	1958
	無署名	「中華人民民主主義国の民間航空事業」	国際観光情報	124	1958.4
	外務省情報部	「米国民間航空事業概観」	国際事情	292	1959

山岸隆次郎	「航空貨物運送の発展とその特質—米国の事情を中心として」	運輸と経済	19(7)	1959.7
山岸隆次郎	「わが国航空の現況と動向」	運輸と経済	20(12)	1960.10
志鎌一之	「ソ連の航空事情」	レファレンス	127	1961.8
運輸省航空局	『民間航空の現況』	大蔵省印刷局	-	1962.9
住田俊一	「航空運送事業経営論」	運輸と経済	23(4)	1963.4
奥野隆史	「民間国内航空交通について」	地理	9(6)	1964.6
中内通明	「ソ連の航空事情」	レファレンス	161	1964.6
吉川貫二	「ソ連民間航空の新展開」	同志社商学	17(1)	1965.7
伊藤嘉之	「わが国国際航空の展望」	時の法令	561	1966.2
吉川貫二	「アメリカにおける Air Express」	同志社商学	18(2)	1966.9
吉川貫二	「民間航空の現状と問題点」	同志社商学	18(3・4)	1967.1
和田大祐	「ソ連民間航空の近況」	世界週報	48(1)	1967.1
吉川貫二	「アメリカにおける Air Fright(1)」	同志社商学	18(5)	1967.2
吉川貫二	「アメリカにおける Air Fright(2)」	同志社商学	18(6)	1967.3
田口仁康	「西ドイツの地方航空輸送の実験」	レファレンス	195	1967.4
松尾静磨	「航空業界の現状と今後の問題点」	東商	241	1967.7
吉川貫二	「航空貨物における Forwarding—アメリカの現政策の矛盾と問題点」	同志社商学	19(4)	1968.1
津崎武司	「国内空運の現状と将来」	運輸と経済	28(5)	1968.5
高木養根	『(講演)パシフィック・ケースと日本航空：ますます激化する国際競争』	航政研シリーズ	15	1968.7
吉川貫二・江藤作平	『アメリカにおける航空貨物 Forwarding について』	航政研シリーズ	19	1968.11
吉川貫二	「空運における国際的エレメント」『同志社大学商学部創立20周年記念論文集』	同志社大学商学部	-	1968.12

運輸省運輸調査局	『国内航空貨物輸送の実態とその動向』	運輸調査局	-	1969.3
吉川貫二	『パシフィック・ケースの歴史的背景と問題点』	航政研シリーズ	25	1969.6
津崎武司	『空運と地域開発』	地域開発	62	1969.11
中野直樹	『国際民間航空の発展』	国際問題	141	1971.12
長沢修	『航空輸送の長期的展望』	トランスポート	22(9)	1972.9
宮城真宏	『米国における諸航空交通地域の組織(1959年)』	琉球大学教育学部紀要	16	1972.12
八島英之	『国際社会の情報化と航空事業』	航空法務研究	10	1973.9
井戸剛他	『(座談会)これからの航空輸送』	航政研シリーズ	66	1974.5
原田昇左右	『(講演)これからの航空輸送：総合交通の観点から』	航政研シリーズ	69	1974.5
日本航空協会	『航空輸送概論』	日本航空協会	-	1977.1
宇多一二	『国際航空における新秩序形成の動きについて』	運輸と経済	37(9)	1977.9
木村秀政・増井健一	『日本の航空輸送』	東洋経済新報社	-	1979.8
伊藤允博	『わが国航空輸送の現状と課題』	経済集志(日本大学)	50(1)	1980.4
日本航空協会	『航空輸送概論(改訂版)』	日本航空協会	-	1980.4
大田正樹	『航空輸送の経済学』	早稲田大学出版会	-	1981.4
榊原胖夫	『民間航空市場の発展』	経済学論叢(同志社大学)	30(3・4)	1982.3
丸井幹一	『(講演)近距離航空輸送の現状と課題』	航政研シリーズ	167	1982.3
榊原胖夫	『第二次大戦中の航空輸送と戦後の発展』	経済学論叢(同志社大学)	11(1・2)	1982.6
高木養根	『わが国航空業界の現状と問題点』	経団連月報	32(6)	1984.6
大辻嘉郎	『最近の米国航空事情』	トランスポート	36(5)	1986.5

北条勇作	「通勤ター航空について」	高崎経済大学 論集	29(1)	1986.6
無署名	「米国航空業界の現状と展望」	三菱銀行調査	376	1986.8
北条勇作	「航空と地域について」	高崎経済大学 論集	29(2)	1986.9
日本航空協会	『協会75年の歩み：帝国飛行協会から日本航空協会まで』	日本航空協会	-	1988.8
横田和夫	「地域航空の現状と展望」	港湾	65(12)	1988.12
石井晴夫	「航空産業におけるネットワーク・マネジメントの一考察—戦略情報システムとしてのCRSの研究」	公益事業研究	40(3)	1989.3
渡辺文夫	「欧米の航空業界の現状とわが国業界の今後のあり方」	租税研究	482	1989.12
中条潮・山内弘隆	「1989年の航空情勢回顧と今後の展望」	航政研シリーズ	256	1990.1
山本雄二郎	「国際航空のグローバル化」	交通学研究	1989	1990.3
増井健一・山内弘隆	「航空輸送」(中西健一編)『現代交通経済学叢書』	晃洋書房	-	1990.5
ジャレット [塩見英治]	『航空輸送のグローバル化と戦略的経営』	成山堂書店	-	1991.1
日本航空貨物本部営業部	『危険物の航空輸送について』	航空政策研究会	-	1991.2
笠原伸一郎	「アメリカ航空産業の形成とその国際化戦略—1934年新航空郵便法成立以前の航空輸送事業を中心として」	三田商学研究	34(1)	1991.4
川口満	『航空(改訂版)』	日本経済新聞社	-	1991.4
榊原胖夫	『講演]1991年の航空情勢回顧と今後の展望』	航政研シリーズ	281	1992.1
荒井正吾他	「(フォーラム)わが国航空の基本的課題」	運輸と経済	52(3)	1992.3
舟津良行	「わが国の航空輸送の変遷」	航空技術	446	1992.5
石塚武美	「わが国を巡る最近の国際航空」	航空技術	449	1992.8
秋葉明	「国内航空市場の推移と現状」	運輸と経済	53(3)	1993.3

太田正樹	「わが国航空企業の競争力強化への課題」	システム科学 研究所紀要	24	1993.3
田耕治他	「(座談会)国内航空市場の動向」	運輸と経済	53(6)	1993.6
石井晴夫	「変革期における航空輸送事業経営」『交通ネットワークの公共政策』	中央経済社	-	1993.11
秋葉明	「国内航空の現状と課題」	都市問題研究	45(12)	1993.12
高橋望	「国内航空市場の推移と動向」	都市問題研究	45(12)	1993.12
土坂泰敏	『航空をめぐる諸問題』	航政研シリーズ	306	1994.2
梅崎寿	『講演]我が国航空企業の競争力向上のための方策について』	航政研シリーズ	311	1994.7
高橋望	「航空産業の戦略的経営」(中条潮他著)『現代の航空輸送』	勁草書房	-	1995.1
笠原伸一郎	「米国航空産業の形成とその国際化戦略」『グローバル企業の史的展開』	中央経済社	-	1995.10
航空政策研究会	『現代の航空輸送』	勁草書房	-	1995.10
Yamauchi, Hirota ka; Murakami, Hideki	“Japan-Air Transport in Japan: Policy Changes and its Evaluation(International Comparison of Privatization and Deregulation among the USA, the UK and Japan-Volume 3-Airline)”	経済分析	143	1995.12
星加司	「航空輸送動向の変化について」	運輸と経済	56(2)	1996.2
向山秀昭	「最近の米国航空産業の動向(1)」	運輸と経済	56(4)	1996.4
田豊	「国際物流の航空化と航空産業」	海外海事研究	129	1996.6
向山秀昭	「最近の米国航空産業の動向(2・完)」	運輸と経済	56(7)	1996.7
吉川康夫	『航空の世紀』	技報堂	-	1996.7
荒井克之	「中国国内航空輸送の現状と発展のための課題」	日中経協ジャーナル	35	1996.8

中条潮	『航空新時代』	筑摩書房	-	1996.10
貴志幸之佑	「米欧における航空・防衛産業の再編成」	大阪商業大学 論集	108	1997.7
吉田邦郎	「国内航空市場の日米比較」	輸送展望	242	1997
田端浩	「最近のオーストラリア航空事情」	季刊 Mobility	106	1997.1
ハンロン (Hanlon, P.) [木谷直俊]	『グローバルエアライン』	成山堂書店	-	1997.11
遠田外吉	「小型航空事業の発展を求めて」	コンピューター・ビジネス研究	42	1998
柴田匡平	「アメリカの航空市場」	歴史と地理	520	1999.1
西岡久雄・菊池徹・五十嵐政徳	「コンピューター航空の発展と今後の展望(前編)」	運輸と経済	59(1)	1999.1
榊原胖夫	『航空輸送の経済』	晃洋書房	-	1999.3
石井晴夫	「変革期における航空輸送事業経営」『交通ネットワークの公共政策(第2版)』	中央経済社	-	1999.6
坂本昭雄	「変化する民間航空」	航空振興	34(2)	2000.7
荻原剛	「21世紀の国際物流と航空貨物輸送の役割」	流通情報	2(6)	2000.11
井出秀樹	「航空事業の制度改革と競争環境の整備」	運輸と経済	61(8)	2001.8
山内弘隆・竹内健蔵	『交通経済学』	有斐閣	-	2002.6
ドガニス, R. (Doganis, Rigas) [塩見英治・木谷直俊・内田信行・遠藤伸明・戸崎肇]	『21世紀の航空ビジネス』	中央経済社	-	2003.5
高橋望	「分野別市場の検証－航空」	IATSS Review (国際交通安全学会)	29(1)	2004.3
塩見英治	「航空輸送」(ネットワーク・ビジネス研究会)『ネットワーク・ビジネスの新展開』	八千代出版	-	2004.4

塩見英治 「航空」(井出秀樹編著)『規制とネットワーク・ビジネス産業』 勁草書房 - 2004.6

062. 地勢と航空(Geography and aviation)

該当なし

063. 航空企業(Companies) 【☞ 航空産業—総論(061), 航空運送—総論(120)】

A. 総論(General)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
松尾静麿	「航空運送事業経営論—松尾静麿提出学位論文審査要旨」	早稲田商学	147	1960.7
吉川貫二	「アメリカ国際航空事業における Over Capacity(1)」	同志社商学	19(1)	1967.8
吉川貫二	「アメリカ国際航空事業における Over Capacity(2)」	同志社商学	19(2)	1967.9
吉川貫二	「アメリカ国際航空事業における Over Capacity(3)」	同志社商学	19(3)	1967.11
西岡久雄・永井昇	「航空輸送の国際化—21世紀に向けての航空企業戦略」	青山経済論集	44(1)	1992.6
高橋望	「米国航空企業の経営戦略の行方」	ていくおふ	61	1993.2
坂本昭雄	「航空企業の国際化の問題点—航空企業の所有と支配の限界」『多国籍企業の法規制(久保欣也先生退官記念論文集)』	中央経済社	-	1993.11
平田邦夫・秋葉明	「(インタビュー)国際旅客航空市場の変化と航空企業の経営戦略—平田邦夫氏に聞く」	運輸と経済	54(6)	1994.6
Y a m a j i , Susumu	“Responsibility of Airlines, (Chia-Jui Cheng ed.)The use of Airspace and outerspace for All Mankind in the 21st Century”	Proceedings of the International Conference on Air Transport and Space Application in a New World, Tokyo 1993, Kluwer	-	1995

谷山将	「我が国航空企業の競争力向上のための方策について」	空法	36	1995.5
向山秀昭	「サウスウエスト航空にみる航空戦略」	航空と文化	50	1995.5

B. 民間企業と国営企業, ナショナル・キャリア (Private or State companies. National Carrier)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関起夫	「国際航空界に乗り出す新発足の日本航空株式会社」	時の法令	112	1953.10
楠田彬之	「世界最大の航空企業—ソ連国営航空」	運輸と経済	26(3)	1966.3
柴田真	「ナショナルキャリアの責務と意義」	航空法務研究	8	1972.1
野上鉄夫	「航空企業の国際的独占的公共的諸相」	愛媛法学会雑誌	3(2)	1977.2
大藪譲治	「日本航空株式会社法の一部を改正する法律」	法令解説資料総覧	23	1981.8
黒野匡彦	「今後の航空企業の運営体制の在り方について—運輸政策審議会中間答申」	トランスポート	36(1)	1986.1
運輸省	「日航法廃止法を公布」	時の動き	31(22)	1987.11
沖津武晴	「日本航空株式会社株式の売却について」	ファイナンス	23(10)	1988.1
公正取引委員会事務総局官房	「国有航空会社に関する国家補助, 段階的廃止の可能性」	公正取引	526	1994.8
横見宗樹	「BAA 民営化の成果に関する一考察」	交通学研究年報	44	2001.3

C. 競争 (Competition)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
小泉貞三	「国際航空輸送に於ける競争と独占」	商学論究(関西学院大学)	17	1957
鍛冶壮一	「英米航空界における破壊的競争」	運輸と経済	42(2)	1982.2
宮下国生	「国際航空貨物輸送業の成長と競争」	国民経済雑誌	156(5)	1987.11
塩見英治	「競争激化時代に突入する航空業界」	エコノミスト	67(8)	1989.2

河野真治	「アメリカ航空運輸業における規制緩和と競争」	山口経済学雑誌	38(3・4)	1989.7
タネジャー (Taneja, Nawal K.) [吉田邦郎]	『国際航空輸送産業：その現状とサバイバル戦略』	成山堂書店	-	1989.9
坪田茂	「日本航空ほか2社による国内団体包括旅行の販売価格指示事件」	公正取引	468	1989.10
公正取引委員会事務総局官房	「航空会社の競争に関する会計検査院報告」	公正取引	489	1991.7
実方謙二	「航空規制緩和と競争」	運輸と経済	51(12)	1991.12
島田英樹	「国際航空運賃と競争政策—政府規制と競争政策に関する研究会報告書の概要」	NBL	497	1992.5
榊原胖夫	「寡占と独占禁止法政策—アメリカの航空業に関連して」	運輸と経済	52(7)	1992.7
野村宗訓	「イギリス航空事業における競争調整手法」	経済学論究 (関西学院大学)	51(4)	1998.4
小倉武彦	「国内航空旅客運送事業分野における競争の状況等について」	公正取引	611	2001.9
柳川隆	「日本航空と日本エアシステムによる経営統合の競争政策上の問題点」	経済学研究 (神戸大学)	49	2002.3
戸崎肇	「航空産業の競争促進政策」 『現代と交通権』	学文社	-	2002.6
野木村忠邦	「複占状態と独占禁止法—日本航空・日本エアシステム経営統合計画を素材として—」	日本法学	68(1)	2002.7
増田辰良	「航空法の改正と競争政策」	法学研究(北海学園大学)	40(3)	2004.12
D. 共同, アライアンス (Collaboration. Alliance)				
【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
二五 坂本昭雄	「アメリカとヨーロッパにおける航空企業の結合」『企業結合と買収の法理(加藤良三先生還暦記念論文集)』	中央経済社	-	1992.6
塩見英治	「国際航空の戦略的提携と自由化」	経済学論纂 (中央大学)	34(3・4)	1993.1

笠原伸一郎	「国際提携と国際分業による 国際的再編」『グローバル企業 の史的展開』	中央経済社	-	1995.10
山上徹	「航空産業の自由化と系列化」 『現代交通サービス論』	地域産業研究 所	-	1996.3
塩見英治	「航空のグローバル化と国際 間企業提携」	公益事業研究	48(2)	1996.12
塩見英治	「国際航空市場におけるアライ アンスと競争—海運経営に おける戦略的提携」	海運経済研究	32	1998
村上英樹	「国際航空アライアンスの現 況・学説・政策展望」	海運経済研究	32	1998
林克彦	「航空貨物輸送産業における 経営戦略—機能統合と企業連 携」	海運経済研究	32	1998
塩見英治	「航空輸送のグローバル・ア ライアンス」	ていくおふ	81	1998.2
ハベル, B. F.	「航空会社のアライアンス, 独占禁止法及びその適用除外に ついて」	ていくおふ	84	1998.11
ソーメス, T [運輸政策研究 機構国際問題研 究所]	『航空アライアンスとEU競 争政策』	運輸政策研究 機構国際問題研 究所	-	1999.2
E. 国籍, 多国籍企業(Nationality. Multinational companies)				
【著者】 山崎一英	【論題】 「最近の航空企業の外資規制 をめぐる動き」	【掲載誌】 空法	【巻号】 45	【年月】 2004.5
F. 共同運航(Corporate aviation)				
【著者】 不詳	【論題】 「イタリアの活動—国際航空 輸送共同機関」	【掲載誌】 わだち	【巻号】 12(5)	【年月】 1949.5
Kameyama, Taiji	“Interline Cooperation as a Means of Survival for the Airline Industry”	I n t e r n a t i o n a l C o n f e r e n c e o n A i r T r a n s p o r t a n d S p a c e A p p l i c a t i o n i n a N e w W o r l d, T o k y o 1993, Kluwer	-	1994

G. 合併, 海外投資 (Mergers. Foreign investment)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
無署名	「米国航空会社の合併」	経済調査(大和銀行)	50	1952.3
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併・独占およびCAB(1)」	同志社商学	15(5)	1964.1
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併・独占およびCAB(2)」	同志社商学	15(6)	1964.3
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併・独占およびCAB(3・完)」	同志社商学	16(1)	1965.8
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併をめぐる問題点」	交通学研究	1974	1971.11
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併とその規制政策(1)」	京都学園大学論集	1(2)	1972.11
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併とその規制政策(2)」	京都学園大学論集	2(1)	1973.6
吉川貫二	「アメリカにおける航空会社の合併とその規制政策(3)」	京都学園大学論集	2(2)	1973.12
村上英樹	「米国航空業における合併と産業組織の変化—メガキャリアの国内線データを用いた合併の影響の計測」	国民経済雑誌	170(1)	1994.7
戸崎肇	「航空再編をめぐる現状と論点」	運輸と経済	60(4)	2000
公正取引委員会事務総局官房国際課	「欧州委員会, ユナイテッド航空とUSエアアの合併を条件付きで承認」	公正取引	604	2001.2
野村忠邦	「JAL・JAS経営統合計画と独占禁止法」	ていくおふ	97	2002.2
無署名	「日本航空, 日本エアシステムが公正取引委員会に提出した対応策について」	Currents	87	2002.5
二 三 糸田省吾	「『航空経営統合と独占禁止法上の問題点』を考える」	NBL	738	2002.6
石谷直久・五 十嵐俊子	「日本航空株式会社及び株式会社日本エアシステムの持株会社の設立による事業統合について」	公正取引	621	2002.7

戸崎肇	「JAL・JAS 統合問題をめぐ る評価」	運輸と経済	62(11)	2002.11
山崎一英	「最近の航空企業の外資規制 をめぐる動き」	空法	45	2004.5

064. 経済問題(Economic problems) 【☞ 航空機上の権利(082)】

A. 金融(Financing)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
関口雅夫	「アメリカ合衆国における航 空機金融の素描」	空法研究(駒 澤大学空法研究 会)	1	1975.3
小杉丈夫・瀬 野克久	「航空機ファイナンスの現状 と法的諸問題(1)」	金融法務事情	1201	1988.10
小杉丈夫・瀬 野克久	「航空機ファイナンスの現状 と法的諸問題(2)」	金融法務事情	1203	1988.10
小杉丈夫・瀬 野克久	「航空機ファイナンスの現状 と法的諸問題(3)」	金融法務事情	1207	1988.12
小杉丈夫・瀬 野克久	「航空機ファイナンスの現状 と法的諸問題(4・完)」	金融法務事情	1208	1988.12
山崎悠基	「航空機金融」『現代企業法の 展開(竹内昭夫先生還暦記念)』	有斐閣	-	1990.1
Bloomer, Jr., Franklin, H. [大隈一武]	「航空機ファイナンスの概要 (上)」	国際商事法務	18(3)	1990.3
Bloomer, Jr., Franklin, H. [大隈一武]	「航空機ファイナンスの概要 (下)」	国際商事法務	18(4)	1990.4
権田修敏	『航空機市場の動向と資金調 達方式の多様化について』	航政研シリー ズ	334	1996.7
羽原敬二	『航空機ファイナンスの諸問 題』	関西大学経済 政治研究所	-	1997.3
羽原敬二	「航空機ファイナンスに関す る一考察」	空法	39	1998.5
羽原敬二	「航空機ファイナンスの発展 について」	月刊リース	27(7)	1998.7
渡辺祥司	「航空機ファイナンスに関す るユニドロア条約案について」	空法	41	2000.5

小塚荘一郎	「資産担保金融の制度的条件-可動物件担保に関するケーブタウン条約を素材として」	私法	66	2004.4
B. 補助金(Subsidies)				
【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
通信省航空局	『主要各国民間航空保護奨励概況』	通信省航空局	-	1929.11
吉川貫二	「アメリカ主要国における民間航空補助政策」	同志社商学	9(3)	1957.9
榊原胖夫	「航空郵便報奨金からの補助金分離-いわゆる用役料金について」	経済学論叢 (同志社大学)	8(2・3)	1958
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空の補助金コントロールに関する一つの提案」	同志社商学	18(1)	1966.7
吉川貫二	「アメリカ民間航空における補助金軽減政策(赤字路線の放棄と地方空港の統合)(1)」	同志社商学	19(5)	1968.1
吉川貫二	「アメリカ民間航空における補助金軽減政策(赤字路線の放棄と地方空港の統合)(2・完)」	同志社商学	19(6)	1968.3
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空に対する補助金減額政策(1)」	同志社商学	22(2)	1970.2
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空に対する補助金減額政策(2)」	同志社商学	22(3)	1970.3
吉川貫二	「アメリカにおけるローカル航空に対する補助金減額政策(3・完)」	同志社商学	22(4)	1970.7
公正取引委員会事務総局官房	「国有航空会社に関する国家補助, 段階的廃止の可能性」	公正取引	526	1994.8
C. 財政問題, 租税, 関税(Fiscal problems. Taxes. Customs)				
一	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】
二	吉川貫二	「航空交通事業における財政的自立(1)」	同志社商学	6(1)
	吉川貫二	「航空交通事業における財政的自立(2)」	同志社商学	6(2)

吉川貫二	「民間航空の自立をめぐる一つの論争」	同志社商学	7(6)	1956.3
吉川貫二	「地方民間航空の自立問題」	同志社商学	8(2)	1956.7
山名寿三	「航空と税関の問題」『経済と法政の諸問題(加藤一雄博士在職35年記念論文集)』	日本大学法学会	-	1961
山田敏之	「国内航空便に係る環境税に関する法律(訳)」	外国の立法	31(6)	1993.3
林逸子	「航空会社の事業環境と収益構造の変化」	管理会計学	4(1)	1996.3
D. 運賃, 運賃条件(Fare. Tariffs)				
	【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】 【年月】
	松葉栄重	「航空運賃の若干の考察」	経済集志(日本大学)	9(2) 1936.6
運輸省運輸調査局	『国内航空貨物運送と運賃制度』	運輸調査局	-	1969.3
民間航空委員会(Civil Aeronautics Board) [中島勝己]	『アメリカの航空運賃: その現状と改善の方向』	航空振興財団	-	1970
国際民間航空機構 [航空運賃研究会]	『航空運賃原価論』	航空振興財団	-	1970.3
中島巖	「国際航空企業の世界的動向と航空運賃の値上げの背景」	運輸と経済	35(1)	1975.1
太田正樹	「国内航空コストと運賃の動向—需給との関連において」	運輸と経済	35(8)	1975.8
入山映	「アメリカ航空旅客運賃制度の一断面」	運輸と経済	39(3)	1979.3
関口雅夫	「定期国際航空業務についての3の多国間タリフ合意—1967年バリ協定, 国際民間航空機関の標準2国間タリフ条項(1978年)及び1982年米・欧間北大西洋航空タリフ了解覚書」	駒澤大学法学部研究紀要	44	1986.3
滝川敏明	「米国の運輸業における参入・料金規制解除の効果—航空, トラック, タクシー(下)」	公正取引	425	1986.3

小林広文	「国内航空運送事業における旅客運賃について—その歴史と現状及び将来の方向」	運輸と経済	47(4)	1987.4
藤井弥太郎	『航空運賃を考える』	航政研シリーズ	231	1987.12
中出孝典	「国際航空運賃の方向別格差について」	公正取引	455	1989.9
中条潮・山内弘隆	「違法格安航空券と方向別格差の基本的問題点」	交通学研究	1989	1990.3
井上裕行	「経済学で考える『交通問題』(2)—航空運賃の自由化と新規参入の促進を」	運輸と経済	50(5)	1990.5
西村修一	『国際航空運賃』	トラベルジャーナル	-	1991.2
日本航空貨物本部企画部	『IATA 運賃の適用』	日本航空株式会社	-	1992.2
島田英樹	「国際航空運賃と競争政策—政府規制と競争政策に関する研究会報告書の概要」	NBL	497	1992.5
石田信博	「規制緩和と航空運賃」	大阪商業大学論集	93	1992.6
杉浦総一郎	「国際航空運賃と競争政策—政府規制等と競争政策に関する研究会報告書の概要」	公正取引	500	1992.6
中村徹	「航空料金と EEC 競争法—Nouvelle Frontiere の事例と Ahmed Saeed の事例に基づいて」	大阪産業大学論集 社会科学編	93	1993.9
洞駿	『(講演)新しい国際航空運賃について』	航政研シリーズ	308	1994.4
山内弘隆	「航空輸送における割引運賃の動向」	季刊 Mobility	99	1995.4
長谷川通	『国際航空運賃の経済学：90年代の航空業界の戦略と規制当局の方針』	中央書院	-	1995.8
村上英樹	「国内航空運賃の実証分析—決定要因と市場別改定効果」	交通学研究	1995	1996
丸山博	『国内線運賃制度の導入について(報告)』	航政研シリーズ	328	1996.1

運輸省航空局 監理部航空事業 課	「航空運賃の見直し—新しい 国内航空運賃の設定方式」	トランスポー ト	46(2)	1996.2
伊藤元重	「航空料金について」	ていくおふ	74	1996.5
運輸省航空局 監理部航空事業 課	「新しい国内航空運賃制度」	トランスポー ト	46(5)	1996.5
金本良嗣・中 条潮・藤井弥太 郎他	「(座談会)航空の『幅運賃 制』—そのコンセプトと制度設 計」	運輸と経済	56(5)	1996.5
高橋望	「国内航空運賃の幅運賃制に ついて」	ていくおふ	74	1996.5
丸山博	「航空運賃の弾力化をめぐる 最近の動向について」	空法	37	1996.5
村上英樹	「規制緩和後の米国国内航空 運賃」	ていくおふ	74	1996.5
中条潮	「国内航空新運賃制度の功罪」	公正取引	548	1996.6
高橋望	「最近における国内航空運賃 の動向」	季刊 Mobil- ity	104	1996.7
今橋隆	「国内航空における幅運賃制 度の批判的検討」	公益事業研究	48(1)	1996.11
高橋望	「国内航空運賃の規制緩和と その評価」	運輸と経済	56(12)	1996.12
戸崎肇	「国内航空運賃における「幅 運賃制度」の導入の意味と問題 点」	帝京経済学研 究	30(1)	1996.12
無署名	「航空貨物運賃問題に前向き に取り組む欧州荷協」	荷主と輸送	24(9)	1997
国際航空運賃 制度研究会	『よくわかる国際航空運賃計 算(最新改訂版)』	中央書院	-	1997.4
長谷川通	『エアライン・エコノミク ス：航空運賃の規制・競争・戦 略』	中央書院	-	1997.5
山口勝弘	「国内航空における幅運賃制 について」	空法	38	1997.5
中条潮	「国内航空における新規参入 と運賃競争」	公正取引	583	1999.5

山内弘隆	『航空法改正に伴う情報公開と運賃問題について』	航政研シリーズ	370	1999.11
山内弘隆	『航空運賃の攻防』	NTT 出版	-	2000.1
中川寛子	「米国航空産業における略奪的価格設定規制-アメリカン・エアライン事件連邦地裁判決」	公正取引	612	2001.10
井出秀樹	「航空自由化と料金競争」	ていくおふ	102	2003

E. 燃料 (Fuel)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
清野圭造	「航空機燃料譲与税法の概要-航空機燃料譲与税法(昭和47年4月1日公布・法律第13号)」	時の法令	787	1972.6
日高壮平	「航空機燃料税の創設-航空機燃料税法(昭和47年3月31日公布・法律第7号)」	時の法令	787	1972.6
道田信一郎	「石油危機と売買契約-イースタン航空対ガルフ石油」	国際商事法務	4(12)	1976.12
富沢重則	「航空機燃料税の譲与基準について」	税	37(10)	1982.10
渡部淳嗣	「航空燃料贈与税の譲与基準について」	地方税	33(10)	1982.10
広川英人	「航空機燃料贈与税についての若干の考察-その使途を中心として」	地方税	34(5)	1983.5

F. 破産, 債務超過 (Bankruptcy, Insolvency)

該当なし

065. 航空と EC, EU (Aviation and the EC, EU)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
日本経済調査協議会	『EEC 海運航空政策の動向とイタリアの動き』	日本経済調査協議会	-	1964.9
日本経済調査協議会	『EEC の海運及び空輸政策の進展』	日本経済調査協議会	-	1965.3
公正取引委員会事務総局官房	「EC 委員会, EC 航空会社間の協定を違法カルテルと表明」	公正取引	440	1987.6
西井干夫	「EEC 条約と航空の自由化」	空法	29	1988.5

中村徹	「ECにおける航空荷物輸送の課題—域内航空貨物の税関処理の簡単化」	大阪産業大学 論集 社会科学 編	70	1988.11
運輸経済研究 センター	『ヨーロッパの交通政策の現状と今後の方向性に関する調査報告書』	運輸経済研究 センター	-	1991
長田祐卓	「EC統合とその国際航空運送への影響」	駿河台法学	4(2)	1991.3
藤井直樹	「ECの共通航空政策」	運輸と経済	51(9)	1991.9
山内弘隆	「ヨーロッパの航空政策」	運輸と経済	52(1)	1992.1
横山善太	「ECの航空自由化について(特集 EC統合の行方—EC統合への対応)」	経済人	46(10)	1992.1
公正取引委員 会事務局官房渉 外室	「EC委員会, 航空運送業における協力等に関する新たな一括適用除外規則を採択」	公正取引	514	1993.8
中村徹	「航空料金とEEC競争法—Nouvelle Frontiereの事例とAhmed Saeedの事例に基づいて」	大阪産業大学 論集 社会科学 編	93	1993.9
山内弘隆	「航空政策」(橋本昌史編著)『ECの運輸政策』	白桃書房	-	1994.6
関口雅夫	「ヨーロッパにおける航空運送の自由化および調和化に関連する資料(1)—加盟国間における旅客, 郵便物および貨物の運送についての定期域内航空業務の許可に関する1983年7月25日の理事会指令(83/416/EEC)」	法学論集(駒 澤大学)	52	1996.1
中村徹	「国際航空分野における多国間体制に対するアメリカのアプローチとEUのアプローチ」	大阪産業大学 論集 社会科学 編	107	1997.10
山内弘隆	『EUの航空政策と我国への示唆』	航政研シリー ズ	344	1997.6

066. 航空と消費者(Aviation and the customer)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
阿部正彦	「航空機の取引においても『消費者が王様』」	レファレンス	156	1964.1

藤田勝利	「『旅行』と消費者取引の適正化」	国民生活	22(7)	1992.7
高橋望	「消費者指向の航空運賃」	航空と文化	52	1995.11

067. 航空と観光(Aviation and tourism)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
Riese, O [古瀬村邦夫]	「旅行契約および旅行業者の責任に関する国際条約案について」	空法	13	1970.10
高橋弘	「西ドイツ旅行契約法の成立過程」	広島法学	5(1)	1981.7
高橋弘	「西ドイツ旅行契約法関連資料」	広島法学	5(1)	1981.7
高橋弘	「西ドイツパック旅行契約約款」の内容変遷比較表」	民商法雑誌	84(6)	1981.9
高橋弘	「パック旅行の瑕疵に関する西ドイツ判例」	民商法雑誌	85(1)	1981.10
高橋弘	「西ドイツ旅行契約法の内容—その1・民法第651条のaおよびb」	広島法学	5(2)	1981.11
高橋弘	「西ドイツ旅行契約法の立法理由と対案理由」	民商法雑誌	85(4)	1982.1
高橋弘	「国際航空旅客運送約款中の無効条項と問題条項—ルフトハンザの運送約款に関する西ドイツ連邦通常裁判所判決を中心に」	法律時報	57(3)	1985.2
大塚誠司	「海外パック旅行商品の最低販売価格の設定に関する警告について」	公正取引	468	1989.10
藤田勝利	「『旅行』と消費者取引の適正化」	国民生活	22(7)	1992.7

068. 航空と自動化(Aviation and automatization)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
石橋明	「航空機自動化の研究」	航空運航システム研究会雑誌	10	1994.1

坂本昭雄 「航空の命運を握るシステム 立法と調査 188 1995.7
化」

069. 航空とその他の運送モード (Aviation and other transport modes)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
住田俊一	「民間航空と海運」	海運	280	1951.1
野村寅三朗	「運送における航空機と地表 機関の競争-ハンセンの研究と その批判」	国民経済雑誌	96(6)	1957.10
無署名	「鉄道と航空会社間の諸協定」	外国交通調査 資料	88	1961.7
中内通明	「ヨーロッパにおける航空と 鉄道の競争」	レファレンス	155	1963.12
真島和男	「鉄道と航空の競争関係-ヨ ーロッパを中心として」	運輸と経済	24(4)	1964.4
田口仁康・阿 部正彦・高羽康 二	「主要国における陸・海・空 の輸送能力」	レファレンス	193	1967.2
野村寅三朗	「空運と地表運送の競争」	名古屋学院大 学論集	45(8)	1967.8
宮下国生	「国際物流の航空化と海運」	国民経済雑誌	152(4)	1985.1
秋葉明	「航空と鉄道との機関間競争 について」	運輸と経済	53(10)	1993.1
高橋望	「今後の国内航空のありか た-鉄道の高速度化への対応」	航空と文化	45	1994.2
戸崎肇	「航空と他の輸送モードとの 関係について」	運輸と経済	640	2000.10

第5章 航空機(Aircraft)

071. 総論, 定義 (General, Definition of aircraft)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
松波仁一郎	『航空機精説』	不詳	-	不詳
無署名	「水雷と空中船」	法学協会雑誌	29(9)	1911.9
中内通明	「超音速機コンコルドの開発 計画をめぐって」	レファレンス	169	1965.2
池田文雄	「経営多国籍化と航空機関連 事業」	国際問題	141	1971.12

土井輝生	「航空機製造会社と航空運送会社とのあいだの航空機売買契約における免責約款の効力」	国際商事法務	3(6)	1975.6
土井輝生	「航空機売買契約の免責約款の効力と連邦裁判所による州法の適用」	国際商事法務	3(7)	1975.7
横田淳	「民間航空機貿易に関する協定」	法令解説資料 総覧	17	1980.10
福田智子	「民間航空機貿易に関する協定附属書の改正」	法令解説資料 総覧	45	1985.6
日本債券信用 銀行産業調査部	「航空機マーケットの現状と展望」	日本債券信用 銀行産業調査時 報	103	1989.6
西川純子	「アメリカ航空機産業の初期段階—1903～1939年」	土地制度史学	35(2)	1993.1
向山秀昭	「最近の米国航空産業の動向(前編)」	運輸と経済	56(6)	1996.6
向山秀昭	「最近の米国航空産業の動向(後編)」	運輸と経済	56(7)	1996.7
富浦英一	「未来のエアバス合意マルチ化：航空機産業に見る国際規律を巡る経済学的論点」	貿易と関税	45(3)・ 45(4)	1997.3
溝田誠吾	「航空機産業のグローバル競争」	専修大学社会 科学研究所月報	411	1997.9
藤本剛康	「フランス航空機産業の再建と大西洋同盟の形成(1945～1949)」	経済理論(和 歌山大学)	286	1998.11

072. 国の航空機と民間の航空機(State v. Private aircraft)

該当なし

073. 航空機の法的地位(Legal status of aircraft)

103

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
ボルドウィ ン, S. E.	「『飛行機の法律上の地位』の 大要」	国際法雑誌	8(9)	1910.5
広部和也	「航空機の法的地位」(波多野 里望・小川芳彦編)『国際法講義』	有斐閣	-	1982.12

広部和也	「航空機の法的地位」(波多野里望・小川芳彦編)『国際法講義(新版)』	有斐閣	-	1993.10
広部和也	「航空機の法的地位」(波多野里望・小川芳彦編)『国際法講義(新版増補)』	有斐閣	-	1998.5
074. 航空機の国籍(Nationality of aircraft)				
【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
安井郁	「航空機—属人的管轄権」『国際法学講義要綱 I』	弘文堂	-	1939.5
山名寿三	「船舶, 航空機」(国際法学会編)『国際法講座 2』	有斐閣	-	1953.10
森健臣	「人, 船舶, 航空機」『国際法要義』	アヅミ書房	-	1960.3
桜井光堂	「人・船舶・航空機の国籍—平時の国際固定秩序」『国際法』	有信堂	-	1968.5
横田喜三郎	「人, 船舶, 航空機」『国際法(新版)(法律学全集56)』	有斐閣	-	1972.2
栗林忠男	「航空機に関する管轄権」(皆川洸・山本草二編)『演習国際法』	青林書院新社	-	1977.4
桜井光堂	「人・船舶・航空機の国籍—平時の国際固定秩序」『改訂国際法』	有信堂	-	1979.4
水上千之	「航空機」(寺澤一・山本草二・広部和也編)『標準国際法(新版)』	青林書院新社	-	1993.3
奥脇直也	「航空機の国籍—国家管轄権の空間的規律」(村瀬直也・奥脇直也・古川照美・田中忠著)『現代国際法の指標』	有斐閣	-	1994.3

075. 航空機の登録(Registration of aircraft)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
安井郁	「航空機—属人的管轄権」『国際法学講義要綱 I』	弘文堂	-	1939.5
山名寿三	「船舶, 航空機」(国際法学会編)『国際法講座 2』	有斐閣	-	1953.10

森健臣	「人, 船舶, 航空機」『国際法要義』	アヅミ書房	-	1960.3
桜井光堂	「人・船舶・航空機の国籍—平時の国際固定秩序」『国際法』	有信堂	-	1968.5
横田喜三郎	「人, 船舶, 航空機」『国際法(新版)(法律学全集56)』	有斐閣	-	1972.2
栗林忠男	「航空機に関する管轄権」(皆川洸・山本草二編)『演習国際法』	青林書院新社	-	1977.4
桜井光堂	「人・船舶・航空機の国籍—平時の国際固定秩序」『改訂国際法』	有信堂	-	1979.4
水上千之	「航空機」(寺澤一・山本草二・広部和也編)『標準国際法(新版)』	青林書院新社	-	1993.3
奥脇直也	「航空機の国籍—国家管轄権の空間的規律」(村瀬直也・奥脇直也・古川照美・田中忠著)『現代国際法の指標』	有斐閣	-	1994.3

076. 共同または国際的運航代理人が使用する航空機(Aircraft in use with joint or international operating agencies)

該当なし

077. 航空機の製造, 製造者責任(Construction of aircraft. Liability of the manufacturer)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
私設法制意見局	「航空機製造法案の批判」	ジュリスト	14	1952.7
千頭清之	「航空機製造事業を許可制に—航空機製造法の一部を改正する法律(昭和29年6月3日公布・法律第161号)」	時の法令	138	1954.7
高窪利一	「(外国判例研究)アメリカ航空判例—航空機の構造上の瑕疵と製造業者責任(Northwest Airlines, Inc. v. Glem L. Martin, 224 F.2d 120 (6th Cir., 1955).)」	空法	3	1958.4

Takakubo, Ri-ichi	Case Note－Northwest Airlines, Inc. v. Glem L. Martin, 224 F.2d 120 (6th Cir., 1955).	空法	3	1958.4
青木久	「全日空松山沖事故訴訟－YS11型機の欠陥の有無」	法学セミナー	175	1970.9
藤田勝利	「アメリカの判例からみた航空機製造者責任」	法学雑誌(大阪市立大学)	19(2)	1972.11
藤田勝利	「アメリカの航空機製造者責任の現況」	空法	17	1974.10
土井輝生	「旅客機乗員が航空機製造会社にたいして提起したプロダクト・ライアビリティ訴訟と出訴期限」	国際商事法務	3(5)	1975.5
野上鉄夫	「フランス法における航空機製造者責任」	愛媛法学会雑誌	2(1)	1975.8
浅井利一	「裁判管轄はどこに？－自衛隊ヘリコプター墜落事故，製造元の米国の航空機メーカーを訴える」	時の法令	1215	1984.6
船越隆司	「航空機事故と瑕疵責任」	空法	28	1987.5
ビッツメンテ ィー [五内川 史・栗原紀子]	「米国航空機製造業の国際競争力」	財界観測	56(12)	1991.12
羽原敬二	「航空機製造物責任リスクの処理について」	空法	34	1993.5

078. 堪空能力 (Airworthiness)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
伊沢孝平	「耐空能力担保義務」	関西大学法学論集	11(2)	1961.12
原茂太一	「運送法における堪空能力担保義務及び耐空能力担保義務について－イギリス法を素材として」(『堪航能力担保義務論』(千倉書房・1983.11)所収)	青山法学論集	18(2)	1976.10
浅野裕司	「航空機の形式証明・耐空証明と航空事故調査制度」	東洋法学	23(1)	1980.3

野上鉄夫	「堪空能力担保義務」『商事法の解釈と展望(上柳克朗先生還暦記念)』	有斐閣	-	1984.12
野上鉄夫	「堪空能力担保義務の履行手段の内容・程度」	愛媛法学会雑誌	14(1・2)	1987.8
野上鉄夫	「航空企業の堪空能力担保義務の意識革命—航空安全革命の法的根拠を求めて—」	広島女子商科短大学紀要	1(1)	1990
航空振興財団	『諸外国の航空機耐空性技術改正案に関する動向調査』	航空振興財団	-	1991
石崎祥之	「国際航空輸送産業の構造変化—『経年機』問題を中心として」	立命館経営学	31(5・6)	1993.3
松本武徳	『航空における技術規制の合理化について』	航政研シリーズ	336	1996.10

079. 航空機の所有権(The ownership of aircraft)

該当なし

080. (中古)航空機の売却(The sale of (used) aircraft)

該当なし

081. 仮差押え, 1933年ローマ条約(Precautionary arrest. The Rome Convention of 1933)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
無署名	「航空機仮差押条約案(仏交付), 地上損害責任条約案(仏交付)」	海法会誌	19	1934.11

082. 航空機上の権利, 1948年ジュネーブ条約(Rights in aircraft. Geneva Convention, 1948) 【☞ 経済問題—金融(064A)】

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
田中敬一郎	「航空機抵当法」『特別法コンメンタール』	第一法規	-	1072.12
谷伍平	「航空機に動産抵当制度(航空機抵当法・7月20日公布法律第66号)」	時の法令	105	1953.8
谷伍平	「航空機低当法の問題点—自動車抵当法との比較において」	運輸と経済	13(3)	1953.9

日本航空営業 部タリフ課	「航空機の権利の国際的承認 に関する条約(仮訳)」	空法	1	1955.10
無署名	「三井信託, 初の航空機信託 を開始」	商事法務	289	1963.8
中澤豊	「航空機信託の創設と動産設 備信託発展の方向」	商事法務	290	1963.8
栗林忠男	「航空機における権利—国際 立法とオーストラリア国内法」	空法	11	1967.10
田中敬一郎	「航空機抵当法」『特別法コン メンタル』	第一法規	-	1970.12
石井峻才	「わが国における航空機抵当 の目的物に関する一研究」	空法研究(駒澤 大学空法研究会)	1	1975.3
関口雅夫	「アメリカ合衆国における航 空機金融の素描」	空法研究(駒澤 大学空法研究会)	1	1975.3
渡辺祥司	「航空機ファイナンスに関す るユニドロア条約案について」	空法	41	2000.5
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(1)」	国際商事法務	30(7)	2002.7
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(2)」	国際商事法務	30(8)	2002.8
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(3)」	国際商事法務	30(9)	2002.9
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(4)」	国際商事法務	30(10)	2002.10
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(5)」	国際商事法務	30(11)	2002.11
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(6)」	国際商事法務	30(12)	2002.12
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関 する条約および航空機議定書の 概要と仮訳(7)」	国際商事法務	31(1)	2003.1

増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(8)」	国際商事法務	31(2)	2003.2
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(9)」	国際商事法務	31(3)	2003.3
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(10)」	国際商事法務	31(4)	2003.4
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(11)」	国際商事法務	31(5)	2003.5
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(12)」	国際商事法務	31(6)	2003.6
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(13)」	国際商事法務	31(7)	2003.7
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(14)」	国際商事法務	31(8)	2003.8
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(15)」	国際商事法務	31(9)	2003.9
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(16)」	国際商事法務	31(10)	2003.10
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(17)」	国際商事法務	31(11)	2003.11
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(18)」	国際商事法務	31(12)	2003.12
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(19)」	国際商事法務	32(1)	2004.1
増田晋・垣内 純子	「可動物件の国際的権益に関する条約および航空機議定書の概要と仮訳(20・完)」	国際商事法務	32(2)	2004.2

小塚荘一郎	「資産担保金融の制度的条件—可動物件端担保に関するケーブタウン条約を素材として」	私法	66	2004.4
-------	--	----	----	--------

083. 整備, 修理 (Maintenance, Repairs)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
航空法調査研究会	『航空機整備をめぐって(複雑大規模システムにおける事故防止2)』	航空法務研究会	-	1995.1
千葉英樹	「航空機検査制度の改正について(航空法第3章とその改正の概要)」	日本航空宇宙学会誌	45(527)	1997.12

第6章 空員 (Aviation personnel)

091. 労働条件 (Labor conditions)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
小林一俊	「(外国判例研究)アメリカ航空判例—航空乗務員の労働争議に関するインジャンクション—差止命令—について(Northwest Airlines, Inc., v. Air Line Pilots Association, International, A.E.L.-C.I.O. et al., July 2, 1960.)」	空法	6	1962.6
労働省大臣官房国際労働課	『ILO 民間航空特別会議報告書(ジュネーブ・1960年)』	航空振興財団	-	1963
吉原公一朗	「航空機の安全と航空労働者」	文化評論	338	1989.4
高橋望	「米国航空産業における規制緩和後の労使関係」	交通学研究	1990	1991.3
村中哲也	「乗務員の労働条件をめぐる近年の労使紛争」	労働法律旬報	1407	1997.5
村中哲也	「パイロットなど運航乗務員の労働実態と問題点」	労働法律旬報	1408	1997.5
内田妙子	「旅客乗務員の労働実態と契約制旅客乗務員の問題」	労働法律旬報	1409	1997.6
村中哲也	「乗務員の労働条件確立のための重点要求」	労働法律旬報	1410	1997.6

吉田法顕	「“Go Around or Landing”— JTA を以って万国津梁と成せるか?」	労働法律旬報	1411	1997.7
深谷信夫	「航空産業における労使関係の法的争点(上)」	労働法律旬報	1417	1997.10
深谷信夫	「航空産業における労使関係の法的争点(下)」	労働法律旬報	1419	1997.11
航空労働研究会	「規制緩和と航空リストラ」	旬報社	-	1998.2
本田一成	「航空パイロットの労使関係」	大原社会問題研究所雑誌(法政大学大原社会問題研究所)	482	1999.1
山本大造	「航空産業における勤務基準と労働組合」(木田融男・浪江巖他編)『変革期の企業と社会』	八千代出版	-	2004.4

092. 機長(Aircraft commander)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
ホルランド, S. E.	「空中飛行術に関する討論」	国際法雑誌	8(3)	1909.11
篠田治策	「支那空軍中の外人飛行士問題」	外交時報	86(5)	1938.5
池田文雄	「機長の法的地位」	法学新報	64(7)	1957.7
喜多川篤典	「航空機上の犯罪の刑事裁判管轄権と機長の地位」	空法	6	1962.6
円藤寿穂	「航空機不法奪取と機長の権限強化について」	法律のひろば	22(6)	1970.6
森繁行	「機長の法的地位に関する一考察(付 機長の法的地位に関する条約草案(私訳) - 1945年2月パリ臨時法律委員会による改正)」	空法	14	1971.10
宮城雅子	「ボンベイ空港誤着陸事故の機長に対する行政処分とその手続(1)」	航空法務研究	12	1974.6
浅野裕司	「機長と管制官との責任関係」	空法研究(駒澤大学空法研究会)	1	1975.3
浅野裕司	「機長と管制官との責任関係」	大東法学	4	1977.3

宮城雅子	「ボンベイ空港誤着陸事故の機長に対する行政処分とその手続(2)」	航空法務研究	14	1982.11
村中淳一	「Pilotの側からみた問題点と実情」	航空法務研究	15	1983.2
航空の安全及び経済に関する研究会	『機長の職務・国際航空貨物・第6次空整計画をめぐる諸問題：東欧ソ連の航空界』	航空保安協会	-	1991.3

093. 免許(Licenses)

該当なし

094. 携行書類(Board documents)

該当なし

095. 責任(Liability)

【著者】	【論題】	【掲載誌】	【巻号】	【年月】
山口真弘	「パイロットの過失と刑事裁判(上)」	Pilot	1975(4)	1975.7
山口真弘	「パイロットの過失と刑事裁判(下)」	Pilot	1975(5)	1975.9
松岡浩	「事故調査とパイロットの刑事責任」	Pilot	1978(3)	1978.5
日本航空機操縦士協会法務委員会	「航空機事故例と刑事責任追及の記録」	Pilot	1978(3)	1978.5
松岡浩	「航空機操縦者の業務上過失について」	Pilot	1979(5)	1979.9
関口雅夫	「パイロットの刑事責任をめぐって」	空法研究(駒澤大学空法研究会)	3	1979.3
佐藤司	「航空機事故とパイロットの過失責任」	空法研究(駒澤大学空法研究会)	3	1979.3
佐藤司	「パイロットの過失責任」	Pilot	1979(6)	1979.11
池田良彦	「文明社会と刑事過失—パイロットの過失責任をめぐって」	文明(東海大学)	30	1980.11

松岡浩	「事故調査と刑事司法手続とパイロットの立場(1)」	Pilot	1981(1)	1981.1
松岡浩	「事故調査と刑事司法手続とパイロットの立場(2)」	Pilot	1981(2)	1981.3
松岡浩	「事故調査と刑事司法手続とパイロットの立場(3)」	Pilot	1981(3)	1981.5
池田良彦	「パイロットの過失責任をめぐって」	刑事法研究 (駒澤大学大学院)	4	1981.10
浅野裕司	「航空事故における機長の責任と航空会社の管理責任」	東洋法学	26(2)	1983.3
ジョーンズ R. H. [小暮右 太郎]	「危険な動向を示す航空機事故に関与した民間パイロットの刑事訴追」	Pilot	1985(6)	1985.11
池田良彦	「航空機事故と法的責任」	航海(日本航海学会誌)	89	1986
池田良彦	「航空機事故と法的責任」	Pilot	1987(1)	1987.1
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(1)」	Pilot	1987(2)	1987.3
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(2)」	Pilot	1987(3)	1987.5
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(3)」	Pilot	1987(4)	1987.7
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(4)」	Pilot	1987(5)	1987.9
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(5)」	Pilot	1987(6)	1987.11
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(6)」	Pilot	1988(1)	1988.1
池田良彦	「パイロットと管制官の法的責任関係—刑事法からの一視点(7・完)」	Pilot	1988(2)	1988.3

池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(1)』	Pilot	1988(4)	1988.7	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(2)』	Pilot	1988(5)	1988.9	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(3)』	Pilot	1988(6)	1988.11	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(4)』	Pilot	1989(1)	1989.1	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(5)』	Pilot	1989(2)	1989.3	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(6)』	Pilot	1989(3)	1989.5	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(7)』	Pilot	1989(4)	1989.7	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(8)』	Pilot	1989(5)	1989.9	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(9)』	Pilot	1989(6)	1989.11	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(10)』	Pilot	1990(1)	1990.1	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(11)』	Pilot	1990(2)	1990.3	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(12)』	Pilot	1990(4)	1990.7	
池田良彦	『航空危険行為処罰法』の立法趣旨と運用状況(13・完)』	Pilot	1990(6)	1990.11	
池田良彦	「MU-2型機接触事故裁判をめぐって(上)」	Pilot	1991(3)	1991.5	
池田良彦	「MU-3型機接触事故裁判をめぐって(中)」	Pilot	1991(4)	1991.7	
池田良彦	「MU-4型機接触事故裁判をめぐって(下)」	Pilot	1991(6)	1991.11	
池田良彦	「管理・監督責任をめぐる刑事上の問題—1985年・日航機(B-747型)墜落事故不起訴決定を素材に—」	東海大学紀要	2	1993	九二
森紀人	「航空事故と操縦士の刑事責任—比較法的アプローチ」	空法	37	1996.5	

池田良彦	「航空事故と Pilot の法的責任—刑事過失責任を中心に」	Pilot	1998(4)	1998.7
池田良彦	「航空事故とパイロットの法的責任について(前編)」	Pilot	1998(5)	1998.9
池田良彦	「航空事故とパイロットの法的責任について(後編)」	Pilot	1998(6)	1998.11
池田良彦	「システム性事故における過失犯処罰の限界について—航空危険行為処罰法第6条の『危険行為』の意義をめぐって」(森下忠・香川達夫・斉藤誠二編集代表)『日本刑事法の理論と展望(佐藤司先生古稀祝賀)下巻』	信山社	-	2002.8
佐藤司	「名古屋上空 MD-11機事故—システム事故と機長の責任—」	JCCD	90	2002.11
土本武司	「航空パイロットの刑事過失責任の問い方—ニアミス事故」	判例時報	1813	2003.5
川出敏裕	「事故調査と法的責任の追及」	ジュリスト	1245	2003.6
土本武司	「航空事故と刑事過失責任」(板倉宏博士古稀祝賀論文集編集委員会編)『現代社会型犯罪の諸問題』	勁草書房	-	2004.10

人名索引

(前編所収文献はローマン体、後編所収文献はイタリック体で表記)

- <あ>
 会田慶佐 ……………061
 相羽有 ……………120
 相原隆 ……………012E
 アイメス ……………041A
 青木久 ……………077, 105B
 青木優二郎 ……………012F
 青木亮 ……………050B
 青地晨 ……………109
 青山秀夫 ……………109
 青山善充 ……………139C
 明石三郎 ……………161
 赤堀光子 …017C, 121, 130D
 秋草愛一 ……………212
 秋田稜 ……………015B
 秋富公正 ……………101A
 秋葉明 061, 063A, 069, 130C
 秋山一郎 ……………120
 秋山義継 ……………050B
 アクハースト(エイクハースト), M. ……………041A
 浅井利一 …077, 139C, 151A
 浅島武雄 ……………101A
 朝田静夫 ……………048B, 120
 浅野裕司 …008, 012C, 016A, 017D, 017E, 078A, 092, 095, 109, 111, 121, 129C, 129D, 130A, 131A, 131B, 131C, 133A, 139B, 154, 158, 178
 浅見勝実 ……………028A
 粹澤和幸 ……………154
 東孝行 ……………139G
 足立東 ……………151A, 152
 安達栄司 ……………148
 安達堅造 ……………012C, 061
 足立純夫 ……………041A, 203
 安部憲治 ……………044
 阿部紘一(Abe, Koichi) ……………127A, 161
 阿部士郎 ……………129A
 阿部雅昭 ……………044
 阿部正彦 ……………066, 069
 阿部泰夫 ……………120
 阿部泰隆 103, 105A, 105B
 アベイウイクラマ(I. Abey-Wickrama) ……………145
 天雲俊夫 ……………101A
 天野次朗 ……………152
 天野和夫 ……………105B
 荒秀 ……………105B
 荒井克之 ……………061
 荒井正吾 …044, 050A, 061
 荒木正治 ……………012H, 101A
 荒木教夫 ……………012B, 012E
 荒木茂久二 ……………050A
 有坂欣明 ……………120
 有吉正一郎 ……………174, 178
 アレキサンダー, L. M. 120
 淡路剛久 ……………105A, 105B
 アンデュリュウ ……………050A
 <い>
 飯島一孝 ……………105B
 飯田茂 ……………012E, 048A
 飯田忠雄 ……………173B
 飯村佳夫 ……………105B
 家永三郎 ……………105B
 五十嵐晃 ……………061
 五十嵐寿一 …048A, 105A, 105B, 145, 151A
 五十嵐俊子 ……………063G
 五十嵐政徳 ……………061
 五十嵐庸晏 ……………120
 生田典久 ……………133A
 池内秀樹 ……………121, 127A, 129B, 129E, 131B
 池田清躬 ……………212
 池田文雄(Ikeda, Fumio) …006, 012C, 012E, 012F, 015A, 016A, 016D, 028A, 029E, 041B, 042, 046A, 048A, 048B, 050B, 071, 092, 120, 121, 122, 125, 127A, 127B, 128, 129A, 130A, 133A, 135B, 141, 143, 147A, 151A, 152, 171, 172, 173A, 173B, 175
 池田良彦 …095, 109, 129A, 151A, 151B, 151C, 154
 伊沢孝平 …008, 012C, 046A, 078A, 120, 157A
 石井健児 ……………173A
 石井伸一 ……………101A
 石井峻才 ……………082A
 石井晴夫 ……………061
 石井豊 ……………050B
 石井義雄 ……………151A
 石神義久 ……………028A
 石川重明 ……………171
 石河正夫 ……………151A
 石川実 ……………120
 石川良雄 ……………017C, 145
 石川好美 ……………151C
 石黒一憲 ……………048B
 石黒匡人 ……………105A
 石崎祥之 …044, 050B, 078A
 石田喜久夫 ……………105A
 石田信博 ……………050B, 064D
 石田満 ……………012E
 石谷直久 ……………063G
 石塚武美 ……………061
 石塚寿夫 ……………016E, 173A
 石橋明 ……………068
 石橋猪作 ……………012H
 石橋一晃 ……………104
 石本泰雄 ……………012G
 泉剛介 ……………121
 泉哲 …041A, 176B, 203
 泉正史 ……………120
 磯野弥生 ……………105B
 磯部巖 ……………044
 位田隆一 ……………012E
 市川秀雄 ……………012F
 一又正雄 ……………042, 048B
 一柳邦男 ……………145
 井出憲文 ……………050A
 井出秀樹 ……………061, 064D
 井出口哲生 ……………050B
 射手矢好雄 ……………050A
 井戸剛 ……………061
 伊藤允博 ……………061

- 伊東克己 ……121, 122, 128, 135B, 161
 伊藤隆敏 ……050B
 伊藤高義 ……105A, 145
 伊藤達雄 ……101A
 伊東富士丸 ……121
 伊藤正己 ……105B
 伊藤元重 ……064D
 伊藤嘉之 ……061, 129A
 伊藤良平 (Itou, Ryouhei) ……012A, 012C, 135B
 糸田省吾 ……063G
 稲生光吉 ……061
 稲毛清和 ……101A
 稲原泰平 ……041A
 稲本洋之助 ……105A
 井上栄 ……212
 井上治典 ……105B
 井上裕行 ……050B, 064D
 猪俣吉彦 ……161
 井原敏之 ……044, 151A
 今井薫 ……012E
 今井直 ……012E
 今橋隆 ……064D
 今松英悦 ……050B
 今村成和 ……105A, 105B
 今吉弘 ……101A
 入江啓四郎 ……139A
 入山映 ……064D
 岩井滉三 ……202
 岩崎一生 ……017B
 岩崎稜 ……012E
 岩瀬ひとみ ……135E
 岩淵正風 ……049
 岩淵節雄 ……041A
 岩村敬 ……044
 岩山耕二 ……048B
- くう
- ウィリアム, F. (William, F.) ……102
 上垣猛 ……171
 植木俊哉 ……041A
 上島敏夫 ……061
 ウェストレーキ ……041A
 上田慧 ……050B
 上田誠一 ……212
 植田俊雄 ……212
 上野晋 ……111
- 上野喬 ……050B
 上林健 ……050B
 植村栄治 ……012B, 105B
 ウォルター (Walter) ……050B
 宇賀克也 017A, 105A, 145
 受川環大 ……008, 121, 129C
 牛山積 ……105B
 碓井彊 ……048B
 白杵知史 ……041A
 宇多一二 ……061
 内里清和 ……050B
 内田幹樹 ……111
 打田駿一 ……105B
 内田省司 ……105B
 内田妙子 ……091
 内田信行 ……061
 内村信行 ……050A
 内山拓郎 ……130C
 畝村繁 ……041A, 173A
 馬谷原成男 ……154
 海谷厚志 ……012H, 044
 梅崎寿 ……061, 111
 卜部敏男 ……212
 運輸経済研究センター ……050A, 050B, 065, 101A
 運輸省 ……050A, 063B
 運輸省運輸政策局 136, 137
 運輸省運輸調査局 ……061, 064D, 130C
 運輸省航空局 ……012H, 044, 050A, 050B, 061
 運輸省航空局管制保安部保安企画課 ……044
 運輸省航空局監理部航空事業課 ……050A, 064D
 運輸省航空局監理部国際航空課 ……050A
 運輸省航空局監理部総務課航空企画調査室 ……044
 運輸省航空局飛行場部関西空港課 ……101A
 運輸政策研究機構国際問題研究所 ……063D
 運輸政策審議会 ……050A
 運輸政策審議会航空部会 ……050B
- くえ
- エーザー, G. ……030
 エーラー ……121, 124A
 エイクハースト (アクハースト), M. ……014A
 江頭憲治郎 ……120
 江川紹子 ……151A
 江藤作平 ……061
 衛藤文一郎 ……172
 榎下義康 ……131B
 榎本重治 ……203, 205A, 212
 榎本剛夫 ……044
 江橋崇 ……201
 遠田外吉 ……061
 遠藤源六 ……041A, 205B
 遠藤信介 ……111
 遠藤正 ……161
 円藤寿穂 ……092, 173B
 遠藤伸明 ……048B, 050B, 061, 101A
 遠藤浩 ……105B
 遠藤博也 ……105B
- <お>
- 近江穰 ……101A
 オーイーシーディー (OECD) ……120
 大石正明 ……161
 大石泰彦 ……101A, 148
 大金瑞穂 ……048B, 173B
 大河原順一 ……050B
 大久保武雄 ……012A
 大隈一武 ……064A
 大倉忠夫 ……105A
 大蔵省保険二課 ……161
 大沢茂 ……012B
 大島藤太郎 ……105B
 大島正光 ……145
 大田育子 ……028A
 太田和博 ……050B
 太田勝洪 ……048B
 太田信一郎 ……050A
 太田恒武 ……050A
 太田正樹 ……048B, 061, 064D, 151A
 太田正利 ……048B
 大塚誠司 ……067
 大塚英明 ……012E
 大塚博比古 ……015H
 大辻嘉郎 ……061
 鴻常夫 ……012D, 129A, 137

大庭哲夫	120	尾沢功	061	141, 145	
大野和雄	130C	小田滋	012G, 041A, 173A	加藤修	130C, 161
大野重國	171	織田松太郎	061	加藤重信	135B
大橋光雄	012F	小高剛	105A, 105B	加藤正一郎	173B
大林良一	151A, 161	越智信夫	044, 151A	加藤卓二	131B, 139J
大原久和	041A	落合淳隆	041A	加藤由作	161
大平善悟	012F, 173B, 203, 205B	落合誠一	028G, 120, 121, 124, 126A, 127A, 129E, 130A, 138C	加藤了	105A
大淵仁右衛門	203	小野輝雄	151A	金沢理	016C, 017C, 121, 129C, 131B, 141, 161
大村行雄	173B	オバーマウア (Obermauer, Andrea)	050B	金子正史	145
大村芳昭	012E	小畑郁	041A	金子芳雄	145
大藪讓治	063B	小幡雅男	048C	金子利喜雄	041B
岡田泉	041A	小原三佑嘉	008, 128, 137, 173B	兼原敦子	012E
岡田清	015H, 050A, 050B	尾松伸正	044	金光不二夫	145
岡田修三	161	尾山萬二郎	205A	金本良嗣	050B, 064D
岡田専治	047A	折田康徳	173B, 178	金森徳次郎	121
岡田瑞穂	101A			鎌田薫	105B
岡野正治	050B			上子道雄	012H
岡野祐子	012E, 139C			上村卓也	173E
岡部慎一 (Okabe, Shinichi)	115, 130A			神山裕之	050B
岡本坦	017D, 121, 129C, 129D, 139B			龜山孝一	212
岡本棟守	050B, 154			龜山泰二 (Kameyama, Taiji)	063F
小川太一郎	012A			龜山繼夫	173B
小川直樹	041A			加茂紀久男	105B
小川芳彦	012E, 041A, 048A, 173A, 173B			加賀山茂	105B
小木曾康彦	050B			苅部候雄	151A
沖津武晴	063B			カルトー	012C
荻原四郎	012H			川井健	105B
荻原剛	061			川上五郎	102
奥川昇	161			川上太郎	012F
奥島孝康	012E			川口満	050A, 050B, 061
奥末広	041A			川崎忠三郎	012H
奥田章順	050B, 111			河崎正信	128
奥野隆史	061			河崎綾	028A
奥村誠	012H, 173B			川嶋辰彦	048B
奥山勇治	205B			川田和良	105A
小倉照雄	044			川出敏裕	095, 154
奥脇直也	074, 075, 173A			河西直也	012E
オコーナー	012C			川原篤	205B, 211
刑部荘	212			河村一男	151B, 154
尾崎重義	012E			川村俊雄	105B, 145
長田泰公	105B			川村芳郎	050B, 111
長田真理	012E			川本和弘	154
長田祐卓	012F, 041A, 046A, 046B, 048A, 048B, 050A, 050B, 065			川本正一郎	105A, 105B
				ガン, E. K.	012C
				環境庁大気保全局交通公害対策室	102

〈か〉

ガーノールト, M. A.

(Garnault, M. A.) 129A

海法会誌編集部 012B

外務省国際協力局第二課

028G

外務省国際連合局経済社会課

028A, 135A, 135B,

138A, 152

外務省国際連合局専門機関課

012A, 174

外務省情報部 061

外務省条約局 012G

外務省条約局協定課 172

垣内純子 012G, 082A

郭賢泰 050B

笠原伸一郎 050B, 061, 063D

笠原勇太 161

鍛冶社一 050B, 063C, 151A

梶浦恒男 101A, 102

梶川英夫 161

加治屋繁 109

柏田忠一 048A

梶原清 105A

ガスビー, ジョン 041A

葛城照三 161

加藤皓 030, 129A

加藤書久 012B, 028A

加藤一郎 105B, 129A,

神崎克郎 ……012E
菅野久光 ……111
菅野義丸 ……050A

〈き〉

菊井勉 ……028A, 110
菊池卓哉 ……129A
菊池徹 ……061
岸田純之助 ……105B, 145
岸本哲 ……105B
規制緩和・民営化研究会
……050B
北岡健司 ……012F
喜多川篤典 Kitagawa, A.
……016E, 092,
120, 138A, 158, 161, 171
北川正 ……137
北澤安紀 ……012E
北沢正啓 ……012D
北澤有勝 ……161, 205B
木棚昭一 ……012E
木谷隆 or 木暮隆 ……173B
木谷直俊 ……048A, 050A, 061,
101A
北野宏久 ……109
北村大 ……121
木戸武 ……101A
城戸正彦 ……015E, 015H,
016D, 041A, 041B, 043B,
046A, 047B, 130A, 205B
木藤繁夫 ……174
木名瀬百代 ……121
衣笠達夫 ……050B
絹川二郎 ……173A, 173B
絹巻康史 ……120
木下達雄 ……120
斯波忠三郎 ……012B
来見田實 ……008, 128, 130C
木村亀二 ……127A
木村秀政 ……012D, 061, 145
木村実 ……044, 145
木村稔 ……048B
木村保男 105A, 105B, 145
木村庸治 ……016C
キャスパー, D. M. ……050B
キャスパリー (Caspary, Si-
grun) ……201
京極務 ……101A
行政法制研究会 ……041B

経塚作太郎 ……012E, 041A,
173A
清野圭造 ……064E
桐山孝信 ……012E
桐山武 ……005, 012E, 017A,
017C, 017E, 121, 129C,
136, 137, 139B
ギルドイマン ……016E
金世昇 ……061
金斗煥 (Kim, Doo Hwan)
……012F, 048A, 109, 131B

〈く〉

クーパー, J. C. (Cooper,
J. C.) ……042
クーパー, デニス (Cooper,
Dennis) ……016E
空法編集部 ……012E, 173B
草野豹一郎 ……041B
楠田彬之 ……050B, 063B
楠木行雄 ……044, 120
工藤聡一 ……012E, 131B
工藤好彦 ……120
国井和郎 ……105B
國友明彦 ……012E, 151A
久保小七郎 ……130A
久保井一匡 ……105A, 105B
窪田宏 ……006
窪田陽一 ……129A
熊林実 ……105B
九門英夫 ……048B
倉沢康一郎 ……012E
倉田庫太 ……161
クラブ J. ……050B
栗田和彦 ……012E
栗林忠男 (Kuribayashi,
Tadao) ……012B, 016E,
041A, 041B, 043A, 043B,
074, 075, 082A, 120, 171
栗原紀子 ……077
栗原良扶 ……105B
倉沢康一郎 ……012E
久留島隆 ……130C
グルディマン ……120
黒沢利武 ……012H
黒田勲 ……151A
黒田勝彦 ……050B, 101A
黒田義樹 ……151A
黒野匡彦 ……012B, 044, 063B

〈け〉

京阪神急行電鉄国際運輸サー
ビス部 ……128
警備法令研究会 ……173B
ゲーツ (Gates) ……050B
煙山専太郎 ……012B
ゲラルト, F. ……137
グロー D. ……151A

〈こ〉

小泉貞三 ……015E, 063C
小出修三 ……050B
洪濟植 ……126A
航空安全研究プロジェクト・
チーム ……151A
航空運送協定に関する調査研
究委員会 ……048B
航空運送法特別委員会幹事会
……120
航空運賃研究会 ……064D
航空技術協会 ……012C
航空技術編集部 ……012H, 044
航空機騒音対策研究会
……012H, 105A
航空公害防止協会 ……028A,
105A
航空交通管制協会 ……028A
航空事故調査委員会20周年記
念事業実行委員会 ……154
航空私法研究会 ……012G,
048C, 050A, 120, 129A
航空振興財団 ……012H, 015H,
016B, 078A, 111, 120,
121, 122, 129A, 133A,
148, 154, 172
航空政策研究会 ……050A, 061
航空庁 ……012G, 016A, 121
航空の安全及び経済に関する
研究会 ……050A, 092,
101A, 111, 120, 151A,
151C, 154
航空保安協会 ……050B, 107,
111, 161, 177
航空法研究会空法部 ……172
航空法ゼミ ……030, 157B,
165, 173B
航空法調査研究会 ……044,
083, 105B, 109, 151A

航空労働研究会 …050B, 091
 航空六法編集委員会 …012H
 香島明雄 …048B
 公正取引委員会事務総局官房
 国際課 …063G, 115
 公正取引委員会事務総局官房
 渉外室 …050B, 063B,
 063C, 064B, 065, 127B
 公正取引委員会事務総局経済
 取引局経済調査課 …050B
 五内川拡史 …077
 郡祐一 …212
 河野真治 …050B, 063C
 河野正英 …139C
 国際航空運賃制度研究会
 …064D
 国際法学会 …012D
 国際民間航空機関 …015H,
 148, 154
 国際民間航空機構 …064D
 国土交通省航空局 …012H
 国立国会図書館参考書誌部
 …012E
 国領英雄 …050B
 小暮右太郎 …095
 小坂英治 …101A
 越川純吉 …127A
 小島昌太郎 …120
 兒島多賀太 …041A
 小杉丈夫 …064A
 古瀬村邦夫 …067, 138B
 小谷勝彦 …109
 小倉武彦 …063C
 小玉一男 …061
 小塚莊一郎 …061A, 082A,
 131E, 138C
 後藤翔 …017C
 後藤茂也 …008
 後藤茂之 …137
 小早川光郎 …154
 小林晃 …120
 小林修 …044
 小林一俊 …017A, 091
 小林啓治 …205B
 小林二郎 …105B
 小林直樹 …105B
 小林登 …120, 126A, 131B
 小林秀之 …048A, 139A,
 139C

小林広文 …064D
 駒澤大学図書館 …012E
 小町谷操三 …008, 012B,
 012C, 121, 127A, 128,
 129A, 131B, 141, 146,
 161
 小路弘史 …151A
 児矢野マリ …012E
 小山章松 …105B
 小山精一朗 …041A, 205A,
 210
 小山昇 …012E
 頃安健司 …173A
 権田修敏 …064A
 近藤文二 …161

〈さ〉

斉藤彰 …012E
 斎藤元一 …048B
 齊藤功高 …041A
 斎藤寅朗 …012C
 斉藤直一 …024
 佐伯彰洋 …044
 佐伯弘治 …130A
 坂満夫 …151A
 酒井功 …151A
 坂井智 …151B
 榑原胖夫 …012F, 048F,
 050B, 061, 063C, 064B,
 101A
 坂口光男 …012E
 坂元茂樹 …041A
 坂本武 …151A
 坂本昭雄(Sakamoto,
 Teruo) …012B, 012C,
 012F, 028G, 047B, 048B,
 048F, 050A, 050B, 061,
 063A, 063D, 068, 101A,
 120, 121, 123, 126,
 126A, 127A, 129A,
 130A, 131B, 133A,
 151A, 154
 坂本正寿 …105B
 坂和章平 …105B
 桜井光堂 …041A, 074, 075
 桜井利江 …012E
 桜井俊樹 …050A
 桜井知能 …105A
 桜田嘉章 …012E

桜井保之助 …016B
 桜井隆一 …105A
 笹尾寛 …005
 佐々木一彦 …105B
 佐々木毅 …173B
 佐々木直彦 …133A
 佐々木弘 …101A
 佐々木裕 …105B
 佐々波秀彦 …103
 笹原桂輔 …120, 127B
 笹本幸祐 …012E
 佐瀬昌三 …010, 012C,
 129A, 141
 佐田侃三 …012H
 佐藤昭寿 …050A, 101A
 佐藤梅吉 …103
 佐藤幸治 …012D
 佐藤壮紀 …012H, 101A
 佐藤司 095, 151B, 154, 158
 佐藤治正 …050B
 佐藤寛 …012F
 佐藤文夫 …012E
 佐藤やよひ …012E
 佐藤裕二 …111
 佐藤友蔵 …041C
 里見一男 …012C
 佐島和郎 …121, 130C
 佐野寛 …120
 沢野誠 …130A, 139A
 沢幸一 …201
 澤井祐 …104, 105A, 105B,
 145
 澤木敬郎 …012E
 佐分晴夫 …041A
 沢田廉三 …004, 202
 沢本和夫 …161
 サンド …016E

〈し〉

ジェンキンズ …178
 塩崎勤 …145
 塩田澄夫 …048B
 塩見英治 …012C, 012F,
 048A, 050A, 050B, 061,
 063C, 063D, 101A
 潮海一雄 …012E, 105B
 塩見正幸 012H, 103, 105A
 志鎌一之 …016D, 061
 茂田忠良 …151B

- 重田晴生 ……012E, 012H, 121, 127B, 129C, 130C, 131B, 139J, 145, 161
 私設法制意見局 ……077
 志田文毅 ……012H
 志津田氏治 ……078A
 志津田一彦 ……012E
 篠田治策 ……092
 篠原梓 ……028A
 柴田伊冊 (Shibata, Isaku) ……048A, 050A, 050B, 101A, 102, 105A, 110
 柴田匡平 ……050B, 061
 柴田吟三 ……212
 柴田耕介 ……028A
 柴田尚 ……120
 柴田真 ……063B
 柴田正夫 ……028A
 渋谷達紀 ……017A, 017C
 島十四郎 ……012E
 島田和夫 ……017C
 島田孝一 ……012B
 島田庄七郎 ……012B, 041A
 島田英樹 ……050B, 063C, 064D
 島田征夫 ……041A, 173B
 島袋鉄男 ……044
 清水隆雄 ……187
 清水敏聖 ……050B
 清水誠 ……105B
 清水保俊 ……151A
 志村治美 ……012E
 下飯坂常世 ……105B
 下谷昌幸 ……012B
 下山瑛二 ……044, 105B
 謝花寛済 ……044
 ジャレット ……061
 庄司光 ……105B
 ジョーンズ R. H. ……095
 白石浩介 ……050B
 白石陽一 ……044
 白山源三郎 ……061
 城山英明 ……154
 霄金磨 ……102
 新関輝夫 ……133C
 新堂幸司 ……105B
 仁保亀松 ……005
- <す>
- 末高信 ……161
- 末永昌久 ……028A
 末廣重雄 ……201
 末吉洋文 ……028A
 菅原菊志 (Sugawara, K.) ……012B, 028G, 121, 125, 129C, 135B
 菅原久吉 ……101A
 杉浦一機 ……050B
 杉浦総一郎 ……064D
 杉江徹 ……017A, 120, 121, 140A
 杉田重夫 ……161
 杉原高嶺 ……174
 杉村陽太郎 203, 205B, 210
 杉本甲子男 ……061
 杉山篤史 ……050B
 杉山元 ……205B, 212
 杉山茂顕 ……012B, 012E, 041A, 145
 杉山武彦 ……101A
 函師雅脩 ……105A
 鈴木暁 ……120, 137
 鈴木五十三 ……139C
 鈴木達次 ……012E
 鈴木登 ……172
 鈴木幹夫 ……212
 鈴木友紀 ……101A
 鈴木義男 ……173B
 鈴木良男 ……048A
 須田政勝 ……105B, 145
 スティーブン (Stephen) ……050A
 スティーブン (Stephen, J. E.) ……139J
 須藤信夫 ……028A, 154
 須之内康幸 ……105B
 住田俊一 ……005, 012C, 012H, 061, 069
 住田正二 ……120
 住友生命総合研究所 ……050B
 隈野久夫 ……158
- <せ>
- 関越夫 ……012B, 012H, 063B
 関俊彦 ……017A, 017D,
 関弥一郎 ……017C, 127B, 139C
 関川栄一郎 ……111, 177
 関口遼男 ……105B
- 関口敏郎 ……161
 関口雅夫 (Sekiguchi, Masao) ……005, 012E, 012F, 015C, 015F, 015G, 016A, 016E, 023, 024, 025, 026, 027, 028A, 028D, 028G, 029A, 029E, 030, 044, 047A, 047B, 048A, 048B, 048C, 050A, 050B, 064A, 064D, 065, 082A, 095, 109, 111, 120, 121, 124, 124A, 125, 126, 126A, 129A, 130A, 131B, 133B, 146, 147A, 151B, 154, 165, 174, 178
 関沢正夫 ……172
 関野昭一 ……012E
 瀬野克久 ……064A, 135E
 芹田健太郎 ……041A
 仙田富士夫 ……105B
 全日本空輸株式会社 ……127A, 135B
- <そ>
- 総合政策研究会 ……050A
 添田慎二 ……101A
 ソームス, T ……063D
 曾根務 ……015H
 園部逸夫 ……105B
 園部敏 ……012B
 ソ連科学アカデミー法律研究所 ……041A
- <た>
- 台木一成 ……044
 醍醐昌英 ……050B
 大日本航空社史刊行会 ……005
 田岡良一 ……041A, 120, 203, 205A, 205B, 210
 高石晴夫 ……173A
 高木敏行 ……105B
 高木養根 ……061
 高窪利一 (Takakubo, R-ichi) ……012E, 017A, 077, 161
 高桑昭 ……012F, 120, 139C
 高崎尚志 ……104
 貴志幸之佑 ……061

- 高杉直012E
 高瀬秀一135B
 高田桂一 ...008,012C,012E,
 016A,017A,017B,017C,
 017E,028G,030,047A,
 120,121,123,127A,
 127B,128,129A,129C,
 130A,130C,131B,
 133A,133B,133C,
 135B,137,141,161
 高田源清005
 高田晃男105B,145
 高津幸一105A
 鷹司駿205B
 高野晟111
 高野幹久041A
 高野雄一041A
 高橋一修103
 高橋和弘111
 高橋作衛205A,205B
 高橋望 ...012C,012F,050A,
 050B,061,063A,064D,
 069,091,101A,111,114,
 101A
 高橋寿夫050A,101A
 高橋秀雄050A
 高橋弘067,127A
 高橋正博050B
 高橋正巳161
 高橋良宣101A
 高羽康二069
 高林秀雄203
 滝井繁男105B
 滝川敏明 ...044,050B,064D,
 114
 滝沢正105B
 滝爪富雄110
 田口仁康016A,016B,
 016F,061,069,101A,
 105A,108,145
 竹内昭夫012D
 竹内健蔵061
 竹下守夫105B,139C
 竹内保雄105A,145
 武貞秀士041B
 竹島信夫015D
 武田峻111
 竹田央105B
 武田実015H
 竹浜修012E
 竹林幹雄050B,101A
 竹本正幸012E,041A
 武山真行012E
 多胡令151A
 但木敬一174
 多田望012E,044
 竜崎考昌028E
 龍田節120
 田中石城111
 田中和史121,139A
 田中敬一郎082A
 田中栄012E
 田中俊恵178
 田中伸尚105B
 田中則夫012E,041A
 田中英男012E
 田中英夫012D
 田中博030
 田中穂積 ...016E,017E,121,
 173A
 田中館照橘105B
 棚橋泰145
 田邊光政121
 谷伍平082A
 谷川久 ...008,012B,050A,
 126A,127A,131B,137,
 151A
 谷口知平105B
 谷口守正173B
 谷田正躬048B
 谷山将063A
 タネジャ(Taneja, Nawal
 K.)063C
 田畑茂二郎012F,041A,
 203
 田端浩061
 田原睦夫104,105B
 玉国文敏145
 玉城肇061
 田宮準一郎008
 田村幸策041A
 田村鉄輔041A
 田村正明016A
 田村雄一郎101A
- 〈ち〉
- 千頭清之044,077
 千葉英樹083
 中条潮 ...048B,050A,050B,
 061,064D,101A,109
 朝陽会012H,015A
- 〈つ〉
- 塚本重頼104
 津川清明101A
 津崎武司046A,061
 辻和夫050B
 辻辰三郎172
 辻通明120
 土本武司151B
 土屋茂樹012E
 土屋真一173A
 土屋正興012H
 筒井博司174
 筒井若水012E,041A
 堤経長212
 坪田茂063C
 妻鹿栄二110
 都留重人105B
 津留崎直美105B
 鶴野泰孝028E
- 〈て〉
- ディーダリクス=フェルシュ
 ール(Diederiks-Verschoor,
 I. H. Ph.)194
 ディケルソン, T. A.
139E
 帝国飛行協会151A
 逋信省航空局 ...012H,061,
 064B
 手塚良成048B
 寺井久美 ...012B,048B,120
 寺尾享012B
 寺尾美子103
 寺岡茂048B
 寺澤一041A
 寺島成信 044,050A,061,120
 寺嶋芳一郎012B
 寺田四郎 ...120,133C,161
 寺田治郎012H
 寺家村和介061
 田耕治061
 田豊061
 デンプシー(Dempsey, P. S.)
050B

<と>

土井勝二 ……………050B
 土井輝生 ……………071, 077
 土居博 ……………203
 道垣内正人 ……012E, 139C
 東京海上火災保険株式会社
 ……………161
 東条武治 ……………105B
 堂前幸子 ……………050B, 101A
 東北大学商法研究会 ……012E
 トーマス(Thomas, George
 H.) ……………061
 ドガニス, R.(Doganis,
 Rigas) ……012C, 048B, 061,
 101A
 徳川信治 ……………012E
 徳永工兵 ……………012B, 061
 土坂泰敏 ……………061
 戸崎肇 ……050A, 050B, 061,
 063C, 063G, 064D, 069
 戸田五郎 ……………012E
 戸田修三 ……………012B, 012F,
 131B
 戸田信久 ……………173B
 飛田清弘 ……………173B
 富浦英一 ……………071
 富沢重則 ……………064E
 富田竜彦 ……………005
 富田雄二 ……………152
 富田義範 ……………105A
 戸矢博道 ……………028G
 豊平功 ……………041B

<な>

内藤私法 ……………012E
 猶野喬 ……………012H
 中正夫 ……………050A
 長井爽行 ……………162
 中井伊都子 ……………012E
 永井進 ……………145
 永井昇 ……………063A
 中井美雄 ……………105B, 145
 中出孝典 ……………064D
 中内通明 016D, 061, 069, 071
 長尾賢三 ……………041A
 長尾猛夫 ……………171
 長尾正勝 121, 129B, 147B
 長岡毅 ……………061

中川岳士 ……………111, 151A
 中川寛子 ……………064D
 中川泰夫 ……………105B
 中北龍太郎 ……………104
 長沢修 ……………061
 中澤豊 ……………082A
 中島巖 ……………064D, 120
 中島勝己 ……………064D
 中島健 ……………161
 長洲秀夫 ……………111
 長瀬弘毅 ……………120, 124,
 126A, 127A, 129A, 131B
 永田穂 ……………105A
 永田一郎 ……………105B
 中田正二 ……………111
 中田紀元 ……………109
 長田泰公 ……………105B
 中谷和弘(Nakatani, Kazu-
 hiro) ……028A, 048A, 048F,
 050B, 178
 永谷延夫 ……………120
 中辻吉郎 ……111, 151A, 154
 中西健一…012C, 030, 105A,
 105B
 中西康 ……………012E
 中野俊一朗 012E, 137, 161
 中野直樹 ……028G, 048A,
 048B, 061, 120, 121, 125,
 129A, 172
 長野実 ……………016D, 105A
 中畑美男 ……………012H, 101A
 仲町保 ……………049
 中村晃 ……………050B
 中村耕一郎 ……………048B
 中村智 ……………050B
 中村資朗 ……………044, 109
 中村進午 ……………041A
 中村達郎 ……………102
 中村徹 ……050B, 064D, 065,
 120
 中村道午 ……………041B
 中村貢 ……………050B
 中村康之 ……………145
 中本光夫 ……048B, 105A,
 173B
 中山敏雄 ……………104, 105B
 中山一成 ……028A, 041A
 中山詳一 ……………203
 中山武男 ……………061

名島芳 ……………012B, 012C
 生天目忠夫 ……………016B
 並木茂 ……………105B
 檜崎敏雄 ……005, 012B, 016B,
 024, 041A, 050A, 061,
 120, 161, 203, 205B
 奈良橋一郎 ……012B, 120,
 151A
 成田頼明 ……………105A
 鳴海章 ……………154
 南部鶴彦 ……………050B

<に>

西井干夫 ……………050B, 065
 西井正弘 ……………012E, 012F
 西井正浩 ……………171, 173A,
 173B
 西岡久雄 ……050B, 061, 063A
 西川涉 ……………101A
 西川一男 ……………004, 023
 西川純子 ……………071
 錦織葆 ……………048B
 西沢清 ……………154
 西沢清一 ……………050A
 西島弥太郎 ……………012F
 西島良知 ……………041B
 西田猛 ……………105B
 西原春夫 ……………173B
 西原道雄 ……105B, 129A,
 145
 西村(Nishimura, Atsushi)
 ……………120
 西村京己 ……………137
 西村修一 ……………064D
 西村捷三 ……………105B
 西村康雄 ……050A, 151A
 西村泰彦 ……………050A
 西村弓 ……………012E
 西村六郎 ……………012C
 日米法学会 ……………012E
 新田慎二 ……………111
 新田浩司 ……012E, 044, 110
 仁藤一 ……………105B
 蜷川新 ……………048B, 205B
 二宮隆弘 ……………151A
 二宮正人 ……………012E
 日本経済調査協議会 ……065
 日本航空営業部タリフ課
 ……………082A

日本航空貨物本部営業部
 ……………061
 日本航空貨物本部企画部
 ……………030, 064D
 日本航空技術協会 ……012H
 日本航空機操縦士協会法務委
 員会 ……………095, 151B
 日本航空協会 ……………005, 061
 日本航空資料管理所 ……050A
 日本航空調査室 ……………005
 日本債券信用銀行産業調査部
 ……………071
 日本弁護士連合会 ……105A
 日本旅客船協会 ……………050B
 丹羽辰 ……………044
 丹羽聖尚 ……………145

〈ぬ〉

沼田順 ……048B, 121, 172

〈ね〉

根津熊次郎 ……………012B

〈の〉

野上鉄夫 ……002, 005, 007,
 008, 010, 012B, 012C,
 012E, 016E, 048C, 050B,
 063B, 077, 078A, 101A,
 111, 120, 127A, 127B,
 128, 129A, 131B, 137,
 139E, 145, 151C, 157A,
 161, 162
 野木村忠邦 ……………063C
 野口明宏 ……012C, 017A,
 112, 131A, 133A
 野尻俊明 ……………050B
 野田良之 ……………161
 信夫淳平 ……………205B
 野間聖明 ……………151A
 野村忠邦 ……………063G
 野村豊弘 ……………105B
 野村寅三朗 ……………069
 野村宗訓 ……016B, 063C
 野村豊 ……121, 129A
 野村美明(Nomura, Yoshia-
 ki) ……017A, 139C
 野村好弘 ……105A, 105B,
 129A, 133C, 145
 野了了三 ……………050B

〈は〉

パーシー, G. E. ……………120
 ハイジャック問題小委員会
 ……………173A
 羽尾一郎 ……………012H
 萩原晟 ……………050B
 萩原秀紀 ……………130A
 羽倉弘之 ……………012F
 長谷川通 ……………064D
 長谷川峻明 ……………050A
 長谷川正国 ……041A, 048A
 畑雅弘 ……………139F
 畑口紘 ……………017F
 畠山武道 ……………105B
 畑中俊作 ……………044
 波多野里望 ……012E, 041A,
 041B, 139C
 蜂谷竹雄 ……………161
 バッカード, G. R. ……048B
 服部功 ……………120
 服部榮三 ……………012E
 服部経治 ……028A, 101A
 服部純 ……………050B
 服部弘志 ……………173B
 バットン(Button, Kenneth)
 ……………050B
 埴誠一郎 ……………161
 羽生次郎 ……………048B
 馬場耕一 ……………111
 ハバード, H.・マッククリ
 ントック, M. ……102
 羽原啓二(Habara, Keiji)
 ……064A, 077, 120, 135E,
 151C, 161
 ハベル, B. F. ……………063D
 浜島正金 ……015H, 048B
 浜田宏一 ……………145
 浜田康彦 ……………131A
 浜田幸晴 ……………012B, 044
 濱本正太郎 ……………012E
 早川章 ……………044
 林資茂 ……………050B
 林逸子 ……………064C
 林克彦 ……………063D
 林修三 ……………173A
 林淳司 ……044, 105A, 109
 林田謙一朗(Hayashida,
 Kenichiro) ……121, 122,

129C, 133A, 139C
 林田耕臣 ……121, 133A,
 139C
 林脇トシ子 ……………012E
 早田芳郎 ……………012E
 原清 ……………173B
 原正行 ……………173A
 原田昇左右 ……………061
 原田尚彦 ……105B, 151A
 原茂太一 ……078A, 121,
 127A, 129B, 129E,
 133A, 139A, 139C, 161
 春田謙 ……………145
 范光遠 ……………173A
 伴襄 ……………103
 ハンロン P. (Hanlon, P.)
 ……………061

〈ひ〉

ピーターソン B. S. (Peter-
 son B. S.) ……………050B
 ヒール(Heere, Wybo P.)
 ……………004
 比嘉孝太郎 ……………151A
 比嘉盛久 ……………173A
 菱山正人 ……………101A
 日高壮平 ……………064E
 ビッツメンティエー ……077
 日向弘基 ……………154
 平井一雄 ……………127A
 平井一人 ……050B, 101A
 平井常次郎 ……………061
 平井都士夫 ……………105B
 平岡謹之助 ……………050A
 平木皓弐 ……………131B
 平栗元喜 ……………154
 平田邦夫 ……………063A
 平田隆夫 ……………205B
 平野竜一 ……………172
 平林和男 ……………172
 廣江健司 ……012E, 139C
 広川英人 ……………064E
 廣瀬久和 ……………154
 廣瀬善男 ……………012E
 広部和也 ……012E, 041A, 073

〈ふ〉

フェイス, ニコラス ……151A
 フェデル, F. ……………202

- 深谷憲一 ……050A
 深谷信夫 ……091
 福井俊夫 ……111
 福井直祥 ……048B, 050B
 福井秀樹 ……050B
 福住美佐 ……005
 福田清明 ……017D, 105A
 福田智子 ……071
 福地俊雄 ……012F
 福永正義 ……111
 福原武 ……012C, 061
 福本秀爾 ……105A
 藤井直樹 ……065
 藤井寛 ……111
 藤井弥太郎 ……048F, 050A, 050B, 064D, 101A, 120
 藤岡公夫 ……012F
 藤岡達夫 ……161
 藤木剛康 ……071
 藤田和孝 ……128
 藤田勝利(Fujita, Katsutoshi) ……015D, 028A, 066, 028A, 066, 067, 077, 101A, 105A, 105B, 120, 121, 122, 126A, 127A, 129A, 129C, 129E, 130A, 131B, 133B, 141, 145, 151A
 藤田耕三 ……105A
 藤田嗣雄 ……016E
 藤田友敬 ……133A
 藤田久一 ……041A
 藤田泰弘 ……139C, 145
 藤野公孝 ……050B
 藤村啓 ……101A, 105B
 藤目節夫 ……050B
 藤森正敏 ……050B
 藤山一穂 ……050B
 布施勉 ……205B
 船越隆司 ……077
 舟津良行 ……061, 111
 附野仁 ……120
 ブランカー, J. W. S. ……028A, 030
 フランクリン(Franklin, H.) ……064A
 ブルーマー(Bloomer, Jr.) ……064A
 古川照夫 ……139C
 古崎慶長 ……105B
 古澤有造 ……212
 古城誠 ……050B
 プルックナー, J. K. ……048E
 古谷修一 ……178
 不破茂 ……121, 133C, 139F
- 〈へ〉
- 別府正夫 ……012H
 ヘマルト(Hemard, J.) 131B
- 〈ほ〉
- 彭明敏 ……042
 北条勇作 ……061
 法制局第三部 ……015B, 044
 法制局第二部 ……044
 法務省大臣官房司法法制調査部 ……012E
 法務省民事局民事第一課職員 ……182
 法務省民事局民事第五課職員 ……182
 法務大臣官房司法法制調査部 ……012H
 法務府法政意見第一局 ……012B
 法令用語研究会 ……012D
 ホーキンス, F. W. (Hawkins F, W.) ……151C
 ボグデン(Bogden, Michael) ……139F
 星加司 ……061
 星正彦 ……050B, 101A
 星野英一 ……151A
 星野辰雄 ……203
 細野軍治 ……212
 細見茂 ……105B
 洞駿 ……064D
 堀和秀 ……101A
 堀裕 ……044
 堀義臣 ……161
 堀井毅 ……154
 堀内照通 ……041B
 堀部政男 ……012E
 ボルドウィン, S. E. ……073
 ホルランド, S. E. ……092
 ホワイト(White, Gillian M. E.) ……173B
 本田一成 ……091
- 〈ま〉
- マイヤー A. (Meyer, Alex) ……171
 前田重行 ……017A
 前田隆平 ……050A
 前原光雄 ……041A, 101B, 203, 205A
 牧野英一 ……041A
 眞子ゆかり ……012H
 正岡正延 ……151B
 真島和男 ……069
 増井健一 ……012F, 050A, 050B, 061
 増井健人 ……101A, 105A
 益尾宏之 ……105A, 105B
 増田晋 ……012G, 082A
 増田辰良 ……063C
 眞砂康司 ……012E
 間瀬孝一 ……101A
 町田直 ……012H, 050A, 111
 町野朔 ……151A
 松井芳郎 ……041A
 松尾静磨 ……012C, 048A, 048B, 050A, 061, 063A
 松尾道彦 ……044, 050A
 松岡憲司 ……050B, 135E
 松岡誠之助 ……017A, 017C, 120, 129B
 松岡浩 ……095, 151B, 151C, 152, 154
 松岡博 ……012E, 139C
 マッククリントック, M. ……102
 松隈清 ……041A
 松隈潤 ……012E
 松島肇 ……041A
 松田勲 ……174
 松田竹男 ……041A
 松田道一 ……203
 松浜山人 ……041A
 松永謙吾 ……050B
 松並潤 ……050B
 松波仁一郎 ……008, 012B, 012C, 024, 071, 120,

129A, 152, 157A, 162, 201
 松葉榮重 ……061, 064D
 松原一雄 ……041A, 205A
 松本一郎 ……151B, 154
 松本吉平 ……161
 松本健一 ……173A, 173B
 松本俊一 ……203
 松本武徳 ……078A, 111
 松本俊哉 ……048F
 松本昌悦 ……104
 松本松男 ……157A
 松本学 ……012H
 真鍋正一 ……105B
 眞鍋藤治 ……021
 マランチュク, P. ……041A
 丸井幹一 ……061, 101A
 丸尾眞 ……050B
 丸谷定弘 ……151A
 丸山新 ……120
 丸山博 ……064D

<み>

三浦義道 ……161
 三ヶ月章 ……006, 125
 三上民典 ……028A, 110
 三澤明 ……012H
 三沢潤生 ……012F
 三島徹也 ……012E
 水上千之 ……043B, 074, 075
 水嶋智 ……105A
 水田嘉憲 ……101A
 水野武夫 ……105B, 145
 水野敏明 ……050B
 水野紀子 ……139C
 溝田誠吾 ……071
 道田信一郎 ……064E
 ミッチェル ……012B
 三橋久美 ……023
 三ツ矢憲生 ……050A
 実方謙二 050B, 063C, 139J
 南ゆり ……044
 美濃部達吉 ……041B
 ミハルスキー ……050A
 宮城雅子 ……012B, 092, 129B, 130A, 151A, 152, 154, 173B
 宮城真宏 ……050B, 061
 三宅哲志 ……145

三宅優 ……016E
 宮崎繁樹 ……041A
 宮崎澄夫 ……172
 宮崎弘毅 ……041B
 宮崎陽子 ……105B
 宮沢俊義 ……212
 宮下国生 ……012F, 063C, 069
 美谷島邦子 ……151A
 宮田淳 ……041B
 宮田豊昭 ……050B
 宮武敏夫 ……129A
 宮前憲三 ……016D, 212
 宮本憲一 ……105B
 宮本春樹 ……044
 三好晋 ……012C, 015D, 129A
 三好義之助 ……161
 民間航空委員会 (Civil Aeronautics Board) ……064D

<む>

迎増兼 ……028A, 101A, 173A, 178, 205A
 向山秀昭 ……028E, 048F, 061, 063A, 071, 127B
 宗宮信次 ……130A
 村井眞明 ……101A
 村井藤十郎 ……007, 012B, 012C, 120
 村上玉樹 ……105A
 村上治雄 ……048B
 村上秀明 ……061
 村上英樹 (Murakami, Hideki) ……050B, 063D, 063G, 064D
 村上吉男 ……173A
 村重慶一 ……112
 村田哲夫 ……101A
 村田溥積 ……137
 村田治美 ……120
 村中淳一 ……092
 村中哲也 ……012B, 091

<め>

目賀田周一朗 ……048B

<も>

最上敏樹 ……012E
 森繁行 ……092

森武夫 ……061
 森健臣 ……041A, 074, 075
 森紀人 ……095, 151B
 森宏之 ……050B
 森井清 ……048B
 森川隆 ……012E
 森下忠 ……171, 173A
 森島昭夫 ……105B
 モリソン (Morison), ウィンストン ……050B
 森田桂子 ……012E
 森田豊次郎 ……121
 森本憲一 ……105A, 105B
 森山武市郎 ……016E
 諸橋泰 ……050A
 紋谷暢男 ……017A, 139A, 139E

<や>

矢尾板康夫 ……161
 葉師寺公夫 ……012E, 041A
 矢澤昇治 ……105A
 矢澤淳 ……015D, 028G, 120, 121, 124, 125, 129A, 135B, 141, 152
 安井郁 ……041A, 074, 075
 安田寛 ……041B
 安富正文 ……044, 050A
 安西正道 ……047A
 安満欽一 ……201
 ハッ尾順一 ……135E
 八島英之 ……061
 柳沢三郎 ……105A
 柳川隆 ……063C
 柳田邦男 ……111, 151A
 柳田誠二郎 ……047A, 061
 柳原正治 ……012E
 矢吹徹雄 ……139C
 山内惟介 ……012E
 山内弘隆 (Yamauchi, Hiroataka) ……048B, 050A, 050B, 061, 064D, 065, 101A
 山岸隆次郎 ……061
 山口開治 ……202
 山口和男 ……145
 山口勝弘 ……064D
 山口真弘 ……012H, 095, 151B, 154

- 山口裕視 ……………048F
 山崎一英 ……………063E, 063G
 山崎公士 ……………012E
 山崎晴一 ……………042
 山崎悠基 ……………017A, 017C,
 017D, 017E, 064A, 109,
 120, 121, 124A, 126A,
 129B, 129C, 134A,
 139B, 141, 145, 154,
 157B, 178, 187
 山路顕 ……………044
 山地進(Yamaji, Susumu)
 ……………048B, 063A
 山下友信 ……………130A, 161
 山下徳夫 ……………050A
 山上徹 ……012C, 028A, 063D
 山田克爾 ……………105A
 山田三良 ……………012B
 山田隆英 ……………044
 山田卓平 ……………012E
 山田敏之 ……………012B, 064C
 山田信彦 ……………017E, 121,
 129B, 140A
 山田洋 ……………102
 山田広幸 ……………173A
 山田泰彦 ……008, 012E, 129C
 山田信彦 ……………017E, 121,
 129B, 140A
 山田鎌一 ……………120
 山戸嘉一 ……………111
 山名寿三 ……005, 012B, 012C,
 015H, 041A, 044, 064C,
 074, 075, 120, 203
 山中謙二 ……………120
 山野嘉朗 ……………012E
 山野辺義方 ……………012C
 山村悦夫 ……………108
 山村恒雄 ……………028A, 041A,
 173A
 山村恒年 ……………105A
 山本長 ……………101A, 102A
 山本喜一 ……………151A
 山本桂一 ……………131B
 山本敬三 ……………012E
 山本順一 ……………105A, 145
 山本条太 ……………171
 山本善明 ……………124, 151A
 山本草二(Yamamoto, Soji)
 ……………012F, 012G,
 041A, 141, 173A, 173B
 山本大造 ……………091
 山本隆 ……………151A
 山本隆司 ……………154
 山本剛夫 ……………105B
 山本哲三 ……………050B
 山本博一 ……………172
 山本雄二郎 ……050A, 050B,
 061, 101A, 111
 山本豊 ……………138B
- 〈ゆ〉
- 湯浅伸 ……………016C, 173A
 柚木浩一 ……………109
- 〈よ〉
- 横井清和 ……………152
 横尾亘 ……………012E
 横田惠美 ……………101A
 横田和夫 ……………061
 横田喜三郎 ……012F, 041A,
 074, 075, 203, 210
 横田淳 ……015H, 048B, 071
 横見宗樹 ……………063B
 横山新 ……………012E, 041A
 横山潔 ……………016D, 173A
 横山研治 ……………120
 横山潤 ……………012E
 横山善太 ……………050B, 065
 吉井淳 ……………041A
 吉井秀和 ……………050B, 120
 吉岡序 ……………028A, 105A
 吉岡秀輝 ……………050B
 吉川貫二 ……005, 050A, 061,
 063A, 063G, 064B, 064C,
 101A, 120
 吉川康夫 ……………061
 吉川吉衛 ……………012E
 吉田邦郎 ……050B, 061, 063C
 吉田啓昌 ……………139C
 吉田耕一 ……………103
 吉田耕三 ……………102, 103
 吉田茂 ……………012C
 吉田照雄 ……121, 147A, 152,
 161
 吉田友之 ……………137
 吉田法顕 ……………091
- 〈ら〉
- ラルセン ……………048C
- 〈り〉
- リーゼ, O. (Riese, O)
 ……006, 067, 125, 138B
 リベール ……………157B
 立作太郎 ……………041A, 203,
 205B
 梁満潮 ……………017E, 128
- 〈れ〉
- レイノルズ, デビット
 ……………121, 130C
 レビン, M. E. ……………048B
- 〈ろ〉
- 労働省大臣官房国際労働課
 ……………091
 ロシャ, フィリップ ……028A
 ロベル ……………050B
- 〈わ〉
- 湧口清隆 ……………048B
 和久三郎 ……………050B
 和田大祐 ……………061
 和田博 ……………044
 渡部惺之 ……………012E, 139C
 渡辺祥司 ……………064A, 082A
 渡部淳嗣 ……………064E
 渡邊錠太郎 ……………201
 渡辺忠義 ……………171
 渡部通 ……………101A
 渡辺文夫 ……………061
 綿貫芳源 ……………105B, 145